

1. [はじめに](#)
2. [無料ダウンロード音声について](#)
3. [CONTENTS](#)
4. [ハリウッドセレブの“素顔の”英語](#)
5. [ハリウッドスターのインタビューで英語力パワーアップ](#)
6. [インタビュー・ページの読み方](#)
7. [Leonardo DiCaprio](#)
8. [Renée Zellweger](#)
9. [Nicole Kidman](#)
10. [Ewan McGregor](#)
11. [Keanu Reeves](#)
12. [Arnold Schwarzenegger](#)
13. [Meg Ryan & Jane Campion](#)
14. [Julia Roberts](#)
15. [Angelina Jolie](#)
16. [Elijah Wood](#)
17. [奥付](#)

はじめに

『イングリッシュ・ジャーナル』から厳選されたスターのインタビューが聞ける！

この本は、アルクの月刊誌『イングリッシュ・ジャーナル』に毎月付いている別冊付録『The Voice of EJ』に2003～2004年にかけて掲載されたハリウッドスターのインタビューの中から10本を選び、1本6～7分の長さに再編集して収録したものです。

各インタビューは、音声にきわめて忠実な英文トランスクリプト、対訳、語注など、『The Voice of EJ』とほぼ同様の形式になっているうえ、インタビュー音声をそのまま収録しているので、入手したその日からすぐ、スターたちの本物の声でリスニング練習ができます（※インタビュー音声は無料でダウンロードできます）。

レベル別・モデル学習法で英語力アップ！

さらに、インタビュー・ページの前には、本書の内容を利用した、英語力レベル別の学習モデルプランが掲載されていますので、これを使って、ご自分のレベルに応じて、リスニング力はもちろん、スピーキング力を含む英語力全体までもステップアップさせることができます。

各インタビューの末尾には、この学習ページに対応した「理解度チェック」が付いていますので、自分がどの程度聞き取れたか確認するために、ぜひご利用ください。

また、長年ハリウッドスターを取材してきたベテラン映画ライターによる、スターたちの普段の英語の話しぶりに関する巻頭エッセイも、どうぞお見逃しなく！

10人のインタビューイはいずれも、今、非常に注目され、活躍しているスターたちです。

さあ、まずは、憧れのスターの話がどのくらい聞き取れるか、早速挑戦してみましょう！

表紙写真：Photofest/アフロ

無料ダウンロード音声について

本書に対応する音声は、すべて無料でダウンロードしていただけます。下記URLにアクセスし、『ハリウッドスターの英語1』を選択、フォームに必要事項をご記入の上送信いただくと、ダウンロードページURLのご案内メールが届きます。

ALC Download Center
ダウンロードセンター

ダウンロードした音声ファイルはiTunesなどの音声再生ソフトで取りこんでご利用ください。音声再生ソフトでのファイルの取り込み方法や携帯音楽プレーヤーでの利用方法については、ソフトやプレーヤーに付属するマニュアルでご確認ください。

取り込んだ音声ファイルは、音声再生ソフトで次のように表示されます。

出版社名（アーティスト名）：「ALC PRESS INC.」と表示。

書名（アルバム名）：

『ハリウッドスターの英語1』

トラック名（曲名）：どの学習に必要な音声なのか**がすぐわかる**よう、[トラック名_アーティスト名]で曲名が表示されます。（例：[01_Leonardo DiCaprio]

本書では、ダウンロードした音声を使用する部分は **DL Track01** のように、トラックの通し番号で記載しています。該当のトラックを再生して学習してください。

[はじめに](#)

[無料ダウンロード音声について](#)

映画ライターが聞いた
[ハリウッドセレブの“素顔の”英語](#)

〔レベル別・本書を使ったモデル学習プラン〕
[ハリウッドスターのインタビューで英語力パワーアップ](#)

[インタビュー・ページの読み方](#)

Leonardo DiCaprio

『タイタニック』でスーパースターの座を獲得したレオナルド・ディカプリオ。演技派として知られる彼がスピルバーグ監督と組んで少年詐欺師役に挑んだ『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』での役作りの醍醐味や、役者として目指すゴールについて快活に語る。

▶用語解説

▶語注

Renée Zellweger

最近大活躍の女優レニー・ゼルウィガーが、**2003**年度のアカデミー賞を6部門で受賞した大ヒット・ミュージカル『シカゴ』の出演秘話を披露。歌も踊りも「素人同然」だった彼女が必死に頑張った理由とは？ 語り口が人柄を伝える好感度抜群のインタビュー。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

Nicole Kidman

いまや押しも押されもせぬトップ女優のひとりになったニコール・キッドマンが、アカデミー主演女優賞を獲得した**2003**年の出演作『めぐりあう時間たち』で挑戦した「勇気ある」役柄について、女優としての姿勢について、そして人生について語ったインタビュー。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

Ewan McGregor

いつまでもやんちゃ青年のようなイギリス人俳優ユアン・マクレガーが、'60年代のプレイボーイに扮した『恋は邪魔者』での役作りの苦労や、この時代の映画スタイルについて、演じてみたい役柄について、そして『スター・ウォーズ』のオビ=ワン役について語る。

▶用語解説

▶語注

Keanu Reeves

一大現象となった『マトリックス』シリーズのネオ役で、世間にその存在を印象づけたキアヌ・リーブス。役のイメージとは逆の物静かな口調が印象的な彼が、「マトリックス」型アクションをつくり出す努力、ニューヨークへの思い、バンド活動の楽しさについて語る。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

Arnold Schwarzenegger

ボディービルダーからスタートしてアクションスターになり、いまやカリフォルニア州知事に転身したオーストリア出身の俳優アーノルド・シュワルツェネッガー。彼が知事選立候補を正式表明し、政治への意欲をアピールした**2003**年8月の記者会見の様子を収録。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

Meg Ryan & Jane Campion

「アメリカの恋人」と呼ばれるキュートな女優メグ・ライアン。彼女が今までのイメージをかなり捨てたサスペンスドラマ『イン・ザ・カット』での演技について、そして「**9.11**」後のニューヨークでの撮影について、ジェーン・カンピオン監督とともに語る。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

Julia Roberts

ハリウッドを代表する女優ジュリア・ロバーツ。2003年の映画『モナリザ・スマイル』で、保守的な'50年代の女子大に新風を吹き込む教師を演じた彼女が、その時代の良さ、結婚生活、そして自らのキャリアの転換点になった作品について、明快な口調で語る。

▶用語解説

▶語注

Angelina Jolie

『トゥームレイダー』シリーズのスーパーヒロイン、ララ役で大人気のオスカー女優アンジェリーナ・ジョリーが、**FBI**分析官に挑んだ『テイキング ライブス』での役作りや、息子への愛情について語る。彼女の魅力が伝わってくるような明るいインタビュー。

▶用語解説

▶語注

Elijah Wood

超大作『ロード・オブ・ザ・リング』シリーズのプロド役でスターの地位を確立したイライジャ・ウッド。彼が「脱ヒーロー」の新境地に挑んだ新作『エターナル・サンシャイン』のバトリック役とは？ファン待望の『ロード』DVDボックスの見どころも教えてくれる。

[▶用語解説](#)

[▶語注](#)

[奥付](#)

ハリウッドセレブの“素顔の”英語

How do celebrities talk?

Text by Tominaga Yuki

映画の役柄とは違う、スターの普段の話しぶり

映画雑誌の編集部に所属していた約10年ほど前から、来日する映画スターたちの取材を通して彼らの生の声を聞く機会に恵まれてきた。役に応じて、さまざまなアクセントをマスターする彼らも、インタビューで話すときは普段使い慣れている生来のアクセントになる。ハリウッド映画でアメリカ人を演じていても、ラッセル・クロウやニコール・キッドマンはニュージーランドやオーストラリアのアクセントに、ゲイリー・オールドマンやクリスチャン・ベールはイギリスのアクセントに戻る。逆に、出演作では南米系のスペイン語アクセントで話す役が多いベニシオ・デル・トロはインタビューの場では標準的なアメリカ英語を話す。

彼らに共通しているのは、英語が母国語でない人間を相手にするときは、平易な表現を選んでゆつくりと話すことを心がけているということ。英米のメディアでインタビューを受けるときは話し方も変わってくる。通訳を介したケースでも、用心深いスターは要点をまとめた答えでリスクを回避しようとする。彼らのコンパクトな表現に無駄なく情報が詰め込まれているのには、いつも感心させられる。台詞のようにすべて暗記しているのだろうか？と勘繰ったこともあるが、実際、映画のプロモーションという明確な目的があるうえに、集中的に同じような質問に延々と答え続けていれば、自然と語るべきことが頭の中で整理されていくものなのだろう。

話好きな子役出身スターたち

本書に登場するスターたちの中で、筆者が一番初めに会ったレオナルド・ディカプリオは話し好きという印象が強い。お愛想めいたフレンドリーさは見せないが、適当な距離を保ちながらも、興味のある話題にヒットすると、話が止まらなくなる。初来日は『ギルバート・グレイブ』の公開時なので、当時彼はまだ19歳。出演作について語る表情には利発さがあふれていたが、ふとした瞬間に見せる笑顔はむしろ幼いくらいで、そのギャップが何ともいえず魅力的だった。答えにくい質問のかわし方も、ただ単に回答拒否するのではなく、理路整然と説明したうえで「答えられない」と言われると、質問する側も納得して引き下がる。社会現象ともなった『タイタニック』で世界中から注目を浴び、アイドル視され続けて窮屈な思いをした数年間を経た後、マーティン・スコセッシやスティーヴン・スピルバーグといった巨匠と仕事が続く現在は、マニアと呼べるくらいの映画好きである彼にとって、ようやく訪れた幸福な時間と言えそうだ。

ディカプリオと同じく、子役からキャリアをスタートさせたライジャ・ウッドもインタビューと会話を楽しもうとするタイプだ。今どきの若者らしく、日本のアニメや音楽、映画に興味を持っているという彼と話していると、話題がそちら方面に脱線しがちになる。まるで映画好きの友達とおしゃべりをしているような気楽さを感じさせるのも、彼一流のホスピタリティだ。おっとりしているようにも見えるが、実はかなり早口な人でもある。日本で取材を受けたときは、一気にまくし立てた後、長々と日本語の通訳が続くの気づいて、ちょっとばつの悪そうな表情を見せていた。その点、来日回数の多いスターたちは慣れたもので、適当に区切っては通訳者に「どうぞ」と合図をする。そういう時は大御所と呼ばれるような大スターでも、皆一様にちよつと得意げな表情になるのが可愛らしい。

言葉を大事にするキアヌ・リーブスとメグ・ライアン

直接英語で質問をした場合、一度で意味がうまく伝わらず、何度か聞き返されることがある。そんな事態に遭遇すると、ついビクッと慌ててしまうのだが、最近では、これこそ相手がこちらの話に耳を傾けてくれている証しなのだと受けとめるようになった。キアヌ・リーブスは言葉をとても大切にされていて、こちらのちよつとした英語の言い間違いをさりげなく直してくれたりする。彼の場合、型にはまった答えが返ってこないことも多い。文章として書き起こそうとすると、書き言葉にはならない極めて口語的な語り口だが、非常にリラックスした口調の中に突然、文学的な表現やフランス語やイタリア語など外国語の単語を混ぜたり、と意表をつく。“**knock on wood**”という表現（自慢話や調子のいい話をした後と言う厄除けのおまじないの言葉）はよく使うらしく、編集でカットされてしまったが、実は本書のインタビューでも言っているし、筆者が取材したときも耳にした。そう言いながら、指の関節でコンコンとテーブルを軽く叩いていた。

メグ・ライアンも、質問についてよくわからないときは理解できるまで丁寧に聞き直す。自分に都合の悪い質問をされると、どんな単純な内容だったとしても「あなたが何を言っているのかわからない」とはねつけるスターもいる中で、彼女のこうした誠実な対応は気持ちよく感じられた。

しかし、世界に知られるスーパースターとして日常生活のあらゆる場において追い回され、プライバシーもないような日々を強いられる彼らが自己防衛に走るのは当然のことかもしれない。女優としては実験的な作品や汚れ役にも積極的に挑戦し続けるニコール・キッドマンは、取材の場ではガードが固い。トム・クルーズと結婚していたころは、こちらから聞かなくても、クルーズや2人の子どもたちとの生活について話していたが、当たり障りのない程度の情報を自ら提供することで、それ以上踏み込んでくるな、というサインだった。その代わり、仕事の話となれば饒舌になり、演技論を深く語ってみせる。熱中してくると、意外な表情やコメントも飛び出すようになる。こうした瞬間は取材する側にとって至福の時だ。

超オープンなジョリー、反骨精神あふれるマクレガー

輝く笑顔で世界中を魅了し続けるジュリア・ロバーツは、意外にもインタビューの場では気難しい性格をのぞかせる。白い歯を見せながら、なかなかシニカルな発言を連発する。反対に驚くほどオープンなのはアンジェリーナ・ジョリー。どんな質問にも、たとえそれがかなり失礼な質問であつたとしても、まっすぐな答えを返す。そうした毅然とした態度で接すると、質問した当人が自ら恥ずかしく思うのだということを彼女は知っているのだろう。自分の性癖や自傷癖、父親との不和、子育てから世界平和まで、彼女は他人との対話を通し、個人的な部分をさらしながら、社会の抱えるさまざまな問題の解決の糸口を探しているようにも思える。

正直者といえば、ユアン・マクレガーは歯に衣着せぬ直情的な発言が印象的だ。生意気にとられかねないような大胆な意見も、わりと平気で口にする。会話の相手が女性の場合はさすがに遠慮するようだが、男性が聞き手のインタビューではFから始まる四文字言葉もしばしば飛び出す。アメリカ人の俳優はインタビューなど公式の場では比較的丁寧な話し方をする人が多いが、その点、イギリスやアイルランド出身の俳優は飾らず、ありのままの表現を好む傾向があるようだ。といつても、ぞんざいな言葉使いでインタビューを驚かせても許されるのは20代の間だけ。スコットランド出身のマクレガーも今では口調ではなく、話の内容で反骨精神を示すようになったようだ。目下のところ、悪態の王者の座はコリン・ファレルに移つたらしく、「インタビュー内容が記事にできないくらい」と取材者を嘆かせているという。

カリスマ性を保つには「しゃべらない」のも手？

たいていのスターたちは自信たっぷりに堂々と話す、レニー・ゼルウィガーはちよつと違っていた。自分の発言が誤解されることを極度に恐れている感じがする。まだるっこしいくらい、いろいろと説明しながら話を進めていくのでなかなか結論に達しない。欧米人には珍しいタイプではないだろうか。頼りなくもあるが、自分の言葉を一生懸命探しながら答える様子には好感が持てる。

クリストファー・ウォーケン売り出し中のころ、エージェントから「パーティには行くな。話しているのを聞かれると、ボロが出るから」ときつく言われていたという。ミステリアスな雰囲気を保つために素顔を隠すのも戦略のうち、というわけだ。めつたに取材を受けない大物たち（アル・パチーノやロバート・デ・ニーロな

ど）は俳優としてのカリスマ性は誰もが認めるところだが、彼らが一個人として話をするとなると、ほとんど語るべきことを持たないという。その半生が『ライフ・イズ・コメディ！ ピーター・セラーズの愛し方』として映画化されたピーター・セラーズを評して、スタンリー・キューブリック監督は「彼には自分というものがない。空っぽの容器なんだ」と語っているが、名優と呼ばれる人の多くにこの言葉は当てはまるのではないだろうか。

お手本にしたいシュワルツェネッガーのコミュニケーション力

今まで名前を挙げてきたスターたちはすべて英語を母国語としている人たちだが、ハリウッドには世界各国からの才能が集結している。スペイン語圏からはアントニオ・バンデラスやペネロペ・クルス、サルマ・ハエックら、フランス人のオリヴィエ・マルティネス、中国語圏からはジャッキー・チェンやジェット・リー、そして日本からは渡辺謙も加わる。

オーストリアからの移民であるアーノルド・シュワルツェネッガーは彼らの代表格とっていいだろう。発音に関しては、明らかにネイティブのものとは違う。**22歳**で渡米し、大人になってから英語を身につけた彼は、比較的ゆっくり、はっきりとわかりやすい表現を使って話す。これは、カリフォルニア州知事となった今、政治家として（特に移民の多いカリフォルニア州の）有権者に耳を傾けてもらうには実はプラスに働いているのではないだろうか。ターミネーターをはじめとする超人的なキャラクターを演じていたころは、自分について語るときに「アーノルドは... ...」と表現していたのを聞いたことがある。自分自身と映画スターである「アーノルド・シュワルツェネッガー」をはっきりと分けているようで興味深かった。今でも、頭の中で文章を組み立てながら話している感じがするが、一番大切なことは自分の言いたいことを相手に伝えることなのだ。外国人の私たちが英語を話そうとする場合、お手本とすべきなのはシュワルツェネッガーの英語への取り組み方ではないかと思う。

富永 由紀●映画ライター。映画雑誌『フリックス』の編集部を経て、**1999年**からフリーランスとなり、映画誌、インターネット・サイトなどで執筆。国籍を問わず面白い映画を求め、作品にかかわった人々から話を聞くのが何よりの喜び。

英語力パワーアップ

映画スターの生素材を使ったりスニング学習のメリットとは？

Text by Matsuoka Noboru

01 生の英語素材には魅力がいっぱい

生のインタビュー素材には、教科書の英語にはないさまざまな魅力があります。

第1に、話している人物が声優やナレーターではなく、本人が自分の思いや考えを自分の言葉で話している点です。本書では、ハリウッドスター本人が、シナリオではなく自分の言葉で話しているのですから、映画ファンにはたまりません。映画ファンならずとも、世界的なスターの話なら、教科書を読むナレーターの英語より、興奮度ははるかに高くなるはずです。

第2に、生の素材の魅力は、バラエティーに富んでいることです。画一化された教科書英語とは違って、人それぞれの話し方の癖が、スピードや言い回し、アクセントなどに見られ、個性を楽しめることです。

第3は「不完全」であることです。教科書の英語は完璧なセンテンスの集合体ですが、そのような英語は現実の人間の発話には存在しません。会話は瞬間芸ですから、間違いもすれば、言い直しもし、言葉に詰まることもあれば、途中で中断することもあります。生の素材は、こうした現実の「正しい不完全な英語」を教えてくれる貴重な教科書なのです。

02 リスニングは4技能の原点

本書は、音声素材を使ってリスニング力をパワーアップすることを目的に編集されたものです。したがって、音声を聞くことが練習の中心になり、テキスト（スクリプト、対訳、語注）はあくまでも補助的なものとして考えられます。しかし、リスニングは4技能（聞く、話す、読む、書く）の原点です。リスニングのパワーアップはスピーキング力の向上に直結します。同時に、音声を文字にすれば、リーディング、ライティングのパワーアップにもつながります。また、これらのプロセスで語彙力の増強も同時進行します。本書の利用を聞き取り練習にとどめず、欲張ってあなたの英語力全体のパワーアップにつなげてください。

03 学習方法

本書を利用した学習方法の例をレベル別に紹介します。各レベルとも **STEP 4**の後に「理解度チェック」（各インタビューの最後に掲載）があります。**GOAL** に示された得点をクリアしたら、1レベル上の方法でチャレンジしてください。なお、各レベルとも、**STEP 5**以降はスピーキングやリーディングのパワーアップにつながる〈発展学習〉です。範囲や回数は指定していませんので、自分のペースに合わせてあれこれ試してみてください。

松岡 昇●青山学院大学大学院国際政治経済研究科修了。
専門は、国際コミュニケーション、社会言語学。獨協大学、東洋大学、淑徳大学講師。
アルクの看板通信講座「1000時間ヒアリングマラソン」コーチ。
著書の『日本人は英語のここが聞き取れない』『続・日本人は英語のここが聞き取れない』が、大好評発売中。

初級者

TOEIC 500点未満

話の「森」（＝大筋）が見える

初級レベルでは、語注類と **Reporter** の質問文（英文、訳文）の助けを借りて、合計**10**回の聞き取りで話の「大筋」がつかめることを目標とします。

たとえ最初はまったく聞き取れなくても、以下のステップに従って、まず、用語解説と語注（背景知識とボキャブラリー）をあらかじめ頭に入れることで徐々に聞き取りが容易になり、次いで、**Reporter** の質問文を理解することでインタビューの答えの「大筋」を予想できるようになります。

どれほど速い英語でも、途中で音声を止めることはせずに、自然の英語の流れに身を任せてください。少しずつ聞こえてくる語句が増えてくるはずです。

STEP 1 全体を聞く

まずは 音声を最初から最後までノンストップで2回聞く。気持ちでは、いつでも、最初の1回で「森」（＝大筋）をつかむつもりで。（1～2回目）

STEP 2 用語解説＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「用語解説」に目を通してから 音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで2回聞く。（3～5回目）

STEP 3 語注＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「語注」に目を通してから 音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで2回聞く。（6～8回目）

STEP 4 質問文＋全体を聞く

Reporter の質問文（英文と訳文）をテキストで読む。その後、全体の音声を最初から最後までノンストップで2回聞く。（9～10回目）

GOAL

STEP 5

スクリプトを1文ずつ読み、内容を確認する。

STEP 6

自分のスピードで音読をする。

STEP 7

1文ごとに、スクリプトを見て読み、顔を上げて（スクリプトから目を離し）同じ文をもう一度繰り返して言う。

STEP 8

スクリプトを見ながら、音声のシャドーイング（音声を止めずに、すぐ後から影のように付いて英文を音読する練習）をする。音声に付いていけるようになるまで繰り返す。

中級者

TOEIC 500～750点

話の「森」と「木」（＝要点）が見える

中級レベルでは、語注類と **Reporter** の質問文（英文）の助けを借りて、合計7回の聞き取りで話の「大筋」と「要点」がつかめることを目指します

このレベルでも、固有名詞（人名、映画のタイトルなど）が多いため、何の予備知識もなく聞けば「大筋」をつかむことさえ極めて困難です。用語解説と語注から背景知識とボキャブラリーを仕入れ、また **Reporter** の質問文を英文であらかじめ読むことで、聞き取りやすさが違ってくるはずです。

和訳の作業は、速い英語では、理解の妨げにしかありません。和訳をあきらめ、音声を止めずに、英語の流れに身を任せると、少しずつ日本語を介さない「映像」（＝話されている内容のイメージ）が見えてきます。

STEP 1 全体を聞く

まずは音声を最初から最後までノンストップで1回聞く。気持ちでは、いつでも、最初の1回で「木」（＝要点）をつかむつもりで。（1回目）

STEP 2 用語解説＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「用語解説」に目を通してから 音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。（2～3回目）

STEP 3 語注＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「語注」に目を通してから 音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。（4～5回目）

STEP 4 質問文＋全体を聞く

Reporter の質問文（英文のみ）をテキストで読む。その後、全体の音声を最初から最後までノンストップで2回聞く。（6～7回目）

「理解度チェック」を行う

GOAL

STEP 5

スクリプトを1文ずつ読み、内容を確認する。

STEP 6

自分のスピードで音読をする。

STEP 7

1文ごとに、スクリプトを見て読み、顔を上げて（スクリプトから目を離し）同じ文をもう一度繰り返して言う。

STEP 8

スクリプトを見ながら、音声のシャドーイング（音声を止めずに、すぐ後から影のように付いて英文を音読する練習）をする。音声に付いていけるようになるまで繰り返す。

STEP 9

スクリプトを見ずに、音声のシャドーイングをする。音声に付いていけるようになるまで繰り返す。

上級者

TOEIC 750点以上

話の「森」と「木」と「枝葉」（＝詳細）が見える

上級レベルでは、語注類の助けのみを借りて、合計5回の聞き取りで話の「大筋」、「要点」、そして「詳細」がつかめることを目標とします。

このレベルの人は、いきなり1、2度聞いただけでも、「大筋」や「要点」はかなりのところまでつかめるはずです。しかし、細かい部分を聞き取ることには、もうひとつ自信が持てない段階です。やはりポイントは、背景知識とボキャブラリーです。「知っている話題」は細かい部分まで比較的楽に聞き取れるものなのです。

詳細を聞き取ろうと力を入れると、瞬時に理解できない特定の語句が気になり、理解の流れを妨げます。語注類をチェックした後は、力を抜いて英語の流れに身を任せてください。はじめのうちはザルのように細かい情報が素通りしていく不安を覚えますが、徐々に慣れて、リラックスした状態で「枝葉」まで見えるようになってきます。

STEP 1 全体を聞く

まずは 音声を最初から最後までノンストップで1回聞く。気持ちでは、いつでも、最初の1回で「枝葉」（＝詳細）までつかむつもりで。（1回目）

STEP 2 用語解説＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「用語解説」に目を通してから音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。（2～3回目）

STEP 3 語注＋全体を聞く

トラックごとに、テキストの「語注」に目を通してから音声を聞く。この作業が最後まで終わった後で、再度、全体を最初から最後までノンストップで1回聞く。
(4～5回目)

GOAL

STEP 4

スクリプトを1文ずつ読み、内容を確認する。

STEP 5

自分のスピードで音読をする。

STEP 6

1文ごとに、スクリプトを見て読み、顔を上げて（スクリプトから目を離し）同じ文をもう一度繰り返して言う。

STEP 7

スクリプトを見ながら、音声のシャドーイング（音声を止めずに、すぐ後から影のように付いて英文を音読する練習）をする。音声が付いていけるようになるまで繰り返す。

STEP 8

スクリプトを見ずに、音声のシャドーイングをする。音声に付いていけるようになるまで繰り返す。

STEP 9

対訳を見ながら、1文ずつ口頭で英訳する。

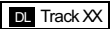
STEP 10

インタビューの内容を自分の英語で要約する。

インタビュー・ページの読み方

この本のインタビュー・ページの本文は、次のように構成されています。最初の扉ページで、それぞれのスターのプロフィールや、話し方の難易度や特徴をチェックし、自分のレベルや関心に合わせてインタビューを聞いて／読んでみましょう。

音声トラック

 **Track XX** とあるアイコンがある部分は無料ダウンロード音声と対応しています。ダウンロードした音声を再生して学習してください。また本文のトラックには、その収録パートで述べられている内容の参考になるよう、中見出しを付けてあります。中見出しは必ずしも英和对訳にはなっていません。
※本書の音声は書籍付属のCDを使用しているため、**Track62**の最後に「**This is the end of this CD**」という音声が残っています。ご了承ください。

英文スクリプト

音声に忠実に書き起こした英文トランスクリプトです。ただし、単語と認識し難い発声や相づち、言いよどみ、どもりなどは、表記されていない場合があります。

和訳例

英文のスタイルにできる限り即した訳になるようにしています。学習の参考にしてください。ただし、どのレベルの方も、最初は訳例を見ないで英文をリスニング／リーディングされることをおすすめします。

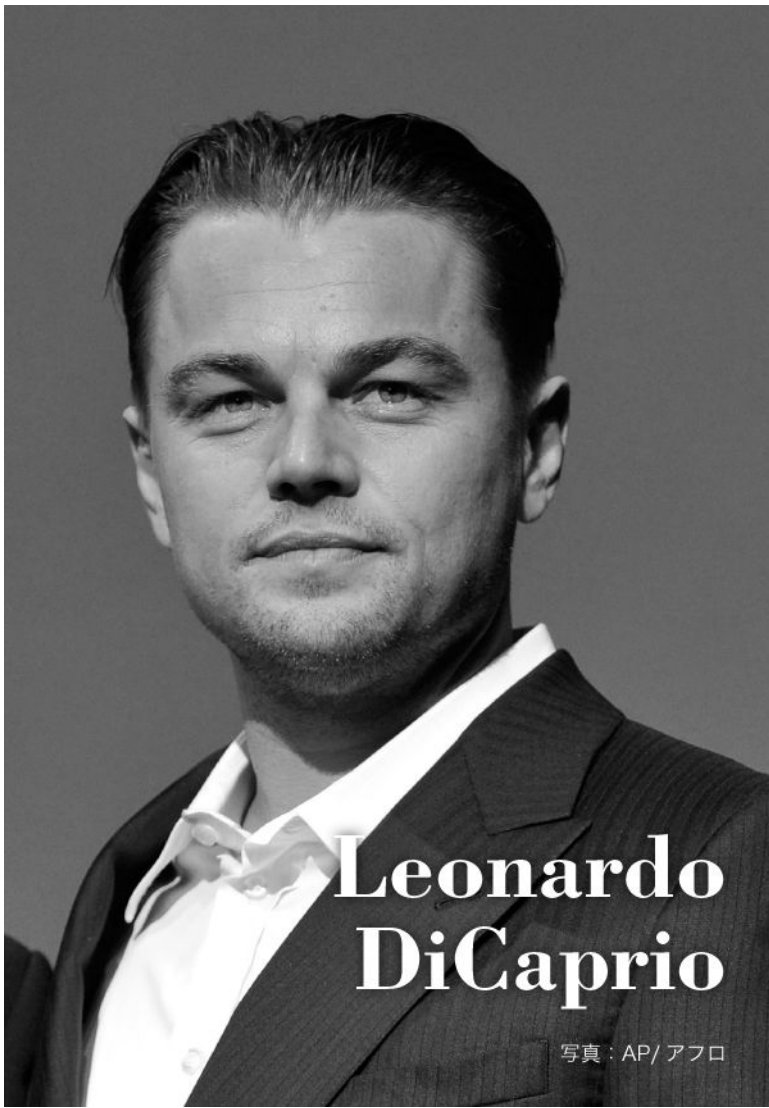
用語解説

主として、固有名詞と、話の理解に必要と思われる背景や事情について、解説を付けています。

語注

英検2級・**TOEIC730**点レベル以上の語彙を中心に、注意が必要と思われる単語や表現について、ここで使われている意味の訳語を付けてあります。必要なものについては、訳語の後に★印で補足説明を付けてあります。

※英文中の色が変わっている部分をタップすると用語解説もしくは語注に遷移します。*****から始まっている下線箇所は、下線部分を含め複数の用語解説もしくは語注を含んでいます。*****をタップすると下線部分全体の用語解説もしくは語注に遷移します。



Leonardo DiCaprio

写真：AP/アフロ

スピルバーグ映画で名詐欺師役に挑戦したスター俳優

Leonardo DiCaprio

“That’s my goal as an actor—I want people to believe it.”

「それが僕の役者としての目標だ—観る人に本当たと思わせたいんだ」

Supervising Editor's Comment

ディカプリオの英語には、一般的な語法と現代風のスラングが混ざっています。もっと打ち解けた場なら、たぶん、すごく今どきの若者っぽくしゃべるのではないでしょうか。彼の言い回しはきちんとしていて、センテンスは大部分、短くシンプルで、完結しています。声は、少年ばい顔のイメージに合っています。

Interview Data	
収録日	2002年12月13日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	普通
語彙	難しい
発音	明瞭

レオナルド・ディカプリオ
Leonardo DiCaprio
1974年11月11日、アメリカ・ロサンゼルス生まれ。13歳のころからCMやテレビドラマに出演し、『クリッター3』（'91年）で映画デビュー。『ボーイズ・ライフ』（'93年）で注目され、知的障害のある少年を演じた『ギルバート・グレイブ』（'93年）でアカデミー助演男優賞にノミネート。その他の代表作に、『ロミオ & ジュリエット』（'96年）、『タイタニック』（'97年）、『ギヤング・オブ・ニューヨーク』（2002年）など。『タイタニック』でスーパースターの座を獲得したレオナルド・ディカプリオ。演技派として知られる彼がスピルバーグ監督と組んで少年詐欺師役に挑んだ『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』での役作りの醍醐味や、役者として目指すゴールについて快活に語る。

With two films out [this month](#) from two of [the industry](#)'s most important directors, [Martin Scorsese](#)'s [Gangs of New York](#) and [Steven Spielberg](#)'s [Catch Me If You Can](#), Leonardo DiCaprio [is poised to](#) regain his [King of the World](#) status.

Reporter: *Gangs of New York* is such a [polar opposite](#) of a project like [this one](#).

Leonardo DiCaprio: Yeah. I mean, this was a much different style of filmmaking than *Gangs of New York*. I'd [come off of](#) *Gangs of New York*, which [essentially](#) started three years ago. There was a — almost a year-and-a-half [preproduction](#) process of getting into character, learning about the [period](#), [working out](#) — actually physically being in [Rome](#) took almost ten months.

And this movie really was like a [road picture](#), almost. We were [constantly](#) moving from location to location, and the [pacing](#) of it was really intense. And Steven did that very consciously because he wanted [the] pacing of the movie to reflect the real Frank Abagnale's real life, and how he was constantly thrown into [situations](#) and had to use his instincts as an actor to get out of the situation he was in, and use his talents.

Reporter: What did you see in the project that made you [attach yourself](#) at such an early stage?

DiCaprio: Quite simply, the [script read like wildfire](#). It was one of those things where, as an actor, being able to play this role, it really is a dream come true. I was an actor playing another actor. And, I think Steven and [Tom](#) both [got attached to](#) the project in the same way. They just read the script and [were so compelled to](#) tell the story. And it was such a unique story, unlike anything they'd ever heard of before, and they wanted to be a part of the project. And all of us [uniformly](#) felt the same way.

But for me, I got an opportunity to meet with the real Frank Abagnale. That was some of the most [fascinating](#) stuff for me, because I read the script and I read the book, but I really wanted to [tap into](#) his [unconscious](#) and really try to [figure out what made this guy tick](#) and what made him so [engaging](#). And I discovered that this guy was, seemed as [innocent](#) as a school teacher. He seemed so [overwhelmingly trustworthy](#), and whatever you said, you felt completely engaged in. And he had a way of making you feel [at ease](#) unlike anyone I've ever met. And that's the direct reason [why he was able to pull off what he pulled off](#).

Reporter: How was it following him around, spending time with him?

DiCaprio: It was really interesting. I think he doesn't even realize a lot of the things that — a lot of these mechanisms that make him tick and make him operate.

For example, I asked him, "I know you put on these different costumes and you basically studied your part like an actor. If you were gonna become a lawyer, you passed the [bar exam](#). If you were a doctor, you [read up on](#) the medical world. But what did you do to sort of [transform](#) yourself? Did you ever put on a different accent, for example?" And he's like, "No, no, I always would spoke the same, and I, I never tried to, you know, [embody](#) a different character or anything like that and . . ." And I said, "OK, give me an example of you talking to somebody from [Pan Am](#), trying to [pass a bad check](#) or something like that."

So [all of a sudden](#), he brought his hand up to his ear and he started going into this [Southern drawl](#). He's like, "Hello, this is Frank Abagnale." And he went into this Southern drawl. And I said, "Do you realize what you're doing?" And he said, "No, no, no." I said, "You're putting on a different accent. You're trying to become a different character." And he's like, "No, I'm not. I'm not doing that." I said, "Yeah, you are." And he said, "Well, maybe. Maybe, yeah." And we started talking about it, and I realized that that was his way of trying to [take on](#) the position of somebody — he was basically trying to bring an [air](#) of [authority](#) to his voice.

And it was very much like an actor preparing for a role, but he did it [instinctively](#). It was something that he never consciously knew he even did. So all those [initial](#) meetings that I had with him really transformed the character.

Reporter: Is [conning](#) very similar to acting?

DiCaprio: I think, yeah, we're all actors or con men, [absolutely](#).

Reporter: What about [vice versa](#)?

DiCaprio: I think that — absolutely. Frank Abagnale was an actor, but his stage was the real world, you know?

Reporter: Some are saying these films are the [rediscovery](#) of Leo the actor. Does that anger you?

DiCaprio: No, because I knew that after *Titanic*, it was such a cultural and worldwide [phenomenon](#) that people almost [couldn't help but](#) think of me almost like a product. And I had that experience myself. I went around the world, and people weren't talking to me about the acting or the film — it was me the movie star.

But for me it was important [not to](#) work and sort of [reflect on](#) my journey as an actor and where I wanted to go and what I wanted to do. And I realize that it's remained the same — that I want to play unique and different characters and I want to have experiences that are unforgettable. I want to be a part of films that [resonate throughout time](#). That's my goal.

Reporter: Why is it so essential to keep a part of you so [private](#)?

DiCaprio: 'Cause I think that the only real job between an actor and the media is to [promote](#) a film. I don't feel it's necessary for any actor or any performer — if you're truly an actor and that's what you care about — to [splash](#) yourself all over the media unless you're a [philanthropist](#) and you're — you have a certain [cause](#) that you believe in.

It's not something that happens [immediately](#). If I sat there in one interview and [divulged](#) everything about my personal life and who I was, that doesn't necessarily mean somebody won't [buy](#) me in a [specific](#) role. But I think this [trickle-down](#) effect, that eventually, over time, people become so comfortable with you as a personality and they know so much about who you are and they feel like they understand you that they don't buy you playing [a poor Irish immigrant](#) up on screen. They just don't buy it. And that's my goal as an actor — I want people to believe it. Otherwise, what [the hell's](#) the point of it?

Reporter: I think [Christopher Walken](#) has the same ideas about [branching out](#) as an actor.

DiCaprio: Yeah. Chris Walken. I mean that man [picks up on](#) cosmic messages from another planet. He really does. He is maybe the most [unique](#) actor [out there](#), and I'd always wanted him to play my father ever since I can remember. Ever since I saw [\[The\] Deer Hunter](#) and various other films that he was in, I've felt compelled to work with him.

And as soon as I heard about this part, the character of my father, Frank Abagnale's father in this movie, I told Steven right away, "Let's get Chris to do it. It's like a [Willy Loman](#) character. It's like [Death of a Salesman](#). This man's spirit is broken, and I think that Chris would do an [unbelievable](#) job." And it's a much different character for him to play, too, and he really [knocked it out](#) of the park.

translation ►

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication
Narrated by Brian Peck*

今月公開の、映画界で最も偉大な監督の中に入る2人による2つの作品、すなわちマーティン・スコセッシ監督の『ギャング・オブ・ニューヨーク』とスティーブン・スピルバーグ監督の『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』で、レオナルド・ディカプリオは「世界の帝王」の地位を再び獲得しようとしています。

【原文】[▶](#)

対極にある 2 本の映画

 [DL](#)  Track03

記者：『ギャング・オブ・ニューヨーク』は、今回の作品のようなプロジェクトとは対極にあるものですね。

レオナルド・ディカプリオ：ええ。今回は『ギャング・オブ・ニューヨーク』とは全然違う映画制作スタイルでした。『ギャング・オブ・ニューヨーク』の撮影は終わっていましたが、あの映画の制作は実質的には 3 年前に始まっていたんです。実のところ ―― 役に入り込み、時代背景を学び、トレーニングをするなど、プレプロダクションの過程が 1 年半近くありました ―― 実際に、物理的にローマにいたのは 10 カ月近かったかな。

そして、今回の映画（『キャッチ・ミー・・・』）は、ほとんどロードムービーと言っていいくらいでした。ロケ地からロケ地へ絶えず移動していましたし、そのペースもすごく速かったですね。でも、スティーブンはきわめて意識的にそうしていたわけで、なぜかという、フランク・アバグネイル自身の実生活と、彼がいかにしょっちゅう際どい状況に陥り、そこから抜け出すのに演技者としての本能を働かせ才能を発揮しなければならなかったかということを、この映画のペースに反映させたいと考えていたからです。

記者：このプロジェクトのどんな点を見て、そんなに初期の段階からかかわることにされたのですか？

ディカプリオ：とにかく単純に、脚本がどんどん読めたんです。なんというか、俳優として、こんな役を演じることができるというのは、まさに夢が現実になるということです。僕は別の俳優を演じる俳優だったんですから。そして、スティーブンもトムも同じようないきさつでこのプロジェクトにかかわることになったんだと思います。とにかく脚本を読んで、この物語を伝えずにはいられなくなっただんです。この物語は実に独特で、これまで聞いたこともないようなものだったので、みんな、このプロジェクトに参加したいと思ったんです。僕たちはみんな同じように感じただですよ。

でも僕について言えば、本物のフランク・アバグネイルと会う機会があったんです。僕にとっては、ある意味、それが最も魅力的なことでした。というのは、脚本も本も読みましたが、彼の無意識に入り込んで、何がこの人物を動かしているのか、彼の何が人を引きつけるのか、本当に解き明かしてみたかったです。それでわかったんですが、彼は学校の先生のように悪意なく見えたんです。ものすごく信頼できるように見え、こちらが何を言っても完全に引き込まれてしまう感じがしました。それに、これまでに会った誰よりも、人を安心させる術を身につけていました。そして、彼があれだけのことをやってのけた直接の理由はそこにあるんです。

【原文】 [▶](#)

詐欺師は“現実”という舞台の上の役者

 **DL**  **Track04**

記者：彼に付いて回って、一緒に過ごしてみていかがでしたか？

ディカプリオ：本当に面白かったです。彼はたくさんのこと —— 自分がうまく立ち回るための多くのメカニズムに気づいてさえないんだと思います。

例えば、彼にこう聞いたことがあります。「あなたがこういういろいろな服を着て、そもそも俳優のように役柄を研究したのは知っています。弁護士になるなら司法試験に通らなければいけないし、医者になるなら医学の世界を研究するものです。あなたは、いわば変身するのにどういうことをしたのですか？ 例えば、違うしゃべり方を身につけたりしたんですか？」と。すると彼は、「いえいえ、話し方はいつも同じでしたし、私は一切、別のキャラクターになり切ろうとか、そういうことはしませんでしたし・・・」なんて言うんです。それで僕は、「じゃあ、偽の小切手をつかませようとしているか何かで、バンナムの人に話しかけているところをやってみてください」と言いました。

すると突然、彼は手を耳のところに持って行って、南部訛りで話し始めたんです。「もしもし、フランク・アバグネイルって者ですが」といったふうに。こういう南部訛りになったんです。それで僕は「自分が何をしてるか気づいてますか」と言いました。彼は「いやいや」とか言うんです。僕は「発音の仕方を変えてますよね。違うキャラクターになろうとしてますよね」と言いました。でも彼は「いや、そうじゃない。そんなことはやってない」なんて言うんです。そこで僕が「いや、やってますよ」と言うと、彼は「まあ、そうかもしれないね。もしかしたらね」と言ったんです。それで、僕たちはそのことについて話し始め、僕は、これこそ彼が誰かになりすます方法なのだと気づきました —— 彼は基本的に、声に信用できる雰囲気を持たせようとしていたのです。

それは役作りの準備をする俳優に非常によく似ていましたが、彼は本能的にそうしていたのです。彼は自分がそうしていることさえ意識していませんでした。ですから、最初のころに彼と何度も会ったことで、役柄がまったく変わりましたね。

記者：詐欺は演技に非常に似ていると思いますか？

ディカプリオ：そう思いますね。確かに、僕たちは皆、俳優もしくは詐欺師ですよ。

記者：その逆はいかがですか？

ディカプリオ：もちろん、そうだと思います。フランク・アバグネイルは俳優でした。ただし、彼の舞台は現実の世界だったんですよ。

【原文】[!\[\]\(4fe57c3593bf1b21d272ae7ac8dfaf77_img.jpg\)](#)

俳優としての目標

 [Track05](#)

記者：一部には、これらの映画は俳優レオの再発見だ、と言う向きもあります。それに対して腹が立ちますか？

ディカプリオ：いいえ。『タイタニック』の後、あれが文化的、世界的な一大現象だったせいで、みんながついつい僕をほとんど商品扱いしてしまったことはわかっていましたから。自分でもそう感じたんですよ。世界中を回りましたが、みんなが僕に聞くことといえば、演技のことでも映画のことでもなく —— 映画スターとしての僕についてでした。

でも僕にとっては、仕事をせずに、俳優としての道や、どっちに行きたいか、何をやりたいかについて、よく考えてみるのは重要なことでした。それでこれまでと同じだと気づいたんです —— 僕はただ、ほかに類のない、変わった役を演じたいし、忘れ難い経験をしたい。時代を超えて支持される映画に参加したい。それが僕の目標です。

記者：ご自分の一部を秘密なままにしておくのは、なぜそれほど重要なことなのですか？

ディカプリオ：なぜかといえば、俳優とマスコミの間の本当の仕事はただひとつ、映画の宣伝だと思うからです。どんな俳優やパフォーマーにとっても —— もし真の俳優なら、そしてそれ（真の俳優であること）にこだわるなら —— 自分自身をマスコミに触れ回る必要はないと思うんです。博愛主義者でもない限り、それか —— 特別の信条があるのでもない限りはね。

それ（プライバシーが知られることの影響）はすぐさま起きることじゃないんです。ここに座って、あるインタビューを受けて、私生活や自分がどういう人間かといったことを全部明かしたとしても、必ずしも特定の役柄にはまらなくなるというわけではありません。でも、その効果はじわじわと出てきて、結局そのうち、みんな個人としての僕にすごく慣れてしまい、僕という人間をすごく知っていて、僕のことを理解しているみたいに感じるから、スクリーンで貧乏なアイルランド系移民をやっても受け入れてもらえなくなるんですよ。とにかく受け入れてくれなくなる。それ（自分の演技を信じさせること）が俳優としての僕の目標だから —— 僕は信じてもらいたい。そうじゃなければ、何の意味もないじゃないですか。

記者：クリストファー・ウォーケンとは、俳優として新たな分野に乗り出すことについて同じ考えを持っているようですね。

ディカプリオ：ええ。クリス・ウォーケンね。彼は別の星から宇宙のメッセージを受け取っているんです。本当ですよ。彼は、今現在、世界で一番素晴らしい俳優かもしれない。僕は記憶にある限りずっと昔から、彼に自分の父親役を演じてもらいたいと思っていました。『ディア・ハンター』や、彼のほかのいろいろな出演作を見て以来ずっと、とにかく一緒に仕事をせずにはいられないという気がしていたんです。

ですから、この役、つまり僕の父親、この映画のフランク・アバグネイルの父親役のことを聞いてすぐ、スティーブンに言ったんです。「クリスにやってもらいましょうよ。これはウィリー・ローマンみたいなキャラクターだ。まるで『セールスマンの死』だ。この男は打ちひしがれている。クリスならきっと、信じられないほど素晴らしい仕事をしてくれますよ」ってね。彼が日ごろ演じる役とはかなり違った役柄でもありましたが、大当たりの素晴らしい演技でしたね。

【原文】[▶](#)

Vocabulary List

A

- air** 雰囲気 ★ = feeling
- all of a sudden** まったく突然に
- at ease** 気楽に、安心して
- attach oneself (to ～)** (～に) かかわる、(～に) 参加する

B

- bar exam** 司法試験
- be compelled to do** ～せずにはいられない
- be poised to do** すぐにも～できる態勢にある
- branch out** 手を広げる、新しい分野に乗り出す
- buy** 受け入れる、信じる

C

- can't help but do** ～せずにはいられない
- cause** 大義、主義、目標
- come off of ～** ～を終える
- con** べてんに掛ける、だます

D

- divulge** 漏らす、暴露する

E

- engaging** 人を引きつける、魅力のある

F

- fascinating** 魅惑的な、とても面白い
- figure out ～** ～を解明する、～を理解する

G

- get attached to ～** ～に参加する、～に所属する

I

- initial** 初期の
- instinctively** 本能的に

K

- knock it out of the park** 場外ホームランをかつ飛ばす ★ = hit a big home run、do a very good job

O

- out there** 現存するうちで、知っているうちで、これまでで ★最上級を強調する表現。
- overwhelmingly** 圧倒的に

P

- pacing** ペース配分
- pass a bad check** 偽小切手をつかませる ★ bad check は「不渡り小切手」。
- phenomenon** 現象
- philanthropist** 慈善家、博愛主義者
- pick up on ～** ～を受信する
- polar opposite** 両極、正反対 ★ polar は「正反対の」という形容詞。
- preproduction** プレプロダクション ★映画制作の一工程。脚本の仕上げ、スタッフ決定、資金集めなどを行う期間を指す。

R

- read up on ～** ～を徹底的に勉強する、～を丹念に調べる
- reflect on ～** ～のことをよく考える
- road picture** ロードムービー ★主人公の旅とともに話が展開する映画。

S

- Southern drawl** 南部訛り
- splash** まき散らす

T

- take on ～** ～を引き受ける、～を担う
- tap into ～** ～に入り込む
- trickle-down** 浸透する、じわじわと伝わる

□**trustworthy** 信頼できる

U

□**unconscious** 無意識

□**uniformly** 一様に、一律に

V

□**vice versa** 逆に

W

□**what makes ~ tick** ★「何が～（人）を動かしているのか、なぜ～がそうするのか」の意の慣用表現。**tick**は「動く、作動する、活動する」。

□**work out** トレーニングする、体を鍛える

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ディカプリオは大ヒット映画 <i>Titanic</i> での演技について多くを語っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ディカプリオはこれまでに共演した女優については語っていない。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ディカプリオはこの映画 <i>Catch Me If You Can</i> の実在した主人公に会って話したことがある。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ディカプリオは <i>Catch Me If You Can</i> の脚本を最初から気に入った。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	<i>Catch Me If You Can</i> の主人公は実在した弁護士で、多くの詐欺を働いた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<i>Catch Me If You Can</i> の主人公は南部出身である。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	詐欺師と俳優はいずれも本能的に演技をする点において似ている、とディカプリオは言う。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	ディカプリオの目標はスビルバーグのような監督になることである。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	<i>Titanic</i> の大ヒットでディカプリオは俳優というより商品のように見られることがあった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	ディカプリオがプライベートな部分をマスコミに隠したがるのは、家族や友人に迷惑をかけたくないから。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは☐Yes、一致しないものは☐Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ディカプリオは大ヒット映画 <i>Titanic</i> での演技について多くを語っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	ディカプリオはこれまでに共演した女優については語っていない。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ディカプリオはこの映画 <i>Catch Me If You Can</i> の存在した主人公に会って話したことがある。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ディカプリオは <i>Catch Me If You Can</i> の脚本を最初から気に入った。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	<i>Catch Me If You Can</i> の主人公は実在した弁護士で、多くの詐欺を働いた。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	<i>Catch Me If You Can</i> の主人公は南部出身である。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	詐欺師と俳優はいずれも本能的に演技をする点において似ている、とディカプリオは言う。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	ディカプリオの目標はスビルバーグのような監督になることである。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	<i>Titanic</i> の大ヒットでディカプリオは俳優というより商品のように見られることがあった。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	ディカプリオがプライベートな部分をマスコミに隠したがるのは、家族や友人に迷惑をかけたくないから。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

用語解説

Martin Scorsese

マーティン・スコセッシ ★（1942-）。アメリカの映画監督。代表作に『タクシードライバー』（'76年）、『レイジング・ブル』（'80年）、『アフター・アワーズ』（'85年）など。

[▶本文に戻る](#)

Gangs of New York

『ギャング・オブ・ニューヨーク』 ★アメリカ映画（2002年）。監督マーティン・スコセッシ。19世紀のニューヨークを舞台に、アイルランド系移民と地元一派の抗争と、移民青年の復讐劇を描く。

[▶本文に戻る](#)

Steven Spielberg

スティーブン・スピルバーグ ★（1947-）。アメリカの映画監督。代表作に『E.T.』（'82年）、『シンドラーのリスト』（'93年）、『プライベート・ライアン』（'98年）など。

[▶本文に戻る](#)

Catch Me If You Can

『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』 ★アメリカ映画（2002年）。監督スティーブン・スピルバーグ。16～19歳の間に総額600万ドルもの偽造小切手を使用した実在の詐欺師F・アバグネイルと、彼を追うFBI捜査官の姿を描く。実話の映画化。

[▶本文に戻る](#)

King of the World

★スーパーヒット作『タイタニック』（アメリカ映画〔1997年〕。ジェームズ・キャメロン監督）の序盤のセリフに掛けた表現。ディカプリオ扮する貧しいアイルランド青年が賭けトランプで豪華客船タイタニック号の3等船室の切符を獲得して乗船し、"I'm the King of the World!" と叫ぶ。

[▶本文に戻る](#)

Tom (Hanks)

トム（・ハンクス） ★（1956-）。俳優。アメリカ・カリフォルニア州コンコード生まれ。代表作に『フィラデルフィア』（'93年、アカデミー主演男優賞）、『フォレスト・ガンプ／一期一会』（'94年、アカデミー主演男優賞）など。『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』では、主人公を追うFBI捜査官を演じている。

[▶本文に戻る](#)

Pan Am

パンナム ★ Pan American World Airways（パン・アメリカン航空）の通称。アメリカの大手航空会社だったが、1991年に倒産した。

[▶本文に戻る](#)

Christopher Walken

クリストファー・ウォーケン ★（1943-）。俳優。アメリカ・ニューヨーク生まれ。代表作に『ディア・ハンター』（'78年、アカデミー助演男優賞）、『デッド・ゾーン』（'83年）、『パルプ・フィクション』（'94年）など。『キャッチ・ミー.....』の演技でアカデミー助演男優賞にノミネートされた。
[▶本文に戻る](#)

The Deer Hunter

『ディア・ハンター』 ★アメリカ映画（1978年）。監督マイケル・チミノ。平和な田舎町で鹿狩りを楽しんでいた3人の若者が、ベトナム戦争に赴き、運命を狂わされる姿を描く。アカデミー賞5部門に輝いた名作。
[▶本文に戻る](#)

Willy Loman

ウィリー・ローマン ★『セールスマンの死』の主人公。
[▶本文に戻る](#)

Death of a Salesman

『セールスマンの死』 ★アメリカの劇作家アーサー・ミラーの代表作のひとつ（1947年）。過去の夢を追って現実を直視できない時代遅れのセールスマンが、保険金目当てに車を暴走させて自殺する悲劇。
[▶本文に戻る](#)

語注

this month

★このインタビューが行われた月で、『ギャング・オブ・ニューヨーク』と『キャッチ・ミー・イフ・ユー・キャン』の2作品が世界初公開された2002年12月を指す。

[▶本文に戻る](#)

the industry

★ここでは「映画業界」を指す。

[▶本文に戻る](#)

be poised to do

すぐにも～できる態勢にある

[▶本文に戻る](#)

polar opposite

両極、正反対 ★ polar は「正反対の」という形容詞。

[▶本文に戻る](#)

this one

★ *Catch Me If You Can* を指す。

[▶本文に戻る](#)

come off of ~

～を終える ★ = finish with ~

[▶本文に戻る](#)

essentially

本質的に、基本的に

[▶本文に戻る](#)

preproduction

プレプロダクション ★映画制作の一工程。脚本の仕上げ、スタッフ決定、資金集めなどを行う期間を指す。

[▶本文に戻る](#)

period

時代

[▶本文に戻る](#)

work out

トレーニングする、体を鍛える

[▶本文に戻る](#)

Rome

ローマ ★『ギャング・オブ・ニューヨーク』の撮影は、ローマの「チネチッタ・スタジオ」で行われた。

[▶本文に戻る](#)

road picture

ロードムービー ★主人公の旅とともに話が展開する映画。

[▶本文に戻る](#)

constantly

絶えず、しきりに

[▶本文に戻る](#)

pacing

ペース配分

[▶本文に戻る](#)

situation

局面、決定的場面

[▶本文に戻る](#)

attach oneself (to ~)

(～に) かかわる、(～に) 参加する

[▶本文に戻る](#)

script

脚本

[▶本文に戻る](#)

read like wildfire

★ここでは (the script) was very exciting という意味。like wildfire は「野火のように速く、あっという間に」。

[▶本文に戻る](#)

get attached to ~

～に参加する、～に所属する

[▶本文に戻る](#)

be compelled to do

～せずにはいられない

[▶本文に戻る](#)

uniformly

一様に、一律に

[▶本文に戻る](#)

fascinating

魅惑的な、とても面白い

[▶本文に戻る](#)

tap into ~

～に入り込む

[▶本文に戻る](#)

unconscious

無意識

[▶本文に戻る](#)

figure out ~

～を解明する、～を理解する

[▶本文に戻る](#)

what makes ~ tick

★「何が～(人)を動かしているのか、なぜ～がそうするのか」の意の慣用表現。tickは「動く、作動する、活動する」。

[▶本文に戻る](#)

engaging

人を引きつける、魅力のある

[▶本文に戻る](#)

innocent

無垢な、悪意のない

[▶本文に戻る](#)

overwhelmingly

圧倒的に

[▶本文に戻る](#)

trustworthy

信頼できる

[▶本文に戻る](#)

at ease

気楽に、安心して

[▶本文に戻る](#)

why he was able to pull off what he pulled off

bar exam

司法試験

[▶ 本文に戻る](#)

read up on ~

～を徹底的に勉強する、～を丹念に調べる

[▶ 本文に戻る](#)

transform

変える

[▶ 本文に戻る](#)

embody

体現する、具体化する、具体的に示す

[▶ 本文に戻る](#)

pass a bad check

偽小切手をつかませる ★ bad check は「不渡り小切手」。ここでは「偽造小切手」を指す。

[▶ 本文に戻る](#)

all of a sudden

まったく突然に

[▶ 本文に戻る](#)

Southern drawl

南部訛り

[▶ 本文に戻る](#)

take on ~

～を引き受ける、～を担う

[▶ 本文に戻る](#)

air

雰囲気 ★ = feeling

[▶ 本文に戻る](#)

authority

権威、威信、説得力

[▶ 本文に戻る](#)

instinctively

本能的に

[▶ 本文に戻る](#)

initial

初期の

[▶ 本文に戻る](#)

con

べてんに掛ける、だます ★ 1 行下の con man は「詐欺師」のこと。

[▶ 本文に戻る](#)

absolutely

完全に、確かに ★ 返答として 1 語で使うと、完全な同意・賛成を示し、「まったくそのとおり」という意味になる。

[▶ 本文に戻る](#)

vice versa

逆に

[▶ 本文に戻る](#)

rediscovery

再発見

[▶ 本文に戻る](#)

phenomenon

現象

[▶ 本文に戻る](#)

can't help but do

～せずにはいられない

[▶ 本文に戻る](#)

not to

★ [n]+[n]の連音に注意。

[▶ 本文に戻る](#)

reflect on ～

～のことをよく考える

[▶ 本文に戻る](#)

resonate throughout time

時代を超えて響く ★ここでは「時代を超えて支持される」という意味。= touch people throughout the ages、continue to be meaningful

[▶ 本文に戻る](#)

private

★語尾の破裂のない [v]に注意。

[▶ 本文に戻る](#)

promote

宣伝する

[▶ 本文に戻る](#)

splash

まき散らす、派手に扱う

[▶ 本文に戻る](#)

philanthropist

慈善家、博愛主義者

[▶ 本文に戻る](#)

cause

大義、主義、目標

[▶ 本文に戻る](#)

immediately

すぐに

[▶ 本文に戻る](#)

divulge

漏らす、暴露する

[▶ 本文に戻る](#)

buy

受け入れる、信じる、買う

[▶ 本文に戻る](#)

specific

特定の

[▶ 本文に戻る](#)

trickle-down

浸透する、じわじわと伝わる

[▶ 本文に戻る](#)

a poor Irish immigrant

貧乏なアイルランド系移民 ★『タイタニック』でディカプリオが演じた役柄を指している。

[▶本文に戻る](#)

the hell's

★ what's the point of it? を強めている。

[▶本文に戻る](#)

branch out

手を広げる、新しい分野に乗り出す

[▶本文に戻る](#)

pick up on ~

～を受信する

[▶本文に戻る](#)

unique

★ここでは「たぐいまれな、素晴らしい」の意。

[▶本文に戻る](#)

out there

現存するうちで、知っているうちで、これまでで ★最上級を強調する表現。

[▶本文に戻る](#)

unbelievable

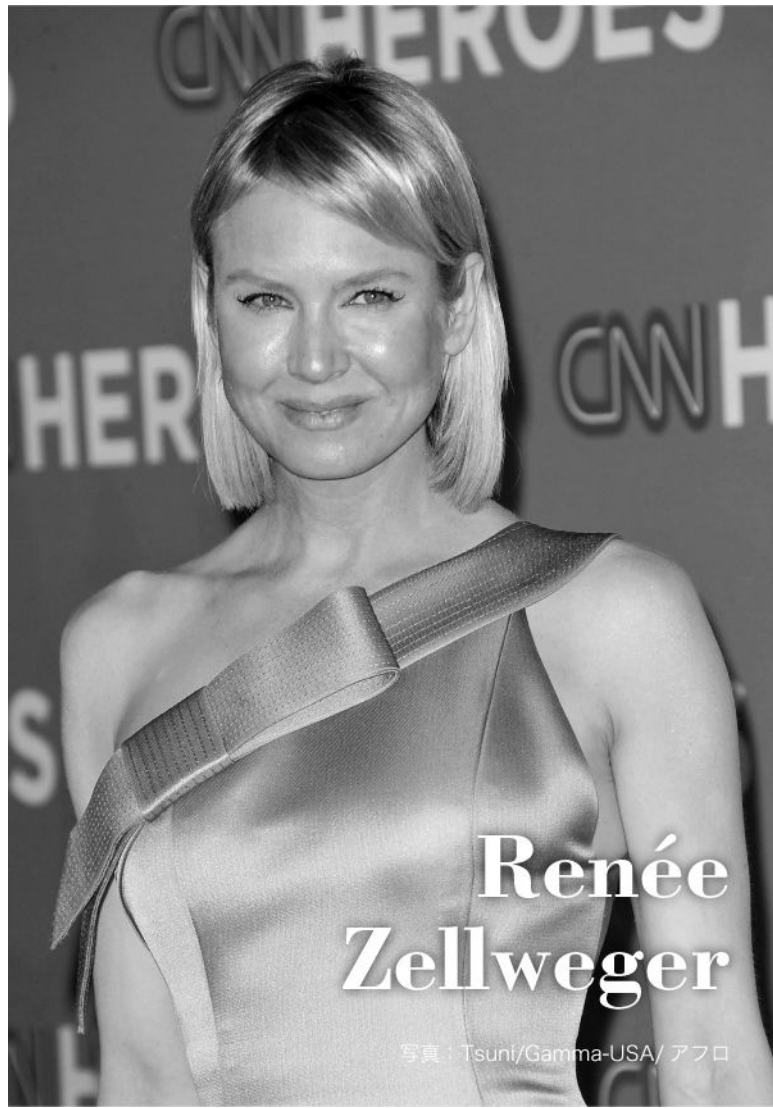
信じられないほど素晴らしい

[▶本文に戻る](#)

knock it out of the park

場外ホームランをかつ飛ばす ★ = hit a big home run 、 do a very good job

[▶本文に戻る](#)



Renée
Zellweger

写真：Tsuni/Gamma-USA/ アフロ

Renée Zellweger

“It starts with, ‘Yeah, I could spend six months of my life with this person.’”

「『そうよ、私の人生の6カ月をこの人と一緒に過ごせるんだわ』というところから始まるの」

Supervising Editor's Comment

ゼルウィガーは、ミュージカルの仕事について、意識の流れに沿ったスタイルで話しています。特に最後の部分では、舞台での動きに合わせて、フレーズやセンテンスをしゃべっています。このため彼女の話は、付いていくのが難しい反面、ドラマティックで興味深いものになっています。彼女の声は魅力的で、聞いていると催眠術にかかってしまいそうな気がします。

Interview Data	
収録日	2002年12月14日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	やや早い
語彙	普通
発音	一部やや不明瞭

レニー・ゼルウィガー
Renée Zellweger
1969年4月25日、アメリカ・テキサス州生まれ。テキサス大学で演劇を学ぶ。『バッド・チューニング』（'93年）で映画デビュー。『サ・エージェント』（'96年）でトム・クルーズと共演、注目を集める。代表作に、『ベティ・サイズモア』（2000年、ゴールデン・グローブ主演女優賞受賞）、『ブリジット・ジョーンズの日記』（'01年）、『シカゴ』（'02年、同賞受賞）、『ゴールド・マウンテン』（'03年、アカデミー助演女優賞受賞）など。
最近大活躍の女優レニー・ゼルウィガーが、2003年度のアカデミー賞を6部門で受賞した大ヒット・ミュージカル『シカゴ』の出演秘話を披露。歌も踊りも「素人同然」だった彼女が必死に頑張った理由とは？ 語り口が人柄を伝える好感度抜群のインタビュー。

Here, Renée Zellweger talks about [overcoming](#) her fears of playing the [lead](#) in a musical, when she'd never danced or sung professionally, her [affection](#) for director [Rob Marshall](#), and the [endless toil](#) it took to bring [Chicago](#) to the [big screen](#).

A Secret Trick

DL Track08

用語解説 語注

Reporter: You're like a [revelation](#) in this film. It's a shock to see you singing and dancing [your heart out](#). It's a revelation.

Renée Zellweger: Thank you. That's a nice thing to say.

Reporter: What made you [go for it](#)?

Zellweger: It just wasn't so obvious, I guess, 'cause I really don't have a [background](#) in it. Well, no, I really don't have a background in it, and I don't know much about it. I'm completely [ignorant](#), actually, about theater, and especially musical theater. It was Rob Marshall. It was all about Rob Marshall.

I met the guy and I didn't care. I liked him so much, and it's rare, really rare, that you meet a person who is so [inspiring](#), not just because of his creative [brilliance](#), but because of his [purity](#) and spirit and his obvious kindness and generosity. I wanted to know this person and I wanted to share with whatever it was that he was going to [concoct up there](#) in Toronto. I wanted to be around him, and I wanted to know him, and I thought, "[You know what?](#) I could spend six months of my life with that guy." And -- and it went from there.

Reporter: [Catherine](#) said you could run for three days on the [treadmill](#)!

Zellweger: Well, this was new and different. Um, whenever you [take on](#) a new sport, you're using muscles you didn't know were there. The "[high heel muscles](#)," those were new -- definitely new, and needed some developing, that's for sure. This is [fatiguing](#) initially -- you know, trying to [keep up with](#) these [Broadway girls](#) that do this every day and do it so beautifully.

So it was definitely learning a new skill [in that regard](#). And I would go hit the treadmill at the end of the day just to keep my energy up. Because it was pretty [demanding](#) in terms of the scheduling and things like that, I wanted to maintain that [stamina](#) somehow and get out the [frustration](#).

Reporter: You talk about those "high heel muscles," and there you are [gliding](#) down the steps. That's like an [iconic](#) image from the classic musicals. Doing it must be a dream.

Zellweger: It's very different. It's beautiful to look at, and I never thought about what went into it before until we got up there. And they're [shiny](#), OK -- the shiny plastic shiny stairs. And shiny stairs and high-heeled shoes are not good friends. And it was an interesting day learning that. There was a [trick](#) that [he](#) said, "OK, you know what [Gwen](#) used to do. She would hit the back of her heel on the back of the step and slide the heel down. Not so great for the shoes, but it definitely saves your neck."

So that was a new skill and a new little secret trick that we learned. It doesn't always work, [mind you](#), but you [give it your best shot](#).

translation ▶

Reporter: Is there something about the [nature](#) of the story that just [rings true](#) today more than ever?

Zellweger: Oh, my goodness. I can't speak for other [folks](#) in this business, but I guess it's about [where you come from](#). And I'm [motivated](#) by very different things. I wanted to do this movie because I loved Rob Marshall. It's kind of [antithetical](#) to that concept, I think. Life's too short, and the way that I experience this business, it takes a lot of your life. It gives a lot. Every experience that I've had has been [life-enriching](#) in some way, on a personal level -- not just professionally. You learn something.

But it goes far beyond that. And what it asks of you is so [significant](#) in terms of time and [commitment](#). And it takes your spirit. In my personal experiences, it requires a little bit of my heart. And I can't give it if it's not a [reciprocal](#) experience on a personal level. I can't be part of something and share that part of myself with someone that I don't respect, or that doesn't teach me something, or doesn't inspire me, or that I don't care for. And by saying "I don't care for," I don't mean, "I don't like that person," but I don't care for -- I have to care for the people that I'm working with. And I cared for Rob Marshall immediately.

So in any business it [matters](#) to me, and it starts there. It starts with, "Yeah, I could spend six months of my life with this person." Because you know what? Life is just too short, and there's a lot of good [dog/cat hours](#) that I miss out on to go and make a film.

translation ►

Reporter: When you finally saw your dance [numbers](#), what went through your head?

Zellweger: "Oh, God! Why did you do that!? Why didn't you do this!? Where did the . . ." That's what I did.

Reporter: You weren't proud of them?

Zellweger: On [Roxie](#) day? [Boy](#), I was proud. I wasn't proud. That's the wrong word. I was [elated](#). I was so excited that we did it, because it was such a combination of things.

There's a lot of stuff that goes into just playing a scene like a plain [old](#) scene. There are so many technical things that you have to be [cognizant](#) of [from top to bottom](#), things that hopefully are [invisible](#). Just your [mark](#) -- your mark, your lighting, your sound stuff.

So everything had to be . . . exactly right. [Peter](#) and I -- Peter who is the camera operator -- he's brilliant. I've worked with him many times, actually -- he's one of my dear friends now. I [adore](#) that man. He's so talented. He had to be there in the mirror. I had to see him in the mirror when I made the turns. And if I stepped just an [inch](#) that way too far, with all these other element things that you have to think about, then it was no good. And if I turned my head wrong or if I missed the [lip-synching](#) of the word or any of these things -- so many things could go wrong. If the light didn't come over at the right time, if one of the guy dancers just had a moment where he went, "What am I doing?" -- all of it, do you know? We'd have to start all over again.

And it was six o'clock in the morning so never mind that people are a little bit sleepy. And every time I would turn into one of those mirrors I would have to see Peter there. If not, [forget it](#). So we'd go into it, turn, and I'd look in the mirror, "Please, God, let him be there. He's there! He's there!" Two more steps this way, turn into the mirror. "He's there! Yes!" Go this way, three more steps, do the thing, do the turn, sing the song, don't forget the words, don't forget your face, don't forget touching the mirror, move your shoulder, don't get [tangled](#), and, "He's -- he's there!" And this went on for five minutes. It's like a [sequence](#). [It doesn't stop](#).

Everything kept going right! And every time something went right, it went, "Oh, my God!" It would [compile](#) -- the pressure, the pressure, the pressure. Don't [mess it up](#) now! It's like playing [Pac-Man](#) and you're on your last guy. And you're gonna start all over again and you're gonna go back to the first screen if you just turn your head wrong, if you just miss that step. And we did it! The back walk over and out the door, and they were still rolling on the guys. And I was jumping up and down just outside of the frame, because it all went right! Oh, that was a moment!

translation ►

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication
Narrated by Gary Scott Fine*

このインタビューでレニー・ゼルウィガーは、それまでプロとして踊りや歌の経験がなかったにもかかわらずミュージカルの主役を演じることの不安をどう乗り越えたか、ロブ・マーシャル監督に対する愛情、そして『シカゴ』の上映に至るまでに要した果てしない苦勞について、語ってくれます。

【原文】[▶](#)

秘密の裏技

DL **Track08**

記者：この映画のあなたには驚かされました。あなたがとことん歌い、踊るのを見て衝撃を受けました。まさに驚嘆に値します。

レニー・ゼルウィガー：ありがとう。そうおっしゃってくださって、うれしいわ。

記者：なぜ、この映画に挑戦しようと思ったのですか？

ゼルウィガー：それがそんなにはつきりしていなくて、そう、だって私にはその（ミュージカルの）経験がありません。というより、ええ、本当に経験もないし、知識もありません。実のところ、舞台、特にミュージカルの舞台に関しては、まったく無知なんです。ロブ・マーシャルがいたからです。すべてロブ・マーシャルあつてのことです。

彼に会って、（経験がないことは）どうでもよくなりました。彼のことがすごく好きになったんですが、これはめったにない、本当にめったにないことです、独創的な才能だけでなく、その純粋さと精神性と、すぐに見てとれる優しさと寛大さによって、あれほど人をやる気にさせる人物に出会えるなんて。私は、この人のことをよく知りたい、彼がトロントのほうで企てていることに何であれ加わりたい、と思ったの。彼のそばにいたくて、彼のことが知りたくて、こう思いました、「考えてもみて、人生のうち6カ月間をあの人と過ごすことができるのよ」と。そして——そしてそこから始まったんです。

記者：キャサリンが、あなたは3日間でもランニングマシンで走ることができるんだって言ってましたよ！

ゼルウィガー：だって、これは新しい、今までにない経験でしたから。ほら、新しくスポーツを始めるときって、今までそこにあることさえ知らなかった筋肉を使うことになりますよね。「ハイヒール用の筋肉」、これは新しい——間違いなく新しい筋肉で、少し鍛える必要がありました、絶対にね。最初はくたくたになりました—— こういう振付を毎日、しかも華麗にやっているブロードウエーのダンサーたちに付いていこうとするのは。

ですから、そういう意味では確かに新しい技を学んだと思います。そして一日の終わりには、とにかく体力を維持するためにランニングマシンで走りました。（撮影）スケジュールなどの点でかなりきつかったのも、どうにかしてスタミナを維持して、ストレスを発散させたかったんです。

記者：「ハイヒール用筋肉」と言えば、映画であなたは流れるように階段を降りてきます。あれは古典的ミュージカルのいわばお約束のシーンですよ。それを実際にやるのは、夢みたいなことだったでしょうね。

ゼルウィガー：それが（見るとやるとでは）大違いなんです。見ているぶんには美しいんですが、私は自分でそこ（階段）の上に立つまで、あれを実際にやるのがどういうことか考えたこともありませんでした。そして階段はつるつる、いいですか—— つるつるのプラスチック製のつるつるの階段なんです。それで、つるつるの階段とハイヒールの靴は相性が良くないの。そのことがわかった日は面白かったわ。ある裏技があつて、ロブがこう言ったんです。「グウェンがどうやってたか教えようか。彼女はヒールの裏を階段の奥に当てて、ヒールを滑り下ろしてたんだよ。靴にとってはよくないけど、そうすれば絶対、首の骨を折らずに済むのさ」。

だから、それが新しい技、私たちが学んだ新しいちょっとした秘密の裏技なんです。とはいっても、それがいつもうまくいくとは限らないけど、でも、できるだけのはしくちゃね。

【原文】[▶](#)

人生を豊かにする体験


  09

記者：この物語（『シカゴ』）の本質には、今日ではよけい、何か真実味が感じられる面があるのでは？

ゼルウィガー：あらまあ。この（ショービジネス）業界のほかの人たちのことは話せないけれど、自分の原点がどこにあるのか、ということにかかわってくるんじゃないかと思います。私は（自分が演じたロキシーとは）全然違う動機で動いているんです。私がこの映画に出演したかったのは、ロブ・マーシャルが大好きだったからです。それは、そういう（『シカゴ』の）コンセプトとは対極にあるようなものじゃないかしら。人生はあまりに短く、私がこの仕事をどのように経験するかということに人生の多くがかかっています。それは多くのものを与えてくれます。私が経験したことはすべて、何らかの形で私の人生を豊かにしてきました。仕事の上だけでなく、私的な面でも。学ぶべきものがあるんです。

でも、それだけにとどまりません。仕事が求めるものは、時間的にも、精神的なかかわりという意味でも、極めて多大です。自分の精神を注ぎ込むことになります。私の個人的な経験では、自分の心までもが少し必要とされます。ですから、その仕事が、個人的なレベルでも双方向に与え合う経験でなければ、私もそれを与えることはできません。私は、尊敬できない人、何かを教わることがない人、影響を与えてくれない人、もしくは私が大切に思えない人と、共に何かにかかわり、私自身の一部を分かち合うことはできません。そして「大切に思えない」というのは「その人は好きじゃないわ」ということではなく、ただ大切に思えない、ということです——私は、一緒に仕事をしている人は大切に思えなきゃ駄目なんです。そして、ロブ・マーシャルのことは即座に大切だと思えたのです。

ですから、どんなビジネスでも、私にとってはそれが重要なことであり、すべてはそこから始まります。「そう、この人と一緒に私の人生のうちの6カ月を過ごすことができるんだ」というところから始まるんです。だって、ご存じ？　人生はとにかく短くて、私は映画を1本撮るために、家で犬や猫と過ごすすてきな時間の多くを犠牲にしているんですもの。

[【原文】](#) 

止まらないシークエンス

 **DL**  **Track10**

記者：最終的にご自分のダンスナンバー（のシーン）をご覧になったとき、何が頭を駆け巡りましたか？

ゼルウィガー：「うわあ！　なんでそんなふうにしたの？！　なんでこうやらなかったの？！　あれはどこに・・・」って。そういう感じでした。

記者：誇らしくはなかったのですか？

ゼルウィガー：ロキシーをやった日に？　それは、誇らしかったです。誇らしいじゃなかったな。その言葉はちょっと違いますね。大得意だったんです。すごくいろいろな要素が組み合わさった場面だったから、みんなでやり遂げたことに興奮していました。

　たったひとつの地味でありきたりな場面を演じるのにも、多くの要素がかかわってきます。何から何までわかっていなければならない技術的なこと、願わくは画面に映らないでほしいことが山ほどあるんです。ただの立ち位置でも――立ち位置、照明、音響関係。

　ですから、すべてが・・・完璧でなければなりませんでした。ピーターと私は――ピーターはカメラ技師で――ものすごく優秀な人です。彼とは実は何度も一緒に仕事をしていて――いまや親友のひとりなんです。あの人が大好きです。彼にはものすごく才能があります。常に彼が鏡の中にいなくちゃだめだったんです。私がターンするたびに、彼が鏡の中に見える必要があったんです。それで、気にしなくちゃいけないほかのいろいろな要素に気をとられて1インチでも余計に足を踏み出したら、もうそれで失敗。それに、頭を間違った方向に向けたり、歌詞の口まねを間違えたりしたら、そういうことをひとつでもやったら――すごくたくさん、失敗する可能性があることがあったんです。もし照明がちょうどいい瞬間に当たらなかったら、男性ダンサーのひとりが一瞬でも「おれは何をしてるんだ？」と躊躇したら――とにかく、そういったこと全部なの、わかります？　そうになったら、全部初めからやり直さなくちゃなりませんでした。

　午前6時でしたが、みんなちょっと眠いなんてことには構ってられません。そして、振り返って鏡のひとつをのぞき込むたびに、ピーターがそこにいるのが見えなくちゃいけないんです。見えなかったら失敗です。そうして私たちは踊り始め、ターンする、そして鏡の中をのぞく。「神様、お願いします、彼がそこにいますように。いた！　いたわ！」。あと2ステップこっちへ、鏡に向かってターン。「いた！　やったわ！」。こっちに動いて、あと3ステップ、振りをやって、ターンして、歌を歌って、歌詞を忘れないで、表情も忘れないで、鏡を触るのを忘れないで、肩を動かして、もつれないで、そして、「いたわ！」。そして、これが5分間続きました。これは一続きの場面なの。途中で止まらないんです。

　何もかもがずつとうまういき続けました。そして何かがうまういくたびに、みんな、「信じられない！」という感じでした。そういうのがどんどん積み重なっていつて――プレッシャー、プレッシャー、プレッシャーです。ここまできて台無しにしないで！　パックマンで最後の1匹を動かしているようなものです。ただ頭を違う方に向けたり、ステップをひとつ抜かしたりするだけで、全部最初からやり直し、一番初めの画面に戻ってしまう。そして、やった！　後ろに進むステップが終わって退場、そしてカメラはまだ男性ダンサーたちを撮影していました。で、私は画面の枠のすぐ外で飛んだり跳ねたりしていました、だって全部うまういったんだもの！　ええ、それはもう最高の瞬間でした！

【原文】[▶](#)

Vocabulary List

A

- adore** あがめる、(～が) 好きである
- affection** 愛情、好意
- antithetical** 対照を成す、正反対の

B

- big screen** 映画館
- boy** いやはや、まったく ★喜び、驚き、落胆などを表す間投詞。
- brilliance** 優れた才能、傑出

C

- cognizant** 認識している
- commitment** 傾倒、かかわり合い
- compile** 蓄積する
- concoct** 考える、企む

D

- demanding** 大変な労力を要する、きつい

E

- elated** 高揚した、大得意の

F

- fatiguing** 疲れさせる、疲労させる
- folks** 人々 ★この意味では常に複数形で使う。
- forget it** 忘れたほうがいい、駄目だ
- from top to bottom** ★ = 100 percent、completely、perfectly

G

- give ~ one's best shot** ～を一生懸命やってみる、～にベストを尽くす
- glide** 滑るように動く
- go for it** 全力でやってみる、いちかばちかやってみる

I

- iconic** 伝統的様式の、因習的な
- ignorant** 不案内の、無知の
- in that regard** その点では、その点については

K

- keep up with ~** ～に(負けないで)付いていく

L

- lead** 主役
- life-enriching** 人生を豊かにする ★ enriching = deepening
- lip-synch** 録音に合わせて口を動かす、リップシンクする

M

- mark** (スタート位置を示す) 目印
- matter** 重要である、重大な関係がある
- mess ~ up** ～を台無しにする
- mind you** いいですか、ただし、とはいっても
- motivate** (～に) 動機を与える、(～に) 興味を与える

O

- ~ one's heart out** とことん～し切る ★～の部分には動詞が入る。
- old** 月並みな、いつもの

P

- purity** 純粋、清廉、潔白

R

- reciprocal** 相互の
- revelation** 意外な新事実、驚き、思いがけないこと
- ring true** 本当のように思える、真実の響きがある

S

- sequence 一続きの場面
- shiny 光る、光沢のある、磨いた
- significant かなりの、著しい

T

- take on ～ ～に挑戦する
- tangled もつれた、絡んだ
- toil 骨の折れる仕事、苦労
- treadmill （トレーニング用の）ランニングマシン
- trick うまいやり方、こつ、秘訣

Y

- you know what? ねえ、あのね、ほら ★話のはじめに相手の注意を引く表現。

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ゼルウィガーは、この映画 <i>Chicago</i> に出演するまでミュージカルの経験がなかった。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ゼルウィガーは監督のロブ・マーシャルについてはあまり好んでいなかった。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ゼルウィガーが <i>Chicago</i> をやってみようと思ったのは、脚本が気に入ったから。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ゼルウィガーがランニングマシンで走るのは体力維持とストレス発散のためである。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	ハイヒールで階段を降りるのは、ゼルウィガーが思っていたよりはるかに大変なことだった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	一緒に仕事をするときには、人間関係がどうあろうと、各自がプロフェッショナルとしてやるべきことをやればよい、とゼルウィガーは割り切っている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	尊敬できない人と一緒に仕事をすることで貴重な人生の時間を犠牲にはできない、とゼルウィガーは考えている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	ダンスの撮影は1インチのずれも許されないほど厳しいもので、朝になっても撮影していることもあった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	ゼルウィガーは踊るときに、しきりにカメラマンのピーターの姿が見えることを気にした。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	最高の瞬間は、独りで5分間のダンスをミスなしにやりとげたときだった。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え 

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ゼルウィガーは、この映画 <i>Chicago</i> に出演するまでミュージカルの経験がなかった。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ゼルウィガーは監督のロブ・マーシャルについてはあまり好んでいなかった。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	ゼルウィガーが <i>Chicago</i> をやってみようと思ったのは、脚本が気に入ったから。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	ゼルウィガーがランニングマシンで走るのは体力維持とストレス発散のためである。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	ハイヒールで階段を降りるのは、ゼルウィガーが思っていたよりはるかに大変なことだった。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	一緒に仕事をするときには、人間関係がどうあろうと、各自がプロフェッショナルとしてやるべきことをやればよい、とゼルウィガーは割り切っている。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	尊敬できない人と一緒に仕事をすることで貴重な人生の時間を犠牲にはできない、とゼルウィガーは考えている。	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	ダンスの撮影は1インチのずれも許されないほど厳しいもので、朝になっても撮影していることもあった。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	ゼルウィガーは踊るときに、しきりにカメラマンのピーターの姿が見えることを気にした。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	最高の瞬間は、独りで5分間のダンスをミスなしにやりとげたときだった。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

用語解説

Rob Marshall

ロブ・マーシャル ★（1960-）。映画／舞台監督・振付師・演出家。アメリカ・ウィスコンシン州生まれ。演出家としてデビューした『キャバレー』（'98年）で舞台演劇界の最高峰であるトニー賞を受賞。『シカゴ』は映画初監督作品。

[▶本文に戻る](#)

Chicago

『シカゴ』 ★アメリカ映画（2002年）。ボブ・フォッシーのブロードウエー・ミュージカルの映画化。2003年度のアカデミー賞を6部門で獲得した。1920年代のシカゴを舞台に、スターを夢見るロキシー（ゼルウィガー）とスターダンサーのヴェルマ（キャサリン・ゼタ=ジョーンズ）は、共に殺人を犯しながらも、悪徳弁護士ビリー（リチャード・ギア）の巧みなメディア操作の助けを借り、互いに相手をしのぐ名声を得ようと虚々実々の駆け引きを繰り広げる。

[▶本文に戻る](#)

Catherine (Zeta-Jones)

キャサリン（・ゼタ=ジョーンズ） ★（1969-）。女優。イギリス・ウェールズ生まれ。出演作に『マスク・オブ・ゾロ』（'98年）、『エントラップメント』（'99年）、『トラフィック』（2000年）など。『シカゴ』のヴェルマ役で、英国アカデミー助演女優賞とアカデミー助演女優賞を受賞。夫は俳優のマイケル・ダグラス。

[▶本文に戻る](#)

Gwen (Verdon)

グウェン（・ヴァードン）。 ★（1925-2000）。アメリカの女優。1950～'60年代に「ブロードウエー最高のダンサー」と呼ばれ、『シカゴ』の初演（'75年）で、ロキシー役を演じた。

[▶本文に戻る](#)

Roxie

ロキシー ★『シカゴ』でのゼルウィガーの役名。また彼女が映画の中で歌う同名の曲もある。ここでは、**Roxie day**で「『ロキシー』を歌って踊った日」という意味。

[▶本文に戻る](#)

Peter (Rosenfeld)

ピーター（・ローゼンフェルド） ★（1960-）。カメラ技師。

[▶本文に戻る](#)

Pac-Man

パックマン ★1980年にナムコ社から発売され、世界中で一大ブームを巻き起こしたテレビゲーム。

[▶本文に戻る](#)

語注

overcome

打ち勝つ、乗り越える
[▶本文に戻る](#)

lead

主役
[▶本文に戻る](#)

affection

愛情、好意
[▶本文に戻る](#)

endless

終わりのない
[▶本文に戻る](#)

toil

骨の折れる仕事、苦労
[▶本文に戻る](#)

big screen

映画館
[▶本文に戻る](#)

revelation

意外な新事実、驚き、思いがけないこと
[▶本文に戻る](#)

～ one's heart out

とことん～し切る ★～の部分には動詞が入る。
[▶本文に戻る](#)

go for it

全力でやってみる、いちかばちかやってみる
[▶本文に戻る](#)

background

経歴、素地、下地
[▶本文に戻る](#)

ignorant

不案内の、無知の
[▶本文に戻る](#)

inspiring

人を鼓舞する、感動させる
[▶本文に戻る](#)

brilliance

優れた才能、傑出、卓抜
[▶本文に戻る](#)

purity

純粹、清廉、潔白
[▶本文に戻る](#)

concoct

考える、企む
[▶本文に戻る](#)

up there

★トロント（カナダ）は、地図上でアメリカの上にあるので、こういう言い方をしている。

[▶本文に戻る](#)

you know what?

ねえ、あのね、ほら ★話のはじめに相手の注意を引く表現。ここでは、自分に向かって言っている。

[▶本文に戻る](#)

treadmill

（トレーニング用の）ランニングマシン

[▶本文に戻る](#)

take on ~

～に挑戦する

[▶本文に戻る](#)

"high heel muscles"

★ここでは、ハイヒールを履いて舞台上で踊ることを一種のスポーツとしてとらえ、そのために必要な足の筋肉全般を指している。

[▶本文に戻る](#)

fatiguing

疲れさせる、疲労させる

[▶本文に戻る](#)

keep up with ~

～に（負けないで）付いていく

[▶本文に戻る](#)

Broadway girl

ブロードウエイ・ダンサー

[▶本文に戻る](#)

in that regard

その点では、その点については

[▶本文に戻る](#)

demanding

大変な労力を要する、きつい

[▶本文に戻る](#)

stamina

スタミナ、体力、持久力

[▶本文に戻る](#)

frustration

欲求不満、ストレス

[▶本文に戻る](#)

glide

滑るように動く

[▶本文に戻る](#)

iconic

伝統的様式の、因習的な

[▶本文に戻る](#)

shiny

光る、光沢のある、磨いた

[▶本文に戻る](#)

trick

うまいやり方、こつ、秘訣

[▶本文に戻る](#)

he

★振付も行ったロブ・マーシャルを指していると思われる。

[▶ 本文に戻る](#)

mind you

いいですか、ただし、とはいっても

[▶ 本文に戻る](#)

give ~ one's best shot

～を一生懸命やってみる、～にベストを尽くす

[▶ 本文に戻る](#)

nature

性質、本質

[▶ 本文に戻る](#)

ring true

本当のように思える、真実の響きがある

[▶ 本文に戻る](#)

folks

人々 ★この意味では常に複数形で使う。

[▶ 本文に戻る](#)

where you come from

★ = what your motivation is

[▶ 本文に戻る](#)

motivate

（～に）動機を与える、（～に）興味を与える

[▶ 本文に戻る](#)

antithetical

対照を成す、正反対の

[▶ 本文に戻る](#)

life-enriching

人生を豊かにする ★ enriching = deepening

[▶ 本文に戻る](#)

significant

かなりの、著しい

[▶ 本文に戻る](#)

commitment

傾倒、かかわり合い

[▶ 本文に戻る](#)

reciprocal

相互の

[▶ 本文に戻る](#)

matter

重要である、重大な関係がある

[▶ 本文に戻る](#)

dog/cat hours

★ hours spent at home relaxing with my pets といった意味だと思われる。

[▶ 本文に戻る](#)

number

演目、曲目
[▶ 本文に戻る](#)

boy

いやはや、まったく ★喜び、驚き、落胆などを表す間投詞。
[▶ 本文に戻る](#)

elated

高揚した、大得意の
[▶ 本文に戻る](#)

old

月並みな、いつもの
[▶ 本文に戻る](#)

cognizant

認識している
[▶ 本文に戻る](#)

from top to bottom

★ = 100 percent、completely、perfectly
[▶ 本文に戻る](#)

invisible

気づかれない、目につかない
[▶ 本文に戻る](#)

mark

(スタート位置を示す) 目印
[▶ 本文に戻る](#)

adore

あがめる、(～が) 大好きである
[▶ 本文に戻る](#)

inch

インチ ★長さの単位。1 インチ = 2.54センチメートル。
[▶ 本文に戻る](#)

lip-sync(h)

録音に合わせて口を動かす、リップシンクする
[▶ 本文に戻る](#)

forget it

忘れたほうがいい、駄目だ
[▶ 本文に戻る](#)

tangled

もつれた、絡んだ
[▶ 本文に戻る](#)

sequence

一続きの場面
[▶ 本文に戻る](#)

it doesn't stop

★ = there are no pauses、it's continuous
[▶ 本文に戻る](#)

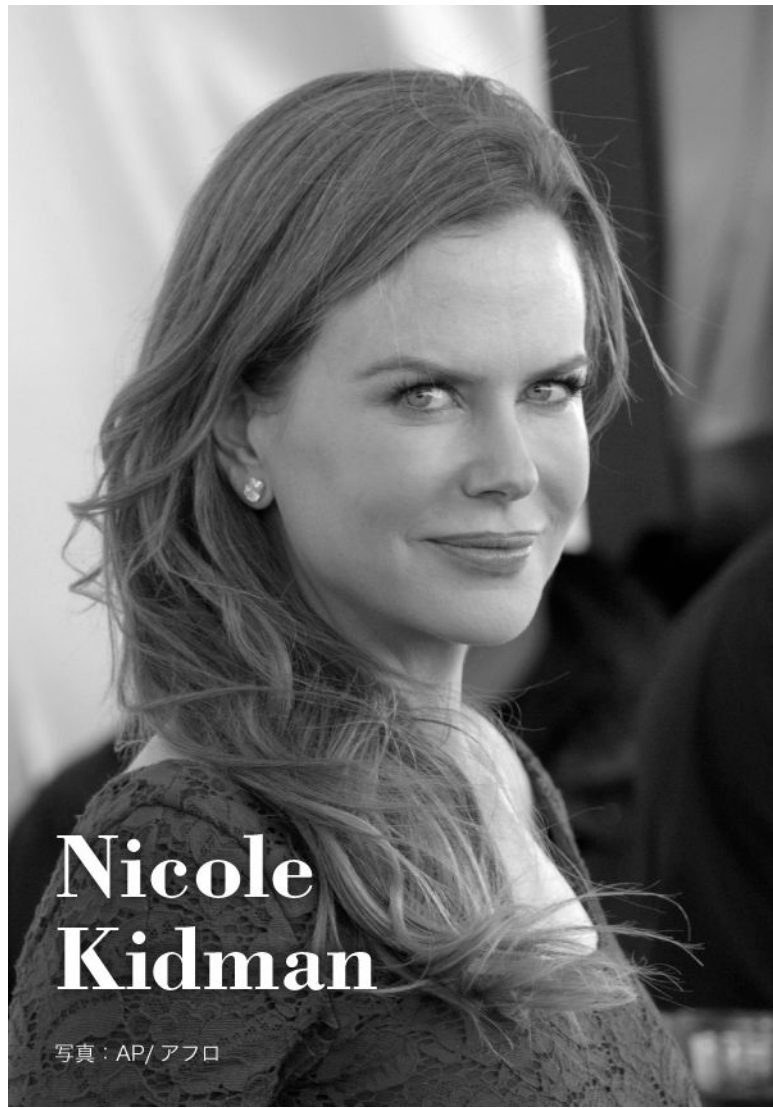
compile

蓄積する
[▶ 本文に戻る](#)

mess ~ up

～を台無しにする

[▶ 本文に戻る](#)



Nicole Kidman

写真：AP/アフロ

Nicole Kidman

“It’s lovely, actually, in terms of saying, ‘You can play older than you are.’”
「『年上の役もできるんだね』って言われるのは、逆に素敵なことだわ」

Supervising Editor’s Comment

キッドマンは早口ですが、大人っぽい完結したセンテンスでしゃべります。哲学的であると同時に実体験に基づく説得力のある人生観を語るときには、声に込める感情が微妙に変化します。頭の回転が速く、強靱な性格の人という印象を受けます。軽いオーストラリア訛りも魅力的です。

Interview Data	
収録日	2002年11月21日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	普通
語彙	難しい
発音	明瞭

ニコール・キッドマン
Nicole Kidman
1967年6月20日、アメリカ・ハワイ州生まれ。3歳の時に父親の出身地オーストラリアに帰国。地元でテレビや映画の出演を重ね、『デイズ・オブ・サンダー』（'90年）でトム・クルーズの相手役に抜擢される。'90年12月にクルーズと結婚したが、2001年2月に離婚。代表作に、『誘う女』（'95年、ゴールデン・グローブ主演女優賞受賞）、『めぐりあう時間たち』（2003年、ゴールデン・グローブ／アカデミー主演女優賞受賞）など。
いまや押しも押されもせぬトップ女優のひとりになったニコール・キッドマンが、アカデミー主演女優賞を獲得した2003年の出演作『めぐりあう時間たち』で挑戦した「勇気ある」役柄について、女優としての姿勢について、そして人生について語ったインタビュー。

Last year she [wowed](#) audiences in [Moulin Rouge!](#), and this year she [unwows](#) them as [dowdy literary lioness Virginia Woolf](#) in [The Hours](#), [the National Board of Review pick](#) for best picture. Here Nicole Kidman talks about her current projects and how the pain of her private life [informs](#) her art.

Reporter: You're [kind of drab-looking](#) in this picture. Is it [freeing](#) not to have to look glamorous and gorgeous in every scene?

Nicole Kidman: It's freeing to be given the opportunity to do it. I have to say [Stephen Daldry](#) is so [bold](#), because a lot of directors would've [shied away from](#) it and he didn't. He [sort of ran with](#) it. And he's such a brilliant director. He is the [spearhead](#) for this whole film, you know. And the intellectual weight that it carries is because of him, and the look of it. He [put us all together](#), and it's his [baby](#).

Reporter: It seemed like [what you were going through in your personal life](#) was so [raw](#), to play a role like this . . .

Kidman: Yeah, I didn't want to. No, I tried to [pull out](#). I have to say I wasn't as bold as you would think, 'cause I actually called my agent and said, "I can't do it. I don't want to work. I don't want to do this. This isn't the right thing for me to do. It's too much at this [stage](#), and I just need to sort of [hibernate](#)." And he and my friends all said, "Get on the plane and go. Go do it. Go and [get lost in](#) it." And that's what the art is for at this stage, is actually to let it have some sort of [cathartic effect](#) on you.

Reporter: You seem to have [recovered](#) so well from your personal [traumas](#). Or is it just the actress in you that enables you to [put a good face on](#) it?

Kidman: I'm not good at acting in real life. I've got to get better at that. I tend to be very [candid](#), and [I sit](#) -- and I'm not good at protecting or [shielding](#) myself, which I kind of have to become a little better at, I think. But I don't quite know how to do that. And when I work with a director, I'm like, "Here I am! This is who I am!" And I'm sort of willing to sort of [open myself up](#). And I can do that also in an interview, which doesn't always [bode me well](#).

So I've got to be really careful about that, 'cause that's my [instinct](#). I love to meet people, I love to be around people, and I love to discuss things. I grew up in a family where we discussed everything.

Reporter: So you've reached a point . . .

Kidman: I think you reach a point where you reach a certain age, where you've had a certain amount of life experiences, where you just [go](#), "OK, well, this is the journey." And I think there's a beautiful [line](#) in the film, where [Meryl](#) says this: "I thought that was the beginning of happiness, and it wasn't. That was happiness." And I think you go, "OK, there's happiness, and there's great sadness, and there's all . . . everyth [ing] . . . there's [the gamut of](#) emotions." And if you keep waiting to be happy, that's never gonna happen. So it's more just saying, "It's life." And that [comes](#), unfortunately, as you get older -- the [wisdom](#) of that, right? I mean, it just does.

Reporter: [Test audiences reportedly](#) didn't recognize you in this role.

Kidman: I love that. That's a great [compliment](#). I think, for me as an actor, I think it's so important not to be [attached to](#) your [physical being](#). And so to be able to get lost within something, and actually have people [sit through](#) a film and not recognize you, is just something that I find [incredibly gratifying](#) to hear.

Reporter: How much did you work on the look of the character?

Kidman: We did a series of makeup tests, but then it was more just trying to find it in her [psychology](#) -- in the way in which it could just enter into my soul, in a way. I didn't want to [be caught up in](#), "Oh, my gosh, I have to [mimic](#) her. I have to try and be her." I wanted to just be true to . . . the emotions that I felt she was experiencing.

Reporter: Well, there's [Oscar buzz](#) already on this picture.

Kidman: I think it's an important film, because what it says about so many things. I mean, you [go into](#) creativity and madness. You go into still, the effect of great writing. We just don't read enough anymore. So to see a film like this, that shows you how a writer can affect the lives of people -- Meryl's character, [Julianne's](#) character -- in such a [profound](#) way, that I hope says, "Read! Read, everybody!" You know, [in terms of blame](#) and the way in which we [take on](#) blame, in terms of not being too [harsh](#) in our judgments towards people's choices. I mean, [there's](#) so many issues with this film that are [relevant](#).

Reporter: Looking at your career over the past four or five years, do you feel like you've finally [arrived](#)?

Kidman: I suppose it's not even arrived. I suppose I'd just say it's a [fleeting](#) moment, 'cause it is fleeting. I mean, I've had moments where they've said, "Oh, my gosh, you've arrived!" You know, [To Die For](#) -- "Wow, now it all begins." It never begins, and [hopefully](#), it doesn't quite end. There's moments when you're given more opportunities and less. I'm so happy to be able to just [do justice to](#) Virginia, that people actually say that I was able to do it. Because that would have been [horrendous](#) if I felt like I [let the film down](#). 'Cause so much of my [thing](#) is that I don't want to let the director down and I don't want to let the film down. But it is fleeting. You know, [particularly](#) as a female actor.

You just say, "How long will it [last](#)? Who knows? But it's here and it's now." That was [Philip Roth's](#) advice to me: "You're here, and it's now. That's my one piece of wisdom I'll give you, Nicole."

Reporter: Does seeing unglamorous photos of you taken from this film and [\[The\] Human Stain](#) in magazines -- is that [frustrating](#) to you [at all](#)?

Kidman: Not frustrate me. I think it's just . . . for me, it's great if it's believed. I think if it was now being said, "Oh, God. Terrible, totally miscast, [hopeless](#)," then I'd be like, "Oh." But I think it's actually nice because -- it's [lovely](#), actually, in terms of saying, "You can play older than you are." 'Cause they say to you a lot of times as an actress, "My God, don't play older than you are! Otherwise, then it's over for you!" And I'm like, "Why not? I want to play older." Just as you go, "Well, then, I can also play younger."

It's about illusion. That's what it is. That's why you don't want to [demystify](#) it too much, either, by going and -- by [dissecting](#) how it's done. Because it just is. It's the magic of movies, you know.

tanslation ▶

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication
Narrated by Brian Peck and Gary Scott Fine*

彼女は昨年、『ムーラン・ルージュ』で観客をぞくぞくさせ、今年は、全米映画批評家協会が選んだ最優秀作品、『めぐりあう時間たち』でさえない著名女流作家バー
ジニア・ウルフを演じて観客の気分を沈ませました。ニコール・キッドマンは今回、現在進行中の企画について、また私生活での心痛がどのように自らの芸術に影響を
及ぼしているかについて語っています。

【原文】[▶](#)

仕事を与えてくれるもの

DL **Track13**

記者：この映画（『めぐりあう時間たち』）であなたは、ちょっとさえない外見をしていらつしやいますね。必ずしもすべてのシーンで魅惑的できれいに見えなくてもいいというのは、解放感がありますか？

ニコール・キッドマン：そういう機会をもらえることには解放感があります。スティーヴン・ダルドリー監督はすごく勇気があると言わなければならないでしょうね。多くの監督はそういったことに尻込みするんですけど、ダルドリー監督は違いました。いわば、それを推し進めたんです。そして、彼はとても素晴らしい監督です。この映画全体の陣頭指揮を執ったのは監督ですから。この作品が持っている知的な重みは彼の功績ですし、映像もそうです。監督が私たちみんなをまとめました、だからこれは彼の作品なんです。

記者：あなたが私生活で経験されていたことは、とても痛々しい状態に見えましたが、このような役を演じるのは・・・

キッドマン：ええ、やりたくなかった。手を引こうとしたんです。あなたが思ってたっしやるほど勇気はなかったと認めなくちゃいけませんね、だって私は実際、エージェントに電話して、こう言っただんです。「できないわ。仕事したくない。こんなのやりたくない。これは私がやるべきものじゃないわ。今の段階ではとても無理だし、とにかく私には引きこもりみたいなことが必要なよ」って。すると、エージェントも友達もみんなこう言っただんです。「飛行機に乗って行くんだ。行ってやることだ。とにかく仕事に没頭することだよ」と。そして、こういう局面では芸術はそのためにあるのであって、つまり、芸術が一種のカタルシス効果をもたらしてくれるんですね。

記者：私生活で負った心の傷からかなり回復されたようですね。それとも、あなたの中の女優の部分が、平気なふりができるようにしているのですか？

キッドマン：私は実生活では演技が下手なんです。うまくならなくちゃね。私にはありのままを見せすぎる傾向があって、それに ―― 自分を守ったり、バリアーを張ったりするのもうまくないし。そういうことも、もう少しうまくならないといけないんでしょうけど。でも、どうしたらいいのかよくわからないんです。監督と仕事をするときは「私はここよ！ 私はこういう人間よ！」みたいな感じなの。それに、私には、なんというか進んで人に心を開いてしまうようなところがあるんです。インタビューでもそういうときがあって、それが必ずしも私にとっていい結果になるとは限らないんですけど。

だから、これについてはもっと気をつけないといけないんです、これは私の本能ですから。私は人と会うのが大好きで、人と付き合うのが好きで、いろんなことを話し合うのが大好き。私は何でも話し合う家庭で育ったんです。

記者：では、あなたは到達したわけですね・・・

キッドマン：思うに、ある程度の人生経験を積んだある程度の年齢に達して、「そうね、これが旅というものよね」と言えるくらいになっただんでしょうね。『めぐりあう時間たち』の中に美しいせりふがあって、メルルがこう言うんです。「それが幸せの始まりだと思っただけど、違っただわ。それが幸せだったのよ」って。これを聞くと、「そうだ、幸せがあって、大変な悲しみがあって、何もかも・・・すべての・・・あらゆる感情がある」と思うでしょう。そして、幸せになるのをひたすら待っていても、決して幸せにはなれない。だからそれは、単に「それが人生というものだ」と言うより深いんですよ。そういうことは、残念ながら、年を取るに従って身についてくるものです ―― そういう知恵は、でしょう？ というより、そういうものなんです。

【原文】[▶](#)

大事なのはここであり、今である

DL Track14

記者：試写会の観客は、この役を演じているのがあなただとはわからなかったそうですが。

キッドマン：それはうれしいわ。素晴らしい褒め言葉です。私は俳優として、自分の容姿に縛られないことがとても重要だと思っています。そして何かに没頭できて、実際に映画を見た人々に最後まで自分だと気づかれなかったというのは、ものすごくうれしいことです。

記者：役柄の容姿についてはどのくらい研究なさったんですか？

キッドマン：メーキャップテストはひととおりやりましたが、その後はもっと彼女（ウルフ）の心理面に答えを求めようと思いました —— ある意味、それが私の魂の内側に入り込むことができるようなやり方で。私はとらわれたくなかったんです、「どうしよう、彼女のまねをしなくちゃいけない、頑張って彼女にならなくちゃいけない」というふうにはね。ただ忠実でありたかったんです・・・彼女が体験していたと私が感じた感情に。

記者：この作品（『めぐりあう時間たち』）にはすでにアカデミー賞のうわさもあります。

キッドマン：これは重要な映画だと思います。非常にたくさんのことを語っているからです。つまり、創造性と狂気というものを探っているんです。素晴らしい文学作品の持つ効果を肌で感じることができます。私たちはもはや十分に読書をしていません。ですから、こういう映画を、ひとりの作家が人々の人生 —— メリルの役柄、ジュリアンの役柄 —— にこれほど深い意味でどれほど影響を及ぼし得るかを示してくれる映画を見ることで、「本を読みなさい！ みんな、読書をしなさい！」というメッセージが伝わればいいんじゃないかしら。責任や責任の引き受け方という意味においても、人々の選択に対して厳しすぎる判断をしないという意味においても。つまり、この映画には今日的な意義のある問題が非常にたくさん詰まっているんです。

記者：ここ4〜5年のキャリアを考えてみて、ついに成功したと感じていらっしゃいますか？

キッドマン：成功したとはとても言えないでしょうね。こういうのはつかの間の時間なんじゃないかしら、だってはかないものですから。これまでも人に「すごい、やったね！」と言われたときがありました。例の『誘う女』で —— 「さあ、これからすべてが始まるんだ」と思ったものです。でも始まりはないし、願わくば、完全な終わりもありません。チャンスが多い時もあれば少ない時もあるのです。バージニア（・ウルフ）をうまく演じることができてとてもうれしいですし、人から実際にそう言われてとてもうれしかったです。だって、私が映画のレベルを落としたと感じたとしたら、非常に恐ろしいことだったでしょうから。なぜかというと、私がすごく考えるのは、監督の期待を裏切りたくない、映画の価値を落としたくない、っていうことなんです。でも、成功ははかないものです。特に女優にとってはそうですよね。

「いつまで続くかって？ それは誰にもわからない。でも、（大事なのは）ここであり、今なんだ」っていうんです。それがフィリップ・ロスにもらったアドバイスでした。「君はここにいろし、今を生きている。これが君に贈るひとつの知恵だよ、ニコール」。

【原文】▶

幻想としての映画

DL **Track15**

記者：この作品や『白いカラス』での、ご自分の見栄えのしない写真を雑誌で見て——まったく不満に思ったりはされませんか？

キッドマン：そんなことはないです。私はとにかく・・・私にとっては、それ（自分の演技）が（観客に）信じてもらえれば素晴らしいことですから。もし今、「ひどいな、完全にミスキャストだ、どうしようもないよ」と言われていたら、「ああ！」っていう感じだったでしょうね。でも、実際にはうれしいことで、なぜなら——「実際より年上の役もできる」っていうふうに言われるのはすてきですから。というのも、女優として「なんてことだ、自分より年上の役を演じちゃ駄目だ！　さもないければ女優生命の終わりだぞ！」ってよく言われるんです。でも私は「どうしていけないの？　私は年上を演じたいわ」っていう感じ。ちょうど「あら、じゃあ、年下の役もできるわよ」と言うのと一緒です。

要は幻想ですから。そういうこと。だから、あまり種明かしをしすぎるのは嫌なんです、そうやって——　どんなふうに作られたか細かく解き明かしてしまうことでね。だってそういうものですから。それが映画の魅力なんじゃないかしら。

【原文】[▶](#)

Vocabulary List

A

- arrive** 成功する、名声を博する ★この意味のときは完了形で使われる。
- at all** 多少なりとも

B

- baby** 業績、成果
- be caught up in** ～ ～にとらわれる ★ = consciously think
- buzz** うわさ

C

- candid** 率直な、正直な
- cathartic** カタルシスの、感情を浄化する
- come** わく、生じる
- compliment** 褒め言葉

D

- demystify** （～から）神秘的要素を取り除く、明らかにする
- dissect** 解剖する、細かく分析する
- do justice to** ～ ～に正当な取り扱いをする、～を実物どおりに表す
- dowdy** やばつたい、さえない
- drab-looking** さえない外見の

F

- fleeting** つかの間の、いつか過ぎ去る、はかない
- frustrating** フラストレーションを引き起こす、いらだたしい

G

- get lost in** ～ ～に夢中になる、～に没頭する
- go into** ～ ～を詳しく調べる、～を追求する
- go** 言う
- gratifying** 満足のゆく、喜ばしい

H

- harsh** 厳しい
- hibernate** 引きこもる、休止中である
- hopeless** どうしようもない、まったく駄目な、下手な
- horrendous** ひどく恐ろしい

I

- in terms of** ～ ～という点で
- inform** 特徴づける、活気づける
- instinct** 本能、生得の傾向

L

- let ～ down** ～をがっかりさせる、～の期待を裏切る
- line** せりふ
- lovely** 素晴らしい、すてきな

M

- mimic** まねる

O

- open oneself up** 心を開く、隠さずに話す

P

- pick** 選択、選択されたもの
- pull out** 手を引く
- put a good face on** ～ ～に平気な顔を装う、～のうわべを繕う
- put ～ together** ～をまとめる

R

- raw** 生の、ひりひり痛む、（傷などが）口をあけた
- relevant** 今日的な意義のある
- run with** ～ ～を推し進める、～を採用する

S

- shield** 保護する、人目から遮る
- shy away from** ～ ～を嫌がる、～に尻込みする
- sit through** ～ ～の終わりまでいる
- spearhead** 先頭、最前線の人物

T

- take on** ～ ～を受け入れる
- test audience** 試写会の観客
- the gamut of** ～ ありとあらゆる～ ★ gamut は「（全）領域、範囲」。
- thing** 考え、こだわり

W

- wow** ぞくぞくさせる、大喜びさせる

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	この映画 <i>The Hours</i> でのキッドマンの役は、映画 <i>Moulin Rouge</i> 以上に華やかな役だった。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	キッドマンは、 <i>The Hours</i> の出演を最初は断った。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	キッドマンは、ありのままの自分を見せすぎる傾向があると思っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	本人によると、現実のキッドマンは社交的な性格ではない。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	最近では読書をする人が少ないので、 <i>The Hours</i> のような作品は重要だとキッドマンは思っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ここ4～5年で自分はかなり成功してきた、とキッドマンは思っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	キッドマンは、自分の演技が映画の価値を左右するかどうかはあまり気にしないようにしている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	女優としては、今も大事だが、それ以上にいつまで続くかが大事だとキッドマンは考えている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	キッドマンは、好んで年上の役を演じた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	女優は自分より年上の役を演じて初めて一流になれる、と一般にはよく言われる。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	この映画 <i>The Hours</i> でのキッドマンの役は、映画 <i>Moulin Rouge</i> 以上に華やかな役だった。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	キッドマンは、 <i>The Hours</i> の出演を最初は断った。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	キッドマンは、ありのままの自分を見せすぎる傾向があると思っている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	本人によると、現実のキッドマンは社交的な性格ではない。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	最近では読書をする人が少ないので、 <i>The Hours</i> のような作品は重要だとキッドマンは思っている。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ここ4～5年で自分はかなり成功してきた、とキッドマンは思っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	キッドマンは、自分の演技が映画の価値を左右するかどうかはあまり気にしないようにしている。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	女優としては、今も大事だが、それ以上にいつまで続くかが大事だとキッドマンは考えている。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	キッドマンは、好んで年上の役を演じた。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	女優は自分より年上の役を演じて初めて一流になれる、と一般にはよく言われる。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

用語解説

Moulin Rouge!

『ムーラン・ルージュ』 ★アメリカ映画（2001年）。監督バズ・ラーマン。1899年のパリのナイトクラブを舞台に、高級娼婦のサティーン（キッドマン）と、貧しい作家志望の青年クリスチャン（ユアン・マクレガー）との恋を描いたミュージカル。
[▶本文に戻る](#)

Virginia Woolf

バージニア・ウルフ ★（1882-1941）。イギリスの作家。キッドマンは『めぐりあう時間たち』で、1923年のロンドン郊外で代表作『ダロウェイ夫人』の執筆に苦しむウルフを演じた。
[▶本文に戻る](#)

The Hours

『めぐりあう時間たち』 ★アメリカ映画（2003年）。監督スティーヴン・ダルドリー。米国の作家マイケル・カニンガムのベストセラー小説の映画化。『ダロウェイ夫人』を軸に、時代も場所も立場も異なる3人の女性の一日が交錯する。
[▶本文に戻る](#)

the National Board of Review

全米映画批評家協会
[▶本文に戻る](#)

Stephen Daldry

スティーヴン・ダルドリー ★（1960-）。『めぐりあう時間たち』の映画監督。イギリス生まれ。代表作に『リトル・ダンサー』（2000年）など。
[▶本文に戻る](#)

what you were going through in your personal life

あなたが私生活で経験されていたこと ★2001年2月に俳優のトム・クルーズと離婚したことを意味すると思われる。
[▶本文に戻る](#)

Meryl (Streep)

メルル（・ストリープ） ★（1949-）。女優。アメリカ・ニュージャージー州生まれ。『クレイマー、クレイマー』（'79年）でアカデミー助演女優賞、『ソフィーの選択』（'82年）でアカデミー主演女優賞を受賞。『めぐりあう時間たち』では、2001年のニューヨークに生きる、ダロウェイ夫人の現代版とも言える編集者を演じている。
[▶本文に戻る](#)

Oscar

オスカー ★アカデミー賞受賞者に贈られる金めっきの小さな人物像。アカデミー賞を指す。このインタビューの時点では未定だったが、結局、キッドマンはこの『めぐりあう時間たち』で2003年度のアカデミー主演女優賞を受賞した。

[▶本文に戻る](#)

Julianne (Moore)

ジュリアン（・ムーア） ★（1960-）。女優。アメリカ・ノースカロライナ州生まれ。出演作に『ブギーナイツ』（'97年）、『ことの終わり』（'99年）、『ハンニバル』（2001年）など。『めぐりあう時間たち』では、1951年のロサンゼルスに住む、小説『ダロウェイ夫人』に触発される主婦を演じている。

[▶本文に戻る](#)

To Die For

『誘う女』 ★アメリカ映画（1995年）。監督ガス・ヴァン・サント。花形ニュースキャスターになるためには手段を選ばない女性（キッドマン）が、男子高校生（マット・ディロン）を誘惑し、キャリアの邪魔になる夫を殺害させる。キッドマンはこの映画でゴールデン・グローブ主演女優賞を受賞。

[▶本文に戻る](#)

Philip Roth

フィリップ・ロス ★（1933-）。アメリカの作家。代表作に『さようならコロンバス』（'59年）、『ポートノイの不満』（'69年）など。キッドマン主演の映画『白いカラス』の原作者。

[▶本文に戻る](#)

The Human Stain

『白いカラス』 ★アメリカ映画（2003年）。監督ロバート・ベントン。フィリップ・ロスの小説の映画化。人種を偽って生きてきた元大学教授（アンソニー・ホプキンス）と夫の暴力などで心に傷を負った掃除婦（キッドマン）の交流を描く。

[▶本文に戻る](#)

語注

wow

ぞくぞくさせる、大喜びさせる

[▶本文に戻る](#)

unwow

げんなりさせる ★wow の反対語として、ここで即興的に使われた造語。

[▶本文に戻る](#)

dowdy

やぼったい、さえない

[▶本文に戻る](#)

literary lioness

文学界の名士、著名女流作家 ★lioness の原義は「雌ライオン」。lion には「（ライオンのように）力のある人、名士、人気者」という意味がある。

[▶本文に戻る](#)

pick

選択、選択されたもの

[▶本文に戻る](#)

inform

特徴づける、活気づける

[▶本文に戻る](#)

kind of ~

ちょっと～、～のような

[▶本文に戻る](#)

drab-looking

さえない外見の

[▶本文に戻る](#)

freeing

解放する、自由にする ★ここでは形容詞的に使っている。liberating のほうが一般的。

[▶本文に戻る](#)

bold

大胆な、勇敢な

[▶本文に戻る](#)

shy away from ~

～を嫌がる、～に尻込みする

[▶本文に戻る](#)

sort of ~

いってみれば～、～みたいな

[▶本文に戻る](#)

run with ~

～を推し進める、～を採用する

[▶本文に戻る](#)

spearhead

先頭、最前線の人物

[▶本文に戻る](#)

put ~ together

～をまとめる

[▶本文に戻る](#)

baby

素晴らしいもの、業績、成果

[▶ 本文に戻る](#)

raw

生の、ひりひり痛む、（傷などが）口をあけた

[▶ 本文に戻る](#)

pull out

手を引く

[▶ 本文に戻る](#)

stage

段階、局面

[▶ 本文に戻る](#)

hibernate

引きこもる、休止中である

[▶ 本文に戻る](#)

get lost in ~

～に夢中になる、～に没頭する

[▶ 本文に戻る](#)

cathartic

カタルシスの、感情を浄化する

[▶ 本文に戻る](#)

effect

効果、影響

[▶ 本文に戻る](#)

recover

回復する

[▶ 本文に戻る](#)

trauma

トラウマ、精神的外傷、心の傷

[▶ 本文に戻る](#)

put a good face on ~

～に平気な顔を装う、～のうわべを繕う

[▶ 本文に戻る](#)

candid

率直な、正直な

[▶ 本文に戻る](#)

I sit

★言い間違い。続けて言い直している。

[▶ 本文に戻る](#)

shield

保護する、人目から遮る

[▶ 本文に戻る](#)

open oneself up

心を開く、隠さずに話す

[▶ 本文に戻る](#)

bode me well

★正しくは bode well for me で「私にとって縁起が良い、私にとって良い前兆だ」という意味。

[▶ 本文に戻る](#)

instinct

本能、自然の衝動、生得の傾向

[▶ 本文に戻る](#)

go

言う

[▶ 本文に戻る](#)

line

せりふ

[▶ 本文に戻る](#)

the gamut of ~

ありとあらゆる～ ★ gamut は「（全）領域、範囲」。

[▶ 本文に戻る](#)

come

わく、生じる

[▶ 本文に戻る](#)

wisdom

知恵

[▶ 本文に戻る](#)

test audience

試写会の観客

[▶ 本文に戻る](#)

reportedly

伝えられるところでは

[▶ 本文に戻る](#)

compliment

褒め言葉

[▶ 本文に戻る](#)

attach to ~

～に結び付ける

[▶ 本文に戻る](#)

physical being

物的存在 ★ここでは「容姿」の意味。

[▶ 本文に戻る](#)

sit through ~

～の終わりまでいる

[▶ 本文に戻る](#)

incredibly

信じられないほど、ものすごく

[▶ 本文に戻る](#)

gratifying

満足のゆく、喜ばしい

[▶ 本文に戻る](#)

psychology

心理

[▶ 本文に戻る](#)

be caught up in ~

～にとらわれる ★ = consciously think

[▶ 本文に戻る](#)

mimic

まねる

[▶ 本文に戻る](#)

buzz

うわさ

[▶ 本文に戻る](#)

go into ~

～を詳しく調べる、～を追求する

[▶ 本文に戻る](#)

profound

深い、大きい

[▶ 本文に戻る](#)

in terms of ~

～という点で

[▶ 本文に戻る](#)

blame

責任、非難

[▶ 本文に戻る](#)

take on ~

～を受け入れる

[▶ 本文に戻る](#)

harsh

厳しい

[▶ 本文に戻る](#)

there's

★正しくは there're 。

[▶ 本文に戻る](#)

relevant

今日的な意義のある

[▶ 本文に戻る](#)

arrive

成功する、名声を博する ★この意味のときは完了形で使われる。

[▶ 本文に戻る](#)

fleeting

つかの間の、いつか過ぎ去る、はかない ★ = brief、short-lived

[▶ 本文に戻る](#)

hopefully

願わくば、うまくいけば

[▶ 本文に戻る](#)

do justice to ~

～に正当な取り扱いをする、～を実物どおりに表す

[▶ 本文に戻る](#)

horrendous

ひどく恐ろしい

[▶ 本文に戻る](#)

let ~ down

～をがっかりさせる、～の期待を裏切る

[▶ 本文に戻る](#)

thing

考え、こだわり

[▶ 本文に戻る](#)

particularly

特に

[▶ 本文に戻る](#)

last

続く

[▶ 本文に戻る](#)

frustrating

フラストレーションを引き起こす、いらだたしい

[▶ 本文に戻る](#)

at all

多少なりとも

[▶ 本文に戻る](#)

hopeless

どうしようもない、まったく駄目な、下手な

[▶ 本文に戻る](#)

lovely

素晴らしい、すてきな

[▶ 本文に戻る](#)

demystify

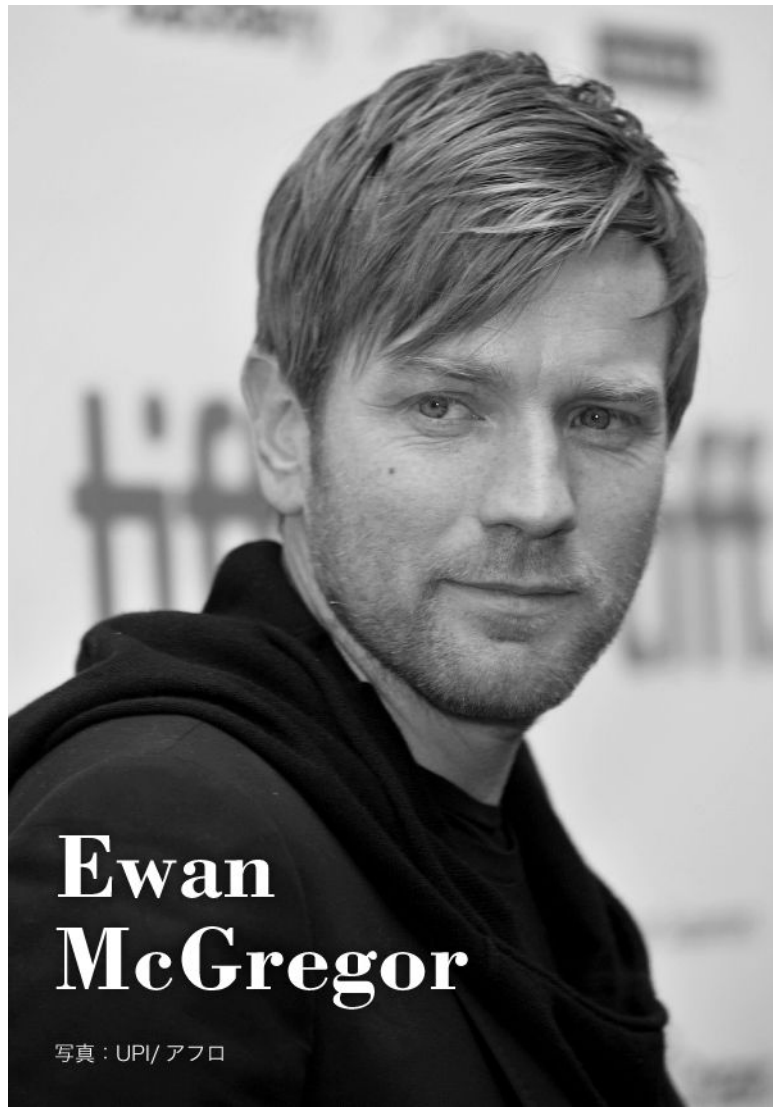
(～から) 神秘的要素を取り除く、明らかにする

[▶ 本文に戻る](#)

dissect

解剖する、細かく分析する

[▶ 本文に戻る](#)



Ewan McGregor

写真：UPI/ アフロ

人気イギリス人俳優が演じた「**60**年代風アメリカ型プレイボーイ」

Ewan McGregor

“I certainly wouldn’t like ever to kind of get nailed down into playing one kind of part.”

「ひとつのタイプの役柄に縛りつけられるようなことは絶対嫌だったんだ」

Supervising Editor's Comment

マクレガーは話し好きで、単純な質問に対する答えも、複雑な分析とエピソードで肉付けしています。注意深く、他人を気にするタイプの話し手で、途中で言いよんどでも、フレーズやセンテンスをきちんと終わらせませす。教育のあるイギリス人らしいはきはきとした発音で、程よいスコットランド訛りが魅力的です。

Interview Data	
収録日	2003年4月5日
収録地	ニューヨーク（アメリカ）
スピード	やや早い
語彙	普通
発音	明瞭

ユアン・マクレガー

Ewan McGregor

1971年3月31日、イギリス、スコットランド生まれ。ギルドホール音楽演劇学校在学中にテレビドラマに出演し始め、『シャロウ・ 그레이ブ』（'94年）で映画デビュー。『トレインスポッティング』（'96年）で注目を集める。『スター・ウォーズ エピソード1』（'99年）、『エピソード2』（2002年）でオビ=ワン役を演じる。その他の代表作に『ブラズ！』（'96年）、『ペルベット・ゴールドマイン』（'98年）、『ムーラン・ルージュ』（2001年）など。

いつまでもやんちゃ青年のようなイギリス人俳優ユアン・マクレガーが、'60年代のプレイボーイに扮した『恋は邪魔者』での役作りの苦労や、この時代の映画スタイルについて、演じてみたい役柄について、そして『スター・ウォーズ』のオビ=ワン役について語る。

[*Moulin Rouge!*](#), [*Star Wars Episodes I & II*](#) and [*Black Hawk Down*](#), just three of the recent hits [starring](#) Ewan McGregor. Here he talks about his latest film, his [bachelor](#) days in London, and how being in *Star Wars* didn't change his life.

Reporter: How did you get into this [suave](#), [debonair](#) character, [Catcher Block](#) in [Down with Love](#)?

Ewan McGregor: Um . . . I think the whole process was kind of [reliving](#) the films that I'd watched as a kid almost, you know. 'Cause I watched all these films when I was young. I don't know why, 'cause I wasn't born in the sixties, but I remembered them all. [Peyton](#) sent me all of the kind of films that are a [reference](#) to ours. So it was just about getting back in [touch](#) with that.

When I read the script, I knew exactly what it was all about, you know. So I had the references, I suppose. And then I was just given the chance to be all my favorite actors on screen, [Cary Grant](#), and kind of, all of those guys.

The comedy in these sixties movies is much more played than the way we would play in a kind of [contemporary romantic comedy for instance](#), where you don't play the comedy, you know. That seems to be a rule I've heard since I started acting: "Oh, you must never play the comedy!" And here I was on set, really [fucking](#) playing the comedy, you know. Um, for the first week of rehearsals I couldn't get into it, I really couldn't. And I think that when you speak to the other actors today you'll find that we all -- it did take an awful lot of effort to find this, because it's a style, if you like, that hasn't really been explored since the sixties. And I was delighted to see that it doesn't look like it's hard work when I saw the film.

Reporter: Have you ever had your days of being a [player](#)?

McGregor: Well, we've all had those days, surely. Eh . . . yeah, but I was never quite as, um -- I have to be careful what I say. People will be writing in saying, "Yes he was!" I don't know.

Reporter: Did you ever have a [swinging](#) bachelor [pad](#)?

McGregor: I did have a swinging bachelor pad once, yes. How old would I be? When I did my very first job, a television series called [Lipstick On Your Collar](#). And it was my first piece of work, and it was the first time I had ever been paid to act. I rented a small one-bedroom flat in a really nice area of London called Primrose Hill, and it was right next to the park, and it became the kind of apartment where all parties would begin and end. And very often me and my friends would meet on a Friday and, and it would be off, and then they would all leave on some time on a Sunday night. And it was my version of Catcher Block's kind of bachelor pad.

A Hankering to Play a Soldier

DL Track19

用語解説 語注

Reporter: Is there a specific character in history or in fiction that you have a [hankering](#) to play?

McGregor: I don't know. I think I'm still [fascinated](#) by soldiers, and one of the reasons I wanted to play in *Black Hawk Down* was to discover what makes a soldier able to do his work and how a man or a woman can [keep their head together](#) and [operate under fire](#). And I [got a flavor of](#) what that might be when we all trained at [Fort Benning](#) with [the Rangers](#) for a while. And I found it fascinating, I found it just fascinating.

Reporter: What fascinates you about it?

McGregor: I think because my generation's never had to be involved in it other than by choice, you know. And, um . . . I don't really know. I suppose it's something that [mankind](#) has always done, and yet my generation hasn't, nor my father, but my grandfathers were in [The War](#) and -- I don't know. Because it's, I suppose, more than anything else in the world, I can't imagine myself being able to pull it off in a real situation.

Reporter: Can you tell us a little bit about [Big Fish](#)?

McGregor: Yeah, I just finished it, I just completed it last week. It's a wonderful father-and-son story. And [Albert Finney](#) and I play the father. I like saying that, because I still can't quite believe it's the [case](#). Imagine that, I'm playing the young Albert Finney.

And it's just the most beautiful story. [Tim Burton](#) directed it, and it couldn't really have been directed by anyone else. The story focuses on a father and son whose relationship has been [severed](#) in the past, and the father's not well, and the son is desperately trying to find out who his father is and feel that they have a relationship. And because the father's only ever told these [fantastical](#) tales about his own life, in these [massive](#) stories about his own life, which I then get to play.

So there's that beautiful Tim Burton, not fantasy but [fantasticalness](#) about the stuff I got to do.

Reporter: How comfortable are you with the American accent? Do you just stay with it throughout the process? Is that your approach?

McGregor: No, I wished it was. I wish I [had the kind of guts to](#) do that, but I don't. I can't do it that way just 'cause I -- I mean, I take my work very seriously but I can't seem to do that. I feel a bit silly. I just feel [self-conscious](#) doing it.

So I work very hard on the accent, and I use it when I'm doing, when the camera's turning and not in between. But that's the way I'm about my work, anyway. There are actors who stay in character all day long, you know, and I [admire](#) them for having the stamina to do that but . . . I've never been like that, I'm afraid.

translation ►

Reporter: How has your life changed? What kind of a reaction do you get since taking on the [Obi-Wan](#) cloak?

McGregor: Nothing, none at all. I mean I think what's been interesting about it is that very little has changed. And, to my relief, I suppose, 'cause it was one of the things I spent a lot of time wondering about, and I did before I decided to do *Star Wars*. Um, I questioned it a lot, because [it's not my bag](#), really, all that might have [gone along with](#) it, you know. Um, I certainly wouldn't like ever to kind of get [nailed down into](#) playing one kind of part. And I'm not particularly interested in having fans. And a lot of the [baggage](#) that could have come along with it worried me.

However, the nearer I got to getting the part, the more I wanted to do it in my gut, so I [went after](#) it. But really, there's been [precious](#) little change, which is great. I love being in the films.

The big thing that's changed is the children have seen me acting whereas, I don't think many of them had seen the films I'd made up until that point -- I certainly hope not. And then -- so now they've seen some of my work. And I like that. I love it when kids come to talk to me about *Star Wars*.

tanslation ▶

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication
Narrated by Peter von Gomm and Michael Rhys*

『ムーラン・ルージュ』『スター・ウォーズ エピソード1』と『エピソード2』、そして『ブラックホーク・ダウン』、これらは、最近のユアン・マクレガーの主演ヒット作のうちのはんの3本です。ここで彼は、最新作、ロンドンでの独身時代、そして『スター・ウォーズ』への出演後も自分の生活がいかに変わらなかったかについて話してくれます。

【原文】[▶](#)

『恋は邪魔者』で演じた'60年代風喜劇

 [DL](#)  [Track18](#)

記者：『恋は邪魔者』のキャッチャー・ブロックという、このあかぬけた、優雅な物腰の役柄には、どのようにして入り込んだのですか？

マクレガー：そうですね・・・手順全体が、いってみれば子どものころ見ていた映画を追体験するような感じでした。子どものころ、こういった映画は全部見てましたから。'60年代生まれというわけじゃないので、なぜだかわからないのですが、全部見覚えがありました。ペイトン（・リード監督）が、われわれの映画を作るにあたって参照した、さまざまな映画を送ってくれたんです。ですから、とにかくそういうものを見直したんです。

脚本を読んだときも、それがどんな映画なのか、すごくよくわかりました。自分の中にイメージが蓄積されていたんでしょうね。そして僕はあこがれの銀幕のスターたちになりきる機会を与えられたわけです、ケーリー・グラントや、そういった俳優たちにね。

'60年代のこうした映画では、例えば現代のロマンチック・コメディのような映画と比べて、もっとストレートに喜劇が演じられています、現代ものでは喜劇はやつちゃ駄目なんですよ。それは僕が芝居を始めたころから言われていたルールみたいなものです。「むろん、絶対喜劇を演じちゃいけない！」っていうのがね。ところがこの映画の現場では僕は、ほんとに、めちゃくちゃ喜劇を演じてたんです。それで、リハーサルの最初の1週間は、まったく入り込めなかった。全然駄目でした。そして、今ほかの俳優たちに聞いても皆そう言うと思うんですけど——これを体得するまでにえらく苦労したんですが、これは言うなれば、'60年代以降きちんと追求されることがなかったひとつの演技のスタイルなんです。それで、映画を見たとき、それほど苦労してるふうには見えなかったので、うれしかったですね。

記者：あなたご自身も遊び人だった時代がありますか？

マクレガー：そりゃ、誰にだってそういう時代はあったんじゃないですかね、当然。えっと・・・そう、でも僕はあそこまでは、おっと——言葉に気をつけなくちゃ。誰かが「いや、あいつもあのくらい遊んでた！」なんて投書してくるかもしれませんからね。

記者：あなたも独身貴族の城みたいな場所を持っていたらっしゃいましたか？

マクレガー：一度独身貴族の城を持っていたことがありますよ、ええ。あれは何歳のときだったかな？ 初めて仕事をしたとき、『カラーに口紅』というタイトルのテレビ・シリーズに出演したときです。それが僕の初出演作で、演技をしてお金をもらったのもそれが初めてでした。ブリンローズ・ヒルというロンドンのすごくすてきな地域に、小さなワン・ベッドルームのアパートを借りたんですけど、公園のすぐ隣で、パーティーといえみんなそこで始まってそこで終わるようなアパートになったわけです。で、しょっちゅう友達と金曜の夜に集まってはパーティが始まって、日曜の夜になってようやくみんな家に帰ったものです。それが、僕なりのキャッチャー・ブロック的独身貴族の城といったところでしたね。

【原文】[▶](#)

また兵士を演じてみたい

DL **Track19**

記者：歴史上の人物でも架空の人物でも、特に演じてみたい役柄はありますか？

マクレガー：どうかなあ。今でも兵士の役には非常に心引かれる気がしますし、『ブラックホーク・ダウン』に出演したかった理由のひとつは、なぜ兵士は任務を遂行できるのか、なぜ男でも女でも戦火の下で冷静さを失わずに任務を遂行できるのかを知りたかったからです。それで、みんなでフォート・ベニング基地でレンジャーズの訓練にしばらく参加したときに、それがどんなものなのかちょっと味わえましたけどね。そして、僕はそれにすごく引かれました。とにかく引きつけられましたね。

記者：そのどういったところに引かれるんですか？

マクレガー：僕たちの世代の人間は、自ら選択しない限り、軍にかかわる必要がこれまで一度もなかったからじゃないかと思いますね。まあ・・・よくはわかりませんが。戦争というのは昔からずっと人類がやってきたことでありながら、僕の世代も僕の父（の世代）も体験していません、でも祖父たちは戦争を経験していて—— どうなのかな。何より、現実にはそういう状況になったときに自分がうまくやってのけるところなんて想像もつかないからじゃないでしょうか。

記者：『ビッグ・フィッシュ』について少しお話いただけますか？

マクレガー：ええ、ちょうど撮影を終えたところです、つい先週終えたところです。素晴らしい、父と息子の物語です。アルバート・フィニーと僕が父親を演じるんです。僕がこう言いたがるのは、まだこれが事実だってことが信じられないからなんです。想像してみてくださいよ、僕が若き日のアルバート・フィニーを演じるなんてね。

これは、例えようもなく美しい物語なんです。ティム・バートンが監督しましたが、ほかの誰にもできなかったと思いますね。物語はかつて関係を断たれた父親と息子をめぐるので、父親は健康を害しており、息子は必死で、父親が何者であるかを探り出し、父親となんらかのつながりを持っていることを感じようとしています。というのも、父親は自分の人生について空想物語、こういった奇想天外なほら話しかしたことがなくて、僕がそれを演じてみせるわけです。

そんなわけで、僕がやったこの映画には、例によってティム・バートンならではの美しい、ファンタジーではないんですが、ファンタジー的な要素があるんです。

記者：アメリカ英語のアクセントに違和感はありますか？ 撮影の間中、アメリカ英語で通すんですか？ そういうやり方をされます？

マクレガー：いえ、そうだったらいいんですけど。そうする根性があったらいいんですけど、そうじゃないですね。なぜそういうふうにできないかという僕は—— つまり、僕は仕事にはすごくまじめに取り組むんですが、そういうやり方はどうもできないみたいです。ちょっと間抜けな気がしてしまって。それをやるのは照れくさい気がするんですよ。

だから、アクセントは一生懸命練習して、演じている、カメラが回っている間はそういう話し方をしますが、撮影の合間にはしません。でも、それが僕の仕事のやり方なんですよ、結局。中には、一日中役になりきっている役者もいて、それをやってのけるスタミナがあるのはすごいと思いますが・・・残念ながら、僕はそうしたことはないですね。

【原文】[▶](#)

『スター・ウォーズ』の影響

 [DL](#)  [Track20](#)

記者：あなたの人生は変わりましたか？ オビ=ワン役を引き受けてから、どんな反応がありましたか？

マクレガー：何もありません、まったく何も。つまり、何が興味深いつて、ほとんど何も変わらなかったということじゃないかと思います。それに、正直ほつとしていて、なぜかという、それが長い間悩んだことのひとつでしたし、『スター・ウォーズ』に出演する決心がつくまで、かなり悩んだんです。そして、ずいぶん自問しました、この出演に伴う可能性があるあれやこれやは、本当のところ、僕が望むようなことではなかったからです。ある特定の種類の役柄を演じることに縛りつけられる羽目になるのは絶対に嫌だったんです。それに、ファンができることも特に望んでませんでしたし。そして、出演に伴う可能性のあるいろいろな厄介事も心配でした。

でも、あの役を射止めることが徐々に確実になるにつれ、やりたいという気持ちも本能としてどんどん強くなっていつて、最後には役を手に入れようとしたんです。でも実際のところ、ほとんど何も変わってなくて、それはすごくよかったです。このシリーズに出演できて楽しいですよ。

ひとつ大きく変わったのは、子どもたちが僕の演技を見るようになったことで、それまでの映画は子どもたちはあんまり見てないんじゃないでしょうか —— 見てないよう願いますよ。ところが —— 今では僕の出演作をいくつか見えています。それはうれしいですね。子どもたちが『スター・ウォーズ』について話そうと寄ってくるのはとてもうれしいですよ。

【原文】[▶](#)

Vocabulary List

A

□**admire** 感嘆する、すごいと思う

B

□**bachelor** 独身者、未婚男子

□**baggage** 負担、重荷、障害

C

□**case** (the とともに用いて) 実情、真相

□**contemporary** 現代の

D

□**debonair** さっそうとした、小粋な、あかぬけた、丁重で愛想のいい

F

□**fantastical** 空想的な

□**fascinate** 魅了する、(人の) 心をとらえる

□**for instance** 例として、例えば、現に

□**fucking** すごく、やたら ★強調を表す卑語。

G

□**get a flavor of** ～ ～の雰囲気味わう

□**go after** ～ ～(仕事など)を求める、～を狙う、～を目指す

□**go along with** ～ ～と同時に起こる、～に付随する

H

□**hankering** あこがれ、渴望

□**have the guts to do** ～をする勇気がある、～をする根性がある ★gut は「根性、勇気、本質、中身」の意。

I

□**it's not my bag** ★= it's not the sort of thing I like、I'm not good at that (sort of thing)。この bag は「好きなこと、特技、おはこ」などの意。

M

□**mankind** 人類、人間

□**massive** 壮大な

N

□**nail A down into** ～ Aを～に縛り付ける

O

□**operate** 軍事行動を行う、働く

P

□**pad** 家、住まい、たまり場、理想郷

□**player** 遊び人、同時に複数の女性と付き合う男

□**precious** すごく、とても

R

□**reference** 参照事項、参考文献

□**relive** 追体験する、思い出す

□**romantic comedy** ロマンチック・コメディー ★映画のジャンルのひとつで、軽妙に描かれた恋愛映画を指す。

S

□**self-conscious** 照れくさい、気が引ける、自意識過剰の

□**sever** 切り離す、引き裂く、不和にする

□**star** 主演させる、主役にする

□**suave** 人当たりのよい、洗練された

□**swinging** 気ままな

T

□**touch** 連絡、接触 ★get in touch with～で「～と連絡を取る」という意味。

U

□**under fire** 砲火を浴びて

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	マクレガーは人気を博した映画 <i>Moulin Rouge!</i> についても少し語っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	マクレガーにとって、この映画 <i>Down With Love</i> は入りやすい映画だった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	プレーボーイを演じたマクレガー自身もプレーボーイだった時代があった。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	マクレガーは、独身貴族の「城」を持っていて、週末にはよく友達と集まってパーティーをやった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	マクレガーにとって兵士は嫌いな役柄だったが、映画 <i>Black Hawk Down</i> の中では兵士を演じさせられた。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	戦闘の最中でも冷静さを失わずに任務を遂行できる兵士に、マクレガーは強い興味を持った。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	映画 <i>Big Fish</i> の撮影で、マクレガーは期間中、カメラが回っていないときも、ずっとアメリカン・アクセントの英語で通した。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	マクレガーが映画 <i>Star Wars</i> に出演するのを躊躇したのは、役柄が嫌いだったから。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	<i>Star Wars</i> に出たことで、マクレガーは子どもたちの世界に興味を持つようになった。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	子どもたちが <i>Star Wars</i> について話そうと自分のところに寄ってくるのは、マクレガーにとって厄介事だった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	マクレガーは人気を博した映画 <i>Moulin Rouge!</i> についても少し語っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	マクレガーにとって、この映画 <i>Down With Love</i> は入りやすい映画だった。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	プレーボーイを演じたマクレガー自身もプレーボーイだった時代があった。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	マクレガーは、独身貴族の「城」を持っていて、週末にはよく友達と集まってパーティーをやった。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	マクレガーにとって兵士は嫌いな役柄だったが、映画 <i>Black Hawk Down</i> の中では兵士を演じさせられた。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	戦闘の最中でも冷静さを失わずに任務を遂行できる兵士に、マクレガーは強い興味を持った。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	映画 <i>Big Fish</i> の撮影で、マクレガーは期間中、カメラが回っていないときも、ずっとアメリカン・アクセントの英語で通した。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	マクレガーが映画 <i>Star Wars</i> に出演するのを躊躇したのは、役柄が嫌いだったから。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	<i>Star Wars</i> に出たことで、マクレガーは子どもたちの世界に興味を持つようになった。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	子どもたちが <i>Star Wars</i> について話そうと自分のところに寄ってくるのは、マクレガーにとって厄介事だった。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

用語解説

Moulin Rouge!

『ムーラン・ルージュ』

[▶本文に戻る](#)

Star Wars Episodes I & II

★『スター・ウォーズ エピソード1／ファントム・メナス』（1999年）、『スター・ウォーズ エピソード2／クローンの攻撃』（2002年）のこと。共にジョージ・ルーカス監督によるアメリカ映画。「スター・ウォーズ」シリーズ（1977～83年）の続編。

[▶本文に戻る](#)

Black Hawk Down

『ブラックホーク・ダウン』 ★アメリカ映画（2001年）。監督リドリー・スコット。1993年、アメリカ軍が介入したソマリアの内戦下の凄絶な市街戦を描いた戦争映画。

[▶本文に戻る](#)

Catcher Block

キャッチャー・ブロック ★『恋は邪魔者』でマクレガーが演じた主人公の名前。

[▶本文に戻る](#)

Down with Love

『恋は邪魔者』 ★アメリカ映画（2003年）。1960年代のアメリカを舞台に、女性解放をうたう新進女流作家（レニー・ゼルウィガー）と、プレイボーイのジャーナリスト（マクレガー）との恋の駆け引きを描く。

[▶本文に戻る](#)

Peyton (Reed)

ペイトン（・リード） ★（1964-）。『恋は邪魔者』の監督。アメリカ・ノースカロライナ州生まれ。

[▶本文に戻る](#)

Cary Grant

ケーリー・グラント ★（1904-86）。アメリカの俳優。洗練された紳士ぶりで一世を風靡した。代表作に『フィラデルフィア物語』（'40年）、『北北西に進路を取れ』（'59年）など。

[▶本文に戻る](#)

Lipstick On Your Collar

『カラーに口紅』 ★イギリスのテレビ・シリーズ（1993年）。マクレガーが準主役を演じた。

[▶本文に戻る](#)

Fort Benning

フォート・ベニング ★ジョージア州にあるアメリカ陸軍の基地。

[▶本文に戻る](#)

Big Fish

『ビッグ・フィッシュ』 ★アメリカ映画（2003年）。監督ティム・バートン。死期を迎えている父親（アルバート・フィニー）のことをもっとよく知りたいと願う息子（ヒリー・クラダップ）が、父親がかつて体験したと言い張る壮大な冒険の数々を追体験する。マクレガーは若き日の父親を演じている。

[▶本文に戻る](#)

Albert Finney

アルバート・フィニー ★（1936-）。俳優。イギリス・サルフォード生まれ。王立演劇アカデミーに学び、舞台と映画で幅広い活躍を続ける。代表作に『トム・ジョーンズの華麗な冒険』（'63年）、『ドレッサー』（'83年）、『エリン・プロコピッチ』（2000年）ほか。

[▶本文に戻る](#)

Tim Burton

ティム・バートン ★（1958-）。映画監督。アメリカ・カリフォルニア州生まれ。美術学校出身で、独特の映像センスが持ち味。代表作に『ビートルジュース』（'88年）、『バットマン』（'89年）、『スリーピー・ホロウ』（'99年）など。

[▶本文に戻る](#)

Obi-Wan (Kenobi)

オビ=ワン（・ケノービ） ★「スター・ウォーズ」シリーズに登場するジェダイ騎士の名前。前3作では名優アレック・ギネスがこの役を演じている。
the Obi-Wan cloak というのは、オビ=ワンが着ているマントのことで、ここでは **take on the Obi-Wan cloak** で「オビ=ワン役を引き受ける」という意味。
[▶本文に戻る](#)

語注

star

主演させる、主役にする

[▶本文に戻る](#)

bachelor

独身者、未婚男子

[▶本文に戻る](#)

suave

人当たりのよい、洗練された

[▶本文に戻る](#)

debonair

さっそうとした、小粋な、あかぬけた、丁重で愛想のいい

[▶本文に戻る](#)

relive

追体験する、思い出す

[▶本文に戻る](#)

reference

参照事項、参考文献 ★その下のreferenceは「（昔それらの作品を見たときの）イメージ」という意味。

[▶本文に戻る](#)

touch

連絡、接触 ★ get in touch with ~で「～と連絡を取る」という意味。ここでは get back in touch with that で「再びそれと連絡を取る＝それを見直す」の意。

[▶本文に戻る](#)

contemporary

現代の

[▶本文に戻る](#)

romantic comedy

ロマンチック・コメディー ★映画のジャンルのひとつで、軽妙に描かれた恋愛映画を指す。

[▶本文に戻る](#)

for instance

例として、例えば、現に

[▶本文に戻る](#)

fucking

すごく、やたら ★強調を表す卑語。

[▶本文に戻る](#)

player

遊び人、同時に複数の女性と付き合う男

[▶本文に戻る](#)

swinging

気ままな

[▶本文に戻る](#)

pad

家、住まい、たまり場、理想郷

[▶本文に戻る](#)

hankering

あこがれ、渴望
[▶本文に戻る](#)

fascinate

魅了する、（人の）心をとらえる
[▶本文に戻る](#)

keep one's head together

冷静さを失わない ★本来、together は不要。
[▶本文に戻る](#)

operate

軍事行動を行う、働く
[▶本文に戻る](#)

under fire

砲火を浴びて
[▶本文に戻る](#)

get a flavor of ~

～の雰囲気味わう
[▶本文に戻る](#)

the Rangers

レンジャーズ ★アメリカ陸軍の特殊部隊、Army Ranger のこと。
[▶本文に戻る](#)

mankind

人類、人間
[▶本文に戻る](#)

The War

★第二次大戦のこと。
[▶本文に戻る](#)

case

（the とともに用いて）実情、真相
[▶本文に戻る](#)

sever

切り離す、引き裂く、不和にする
[▶本文に戻る](#)

fantastical

空想的な
[▶本文に戻る](#)

massive

壮大な ★ここでは massive tales で「奇想天外なほら話」と訳出した。
[▶本文に戻る](#)

fantasticalness

★マクレガーの造語。「空想的なもの、奇想天外なもの」を意味すると思われる。
[▶本文に戻る](#)

have the guts to do

～をする勇気がある、～をする根性がある ★gut は「根性、勇気、本質、中身」の意。
[▶本文に戻る](#)

self-conscious

照れくさい、気が引ける、自意識過剰の
[▶本文に戻る](#)

admire

感嘆する、すごいと思う

[▶ 本文に戻る](#)

it's not my bag

★ = it's not the sort of thing I like、I'm not good at that (sort of thing)。この bag は「好きなこと、特技、おはこ」などの意。

[▶ 本文に戻る](#)

go along with ~

～と同時に起こる、～に付随する

[▶ 本文に戻る](#)

nail A down into ~

Aを～に縛り付ける

[▶ 本文に戻る](#)

baggage

負担、重荷、障害

[▶ 本文に戻る](#)

go after ~

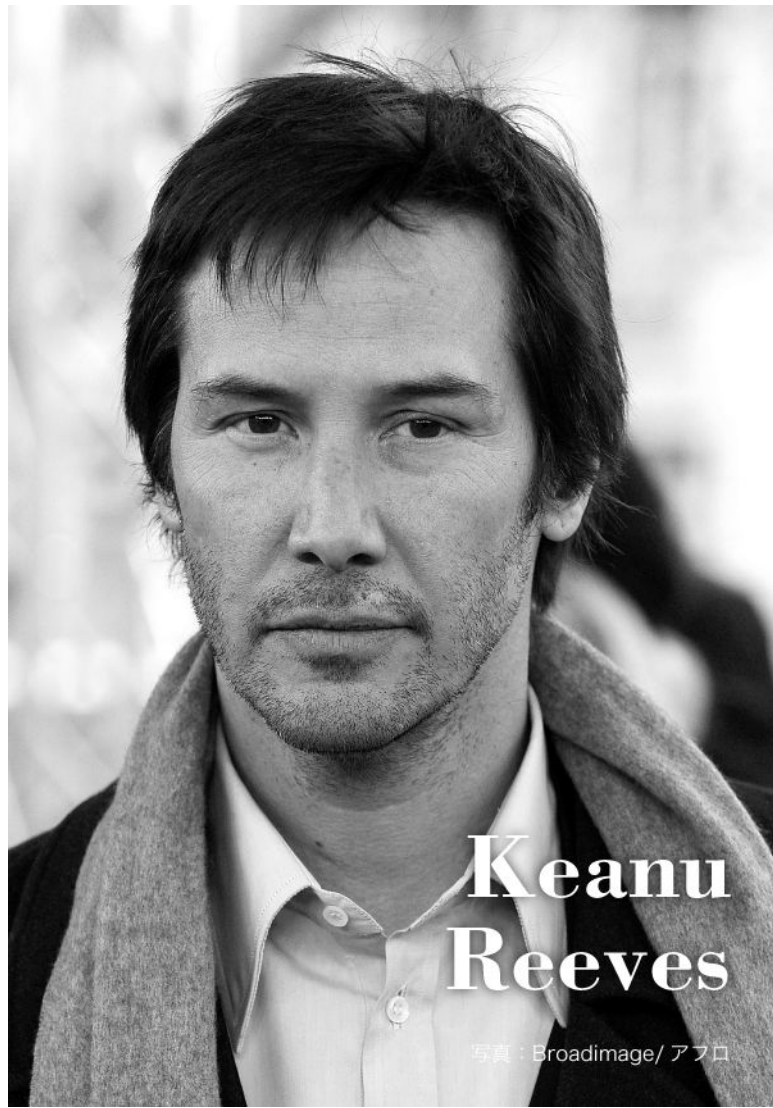
～（仕事など）を求める、～を狙う、～を目指す

[▶ 本文に戻る](#)

precious

すごく、とても

[▶ 本文に戻る](#)



Keanu Reeves

写真：Broadimage/ アフロ

Keanu Reeves

“It’s also coming from a source of, from myself. Yeah, he’s a fun guy to play.”

「それは僕の中から出てくるものでもあるんだ。そう、ネオは演じていて楽しい男だよ」

Supervising Editor's Comment

リーブスは物静かで、どちらかというと口が重そうな感じです。彼の答えはたいてい、短く、的を射ています。言いよどんだり、話の流れの中で答えを変えたりすると、ときどきフレーズやセンテンスが尻切れとんぼになることがあります。この意味で、彼の舞台裏のスタイルは自然で普通っぽいかもしれません。冷静で思慮深いという印象を与える人です。

Interview Data	
収録日	2003年5月2日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	普通
語彙	難しい
発音	明瞭

キアヌ・リーブス
Keanu Reeves
1964年9月2日、レバノン・ベイルートで中国系アメリカ人の父とイギリス人の母の間に生まれる。6歳の時にカナダに移住。カナダの高校在学中に俳優を志し、地元のテレビドラマや映画に出演。『リバース・エッジ』（'86年）で注目を集め、『ビルとテッドの大冒険』（'89年）、『ハートブルー』（'91年）などで人気俳優に。代表作に『リトル・ブッダ』（'93年）、『スピード』（'94年）、『マトリックス』3部作（1999年～2003年）など。
一大現象となった『マトリックス』シリーズのネオ役で、世間にその存在を印象づけたキアヌ・リーブス。役のイメージとは逆の物静かな口調が印象的な彼が、「マトリックス」型アクションをつくり出す努力、ニューヨークへの思い、バンド活動の楽しさについて語る。

*He used to be a [laughing-stock](#) because of his [acting skills](#), but they're not laughing at Keanu Reeves anymore, as [The Matrix saga](#) is the number one [franchise](#) in the world right now. Here Reeves talks about his character, [Neo](#), his long, strange [trip](#) as an actor, and the future of his band, [Dogstar](#).

Reporter: [Carrie-Anne](#) talked about the sense of [completion](#), having gone through the whole process which is concluded in the third. Do you feel the same as Carrie-Anne, that there's a sense of completion?

Keanu Reeves: Yeah. Yes, there is. Yeah, sure.

Reporter: You had to [recreate](#) the whole [sensation](#) of the first one when you got together again to do two and three . . .

Reeves: When you [mean](#) "sensation," what do you mean?

Reporter: Well, it became such a [cult](#), such a [phenomenon](#).

Reeves: Well, all of us were just hoping -- I mean, the scripts are so, are fantastic. And so we all came to the project, first of all, loving the first one, loving the experience of making the first one. So we were all excited about performing and creating these characters and making these films, and being together again, and hopefully people will enjoy them as much as, as we do.

Reporter: You are very [soft-spoken](#) and polite, but your character on screen has a [badass](#), [larger-than-life](#) image. How do you get into character?

Reeves: As an actor, you have the role to play, and that [aspect](#) of . . . you know, you reacted to Neo in *The Matrix* as, you know, he's like an [ass-kicking kind of guy](#). It's just, you know, finding that, that part of oneself and [meeting it with](#) the character and trying to play the role. So it's, you know, [pretend](#). But it's also coming from a source of, from myself, yeah. Um, yeah, he's a fun guy to play.

Reporter: In the [notes](#) it says you -- it's your [martial arts style](#). It's your style, or is it Neo's?

Reeves: It's The Matrix style. I wanted to have a certain style of fighting in *The Matrix*. Because I wanted to have it feel [physical](#) and [visceral](#), but [at the same time](#) to have a kind of style to it where, because it really isn't, something that's not physically happening, I wanted to have an [otherness](#) feeling to it, but that it still felt physical, you know, that there's still physical effort on his face and that there's physical [impact](#).

But then I also wanted to have that kind of . . . I wanted to have a certain elegance to it, so that there was sometimes effort, but there's also the aspect of effortlessness to it at the same time. You know, so that was the kind of style that I was trying to create in my [depiction](#) or in my acting out of the [choreography](#) that was [developed](#) by the directors and [Wo-Ping](#), as fight choreographer.

Reporter: What about [shooting](#) both [sequels simultaneously](#)?

Reeves: And shooting both films? The films take place over a short amount of time, and so it really felt like one film, one story. So it just felt like a really -- just one film. There wasn't really any [distinction per se](#) between the two.

So -- and it wasn't like doing, you know, like a [Chekov](#) play, you know -- "Four years later, and now it's winter." You know, there wasn't that kind of [transformation](#) to be jumping back and forth to in the pieces. You know, it's really, the timeline of the piece is very short. I believe it takes place over 72 hours, both films. So you're always very close to where you are. You don't have to kind of go, "Okay, I used to be 15 and now I'm 62." You know, there's nothing like that. So it felt like one film.

Reporter: What does [theater](#) mean to you? What about working in the theater?

Reeves: I need to do a [play](#). I want to go do a play. Because I love it. I really want to, to play as an actor. Just to go through the process of doing a play. It's not short [segments](#) of acting, it's the whole experience. It's an actor's [medium](#), to a certain extent, so it's just fun. It's just great to be able to act on stage and to go play like that. You know, the [continuity](#) aspect of it, the live aspect is really, for me, [home](#). I love it.

Reporter: Do you have a level of confidence as an actor that you didn't have ten years ago?

Reeves: On good days. No, well, I mean . . . you learn about acting by acting, you know. And I've had the good fortune to be able to [earn my living](#) as an actor and to work with some . . . like I'm working with [Diane Keaton](#) and [Jack Nicholson](#) right now and it's just amazing to see such great artists, you know, great actors just at their [craft](#) and to work with [Laurence Fishburne](#) and [Hugo Weaving](#) in *The Matrix* are just -- those are some of the best actors I've ever worked with.

So [in all of that](#), it does give me a sense of . . . you know, I've been through some things and I've done some acting. And so I know, certainly, more about my craft and what works for me . . . you know, what tools and what things I need to do to perform a role for myself -- you know, the questions to ask, the things I need to find out and then the way to do them, you know, the way to realize it.

translation ▶

Reporter: What do you love about New York and that city and that lifestyle?

Reeves: It is a great city. And it's a -- one of the kind of pure cities. And I think that it's one of those cities where humans have come to a place that's [post-agrarian](#) and are comfortable. And that it brings out so much [humanity](#) in people that it's a [celebration](#) of a kind. And I love that about the city.

I love the [diversity](#) and community all at the same time. I love the [architecture](#). I love the way that it's always changing. I love the way that it stays the same. I love the scale of it. I love that in the middle of this crazy city you have a huge park. I love the adventures that you can take while you walk down the street. I love its mystery. I love how there's so much to do, there's so much life in that city to be lived.

And I find that it's just a, again, just one of those true places that people come to and live in that, that feels natural.

Reporter: What's the [status](#) of Dogstar, and why is your music important to you?

Reeves: We did some shows when I first got back from [Australia](#), and we had a great time. We went to Japan, and played a show in Bangkok and that was great. Right now we're taking a little break. We'd been away from each other for so long, and so we're just right now kind of getting back together and trying to -- we all had different things that we wanted to play, so we've got to kind of have a band meeting and say, "What do we want to do here?" You know. Uh, so that's where we are in that.

And it's important to me, because it's -- I love the friends that I've made and the friends that I make the music with and, and it's fun to create. You know, the [fraternité](#), the chance to play live shows, to [hang out](#), to write music, to play music is just a, a great experience.

tanslation ▶

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication
Narrated by Brian Peck*

かつてはその演技力から笑い者になったことがありましたが、『マトリックス』3部作が世界一のフランチャイズとして成功を収めている現在、もはや誰もキアヌ・リーブスのことを笑ったりしません。ここでリーブスは、彼の（『マトリックス』での）役柄ネオ、彼の役者としての長く一風変わった経歴、そして彼のバンド、ドッグスターの将来について話してくれます。

【原文】[▶](#)

『マトリックス』制作秘話

DL **Track23**

記者：キャリア=アンは、3作目で完結した全過程をやり遂げ、達成感があると語りました。あなたもキャリア=アンと同じように、達成感を感じていらっしゃいますか？

キアヌ・リーブス：ええ。ええ、それはあります。もちろんです。

記者：皆さんが2作目と3作目を作るために再び集まったとき、1作目のあのセンセーションを再現する必要があったと思うのですが・・・

リーブス：「センセーション」とおっしゃるのは、どういう意味ですか？

記者：つまり、1作目は大変なカルトの人気を呼び、すごい社会現象になりましたよね。

リーブス：そう、われわれみんなが望んでいたのは、とにかく —— なにしろ、脚本が非常に、実に素晴らしいんですよ。だから私たちはこの（続編の）プロジェクトのために集まったんです、何よりも、1作目が大好きで、1作目を作ったときの経験がすごく好きでしたしね。だから全員が、演じること、これらの役柄をつくり上げ、これらの映画を制作し、また一緒に仕事をするを非常に楽しみにしていて、願わくは観客の皆さんにも、われわれと同じくらい、これらの作品を楽しんでもらいたかったんです。

記者：あなたは非常に口調が柔らかで、礼儀正しい方ですが、スクリーンでのあなたの役柄は、こわもての、超人的なイメージがあります。どのようにして役に入り込むのですか？

リーブス：役者として、演じなければいけない役というものがあったて、その側面・・・つまり、あなたは『マトリックス』のネオのことをおっしゃったんですが、そう、彼は敵をぶちのめすタイプの男です。ひたすら、ええ、自分の中のそんな、そういった部分を見つけ出し、役柄と重ね合わせ、その役を演じる努力をするわけです。ですから、つまり、そういうふりをするわけですね。でも、それは中から、僕自身から出てくるものでもあるんですよ。そう、ネオは楽しく演じられる男ですよ。

記者：手元の資料によれば、あなたは —— あれ（『マトリックス』のアクション・シーン）はあなたの武術スタイルだとあります。あれはあなた流なのですか、それともネオ流？

リーブス：あれは「マトリックス」流です。『マトリックス』ではある特定の格闘スタイルが欲しかったんです。というのも、物理的に起こっている、本能的なものだという感じを出したかったのですが、同時にそのスタイルにこう、本当はそうじゃなく、物理的に起こっているのではないので、異質な感じを醸し出したかった、でも、やはり物理的な感じはあって、つまり、やっぱり彼の顔には物理的に努力している表情が浮かび、物理的な衝撃を受けるわけです。

しかしそこで同時に、ああいった・・・ある種の優雅さが欲しかったんです、つまり、時に努力の跡を見せつつ、それでいて同時にたやすくやってのけているような面もあって。そう、ですからあれは、監督と格闘振付師のウービンが作り上げた振り付けを僕なりに描写するというか演じる中で、僕が創造しようとしていたたぐいのスタイルだったんです。

記者：続編2作を同時進行で撮影するというのはどうでしたか？

リーブス：両方を同時に撮影することですか？ 2つの映画（の中の出来事）は短い期間に起こることなので、すごく1本の映画、1つの物語のように感じました。ですから、感覚としては実のところ —— 1本の映画みたいなものでした。2本の続編の間に本質的な区別は全然なかったんです。

それに —— ほら、チェーホフの戯曲みたいなのをやっているわけではありませんでしたから —— 「4年が経ち、冬が来た」なんていうような。これらの作品では、そんなふうに突然時間を行ったり来たりする転換のようなものはありませんでした。そう、本当に、この作品の時間軸は非常に短いのです。確か、2本合わせて、72時間ぐらいの間に起こっている話だと思います。ですから常に現実の時間に近いんです。「さて、今までは15歳だったけど、今からは62歳だ」なんていうようなことは必要ありませんでした。そういうことは一切なかったんですよ。だから1本の映画のような感じでした。

【原文】 [▶](#)

演劇への熱き思い

 [DL](#)  [Track24](#)


記者：舞台はあなたにとってどんな意味がありますか？ 舞台で演じるということについてはいかがですか？

リーブス：僕には演劇をやる必要があるんです。演劇をやりたい。大好きですから。本当に役者として演劇をやりたいですね。とにかく演劇をやる過程を体験したいんです。それは細切れの演技ではなく、全体的な経験なんですよ。舞台はある程度まで役者の表現手段なので、とにかく楽しいんです。舞台に立って芝居ができ、ああやって演じることができるのは、実に素晴らしいことです。その連続性という側面、ライブの側面が実に、僕にとっては、くつろげるんです。大好きですね。

記者：役者として、10年前にはなかったレベルの自信を持っていらっしゃいますか？

リーブス：調子のいい日にはね。いや、その、なんというか・・・演技のことは演技をしながら学ぶものです。そして、僕はこれまで幸運にも役者として生計を立ててこられたうえ、一緒に仕事ができ・・・例えば僕は今ダイアン・キートンやジャック・ニコルソンと仕事をしていますが、彼らのような非常に偉大なアーティストたち、偉大な俳優たちが技を披露する様を見るのはとにかく素晴らしい経験ですし、『マトリックス』でローレンス・フィッシュバーンやヒューゴ・ウィービングと仕事をしたことはまさに——彼らは僕がこれまで一緒に仕事をしてきた中で最高の役者の中に入る人々です。

ですから、要するに、確かにある種のは身について・・・ええ、僕はそれなりの経験をできて、それなりに演技をしてきました。ですから間違いなく、自分の技術や、どうすればうまくいくかが以前よりわかっています・・・役を演じるのに自分にとってどんな道具やどんな物が必要か——つまり、すべき質問、知っておく必要のあること、そしてそれをやる方法、それを実現する方法、といったようなことがね。

[【原文】](#) 

ニューヨークの魅力とバンド活動

 [DL](#)  [Track25](#)

記者：ニューヨークとあの街とライフスタイルのどんなところが好きですか？

リーブス：ニューヨークは素晴らしい街ですよ。そしてあそこは——ある意味で純粋な街のひとつです。あの街は人間が脱農業社会に到達し、快適に暮らしている街のひとつだと思います。そして、あの街は人々の中にある人間愛を大いに引き出すがゆえに、ある種の人間賛歌になっているんです。ニューヨークのそういうところが大好きですね。

その多様性とコミュニティが同時に存在するところが好きです。建築物が好きです。常に変化し続けているところが好きです。常に変わらない部分も好きです。そのスケールの大きさが好きです。このクレイジーな街のど真ん中に巨大な公園があるのが好きです。通りを歩くときに体験できる冒険が好きです。その神秘性が好きです。たくさんすることがあるのが、人生を思い切り生きられるのが好きです。

あの街はとにかく、繰り返しますが、まさに、人々がやって来て住むことができ、それが自然に感じられる本当の場所のひとつだと思うんですよ。

記者：ドッグスターの近況はいかがですか？　そして、なぜ音楽をやることはあなたにとって重要なのですか？

リーブス：最初にオーストラリアから戻った後、いくつかライブをやって、とても楽しかったですよ。日本に行って、バンコクでライブをやって、すごくよかった。今は少し休みを取っている状態です。お互い、すごく長い間離れていたんで、今はとにかくまた集まって、模索して——みんな演奏したいものがいろいろだったの

で、バンド・ミーティングのようなものをやる必要があつて、「おれたちはこれから何をしたいんだ？」なんて言い合ったり。まあ、ですから、バンドの状況はそんな感じですよ。

そして、音楽が僕にとって大切な理由は——仲間たち、一緒に音楽を作る仲間たちが大好きですし、それに創造することは楽しいですから。仲間意識、ライブをする機会、一緒に過ごしたり、作曲したり、演奏したりといったことが、とても楽しい経験なんですよ。

【原文】[▶](#)

Vocabulary List

A

- acting skills** 演技力
- architecture** 建築（物）
- aspect** 側面、印象、様子
- at the same time** それでいて、同時に

B

- badass** こわもての、かっこいい、たちの悪い ★スラング。

C

- celebration** 賞賛、祝賀
- choreography** 振り付け
- completion** 達成、成就
- continuity** 連続性、継続
- craft** 技巧、技 ★ = skill
- cult** 崇拜、礼賛、カルト的流行

D

- depiction** 描写
- develop** 作り上げる、生み出す
- distinction** 識別、差異
- diversity** 多様性

E

- earn one's living** 生計を立てる

F

- franchise** フランチャイズ ★「製造主が契約者に与える一定地域内での営業販売権」のこと。
- fraternité** 兄弟愛、博愛 ★フランス語。英語では **fraternity**。

H

- hang out** たむろする、ぶらぶら時間を過ごす
- home** 故郷、本拠地、（自分の家のような）憩いの場所
- humanity** 人間愛、人間性

I

- in all of that** 要するに ★ = to sum up

L

- larger-than-life** 並外れた、英雄的な、超人的な、人間離れた
- laughing-stock** 笑い種、物笑いの種

M

- martial art** 武道、武術
- medium** 手段、媒体
- meet A with B** A を B と重ね合わせる ★ = match A with B

N

- note** 記録、メモ

O

- otherness** 別物であること

P

- per se** 本質的に、それ自体が
- phenomenon** 現象、事象
- physical** 実際の、身体的な、物理的な
- post-agrarian** 脱農業社会の
- pretend** ふりをする、見せかける

R

- recreate** 再現する

S

- saga** サガ、物語、冒険談、武勇伝

- segment** 区切り、区分
- sensation** センセーション、興奮、大評判
- sequel** 続編
- shoot** 撮影する
- simultaneously** 同時に
- soft-spoken** 口調の柔らかな
- status** 現状、状況

T

- theater** 劇、演劇、舞台
- transformation** 変化、（演劇の）早変わり
- trip** 体験、生き方、状況 ★ = life、career

V

- visceral** 本能的な、内臓の、腹の底から感じる

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	リーブスは映画だけでなく、舞台やバンドもやる役者である。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	リーブスは <i>The Matrix</i> シリーズ以外の映画についても多くを語っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	リーブスは <i>The Matrix</i> の制作を楽しんだ。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	<i>The Matrix</i> の主人公であるネオとそれを演じるリーブスは、性格やイメージが似ているため、リーブスにとっては楽しんで演じることができた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	リーブスは <i>The Matrix</i> の格闘スタイルで、肉体的なリアルさと優雅さの両方を創造しようと試みた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	演劇の特徴は連続性とライブの部分にあり、映画とは異なるが魅力がある、とリーブスは言う。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	リーブスは、役者としては、まだ自信のようなものを感じる段階にはなく、むしろ10年前に持っていた新鮮さを失うことに不安を感じている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	リーブスがニューヨークについて好きな点のひとつは、それが変わらないところである。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	リーブスのバンドは海外でライブをやることもあり、現在も活動に忙しい。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	リーブスにとって音楽は、幼い頃に創造性を養ってくれた重要なツールだった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	リーブスは映画だけでなく、舞台やバンドもやる役者である。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	リーブスは <i>The Matrix</i> シリーズ以外の映画についても多くを語っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	リーブスは <i>The Matrix</i> の制作を楽しんだ。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	<i>The Matrix</i> の主人公であるネオとそれを演じるリーブスは、性格やイメージが似ているため、リーブスにとっては楽しんで演じることができた。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	リーブスは <i>The Matrix</i> の格闘スタイルで、肉体的なリアルさと優雅さの両方を創造しようと試みた。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	演劇の特徴は連続性とライブの部分にあり、映画とは異なるが魅力がある、とリーブスは言う。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	リーブスは、役者としては、まだ自信のようなものを感じる段階にはなく、むしろ10年前に持っていた新鮮さを失うことに不安を感じている。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	リーブスがニューヨークについて好きな点のひとつは、それが変わらないところである。	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	リーブスのバンドは海外でライブをやることもあり、現在も活動に忙しい。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	リーブスにとって音楽は、幼い頃に創造性を養ってくれた重要なツールだった。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

用語解説

He used to be a laughing-stock because of his acting skills

★アメリカのショービジネス界では、リーブスはヒット作に恵まれてはいるが実は大根役者であると揶揄する風潮があった。
[▶本文に戻る](#)

The Matrix

『マトリックス』 ★アメリカ映画（1999年）。監督ラリー・ウォッシュウスキー、アンディ・ウォッシュウスキー。コンピューターが人間を管理する世界で、一握りの"目覚めた"人間たちが救世主を待ち望みながらコンピューターに闘いを挑むという物語。最先端の特殊効果技術を駆使した斬新な映像がSF映画の流れを変えたといわれる作品。『マトリックス リローデッド』（2003年）、『マトリックス レボリューションズ』（'03年）の続編2作と3部作を成す。
[▶本文に戻る](#)

Neo

ネオ ★リーブスが『マトリックス』で演じる主人公、トーマス・アンダーソンのハッカーとしての別名。"目覚めた者"としての名前でもある。
[▶本文に戻る](#)

Dogstar

ドッグスター ★リーブスがベーシストを務めるバンドの名前。
[▶本文に戻る](#)

Carrie-Anne (Moss)

キャリー=アン（・モス） ★（1967-）。女優。カナダ・バンクーバー生まれ。モデルから女優に転進し、テレビドラマや映画に出演。『マトリックス』でネオの相手役、トリニティを演じて一躍有名になる。
[▶本文に戻る](#)

(Yuen) Wo-Ping

（ユエン・）ウーピン、袁和平 ★（1945-）。映画監督・格闘振付師。中国・広東省生まれ。香港映画のスタントマン、武術指導家を経て、『スネーキーモンキー 蛇拳』（'78年）で監督デビュー。『マトリックス』では3作を通して格闘の振り付けを担当している。
[▶本文に戻る](#)

Chekov

チェーホフ ★（1860-1904）。ロシアの劇作家・短編作家。代表作に『桜の園』『かもめ』『三人姉妹』など。
[▶本文に戻る](#)

Diane Keaton

ダイアン・キートン ★（1946-）。女優。アメリカ・カリフォルニア州生まれ。『アニー・ホール』（'77年）でアカデミー主演女優賞受賞。『恋愛適齢期』（2003年）でリーブス、ニコルソンと共演。

[▶本文に戻る](#)

Jack Nicholson

ジャック・ニコルソン ★（1937-）。俳優。アメリカ・ニュージャージー州生まれ。『カッコーの巣の上で』（'75年）と『恋愛小説家』（'97年）でアカデミー主演男優賞を受賞。

[▶本文に戻る](#)

Laurence Fishburne

ローレンス・フィッシュバーン ★（1961-）。俳優。アメリカ・ジョージア州生まれ。代表作に『オセロ』（'95年）など。『マトリックス』では人間の反乱組織の指導者、モーフィアス役を演じている。

[▶本文に戻る](#)

Hugo Weaving

ヒューゴ・ウィービング ★（1960-）。俳優。ナイジェリア生まれ。代表作に『ロード・オブ・ザ・リング』3部作など。『マトリックス』シリーズではネオの宿敵、エージェント・スミス役を演じている。

[▶本文に戻る](#)

Australia

★『マトリックス』3部作のロケは、ほぼすべてオーストラリアのシドニーで行われた。リーブスは2～3作目の撮影中に数度アメリカに帰国している。
[▶本文に戻る](#)

語注

laughing-stock

笑い種、物笑いの種
[▶ 本文に戻る](#)

acting skills

演技力
[▶ 本文に戻る](#)

saga

サガ、物語、冒険談、武勇伝 ★ここでは *The Matrix saga* で「『マトリックス』3部作」と訳出した。
[▶ 本文に戻る](#)

franchise

フランチャイズ ★「製造主が契約者に与える一定地域内での営業販売権」のこと。ここでは『マトリックス』のシリーズが、さまざまな派生ビジネスにつながっていることを指している。
[▶ 本文に戻る](#)

trip

体験、生き方、状況 ★ = life、career
[▶ 本文に戻る](#)

completion

達成、成就
[▶ 本文に戻る](#)

recreate

再現する
[▶ 本文に戻る](#)

sensation

センセーション、興奮、大評判
[▶ 本文に戻る](#)

mean

★正しくは say。
[▶ 本文に戻る](#)

cult

崇拜、礼賛、カルト的流行
[▶ 本文に戻る](#)

phenomenon

現象、事象
[▶ 本文に戻る](#)

soft-spoken

口調の柔らかな
[▶ 本文に戻る](#)

badass

こわもての、かつこいい、たちの悪い ★スラング。
[▶ 本文に戻る](#)

larger-than-life

並外れた、英雄的な、超人的な、人間離れした
[▶ 本文に戻る](#)

aspect

側面、印象、様子
[▶ 本文に戻る](#)

ass-kicking kind of guy

★ kick-ass で「荒っぽい、タフな、パワーのある」という意味がある。ここでは「敵をぶちのめすタイプの男」と訳出した。

[▶ 本文に戻る](#)

meet A with B

A を B と重ね合わせる ★ = match A with B

[▶ 本文に戻る](#)

pretend

ふりをする、見せかける

[▶ 本文に戻る](#)

note

記録、メモ

[▶ 本文に戻る](#)

martial art

武道、武術

[▶ 本文に戻る](#)

style

型、様式、スタイル、流儀

[▶ 本文に戻る](#)

physical

実際の、身体的な、物理的な

[▶ 本文に戻る](#)

visceral

本能的な、内臓の、腹の底から感じる

[▶ 本文に戻る](#)

at the same time

それでいて、同時に

[▶ 本文に戻る](#)

otherness

別物であること

[▶ 本文に戻る](#)

impact

衝撃、打撃

[▶ 本文に戻る](#)

depiction

描写

[▶ 本文に戻る](#)

choreography

振り付け

[▶ 本文に戻る](#)

develop

作り上げる、生み出す

[▶ 本文に戻る](#)

shoot

撮影する

[▶ 本文に戻る](#)

sequel

続編

[▶ 本文に戻る](#)

simultaneously

同時に ★『マトリックス』の続編、『マトリックス リローデッド』と『マトリックス レボリューションズ』は2001年3月から同時に撮影が開始された。

[▶ 本文に戻る](#)

distinction

識別、差異

[▶ 本文に戻る](#)

per se

本質的に、それ自体が

[▶ 本文に戻る](#)

transformation

変化、（演劇の）早変わり

[▶ 本文に戻る](#)

theater

劇、演劇、舞台

[▶ 本文に戻る](#)

play

演劇、芝居

[▶ 本文に戻る](#)

segment

区切り、区分

[▶ 本文に戻る](#)

medium

手段、媒体

[▶ 本文に戻る](#)

continuity

連続性、継続

[▶ 本文に戻る](#)

home

故郷、本拠地、（自分の家のような）憩いの場所

[▶ 本文に戻る](#)

earn one's living

生計を立てる

[▶ 本文に戻る](#)

craft

技巧、技 ★ = skill

[▶ 本文に戻る](#)

in all of that

要するに ★ = to sum up

[▶ 本文に戻る](#)

post-agrarian

脱農業社会の
[▶本文に戻る](#)

humanity

人間愛、人間性
[▶本文に戻る](#)

celebration

賞賛、祝賀 ★ここでは「人間賛歌」と訳出した。
[▶本文に戻る](#)

diversity

多様性
[▶本文に戻る](#)

architecture

建築（物）
[▶本文に戻る](#)

status

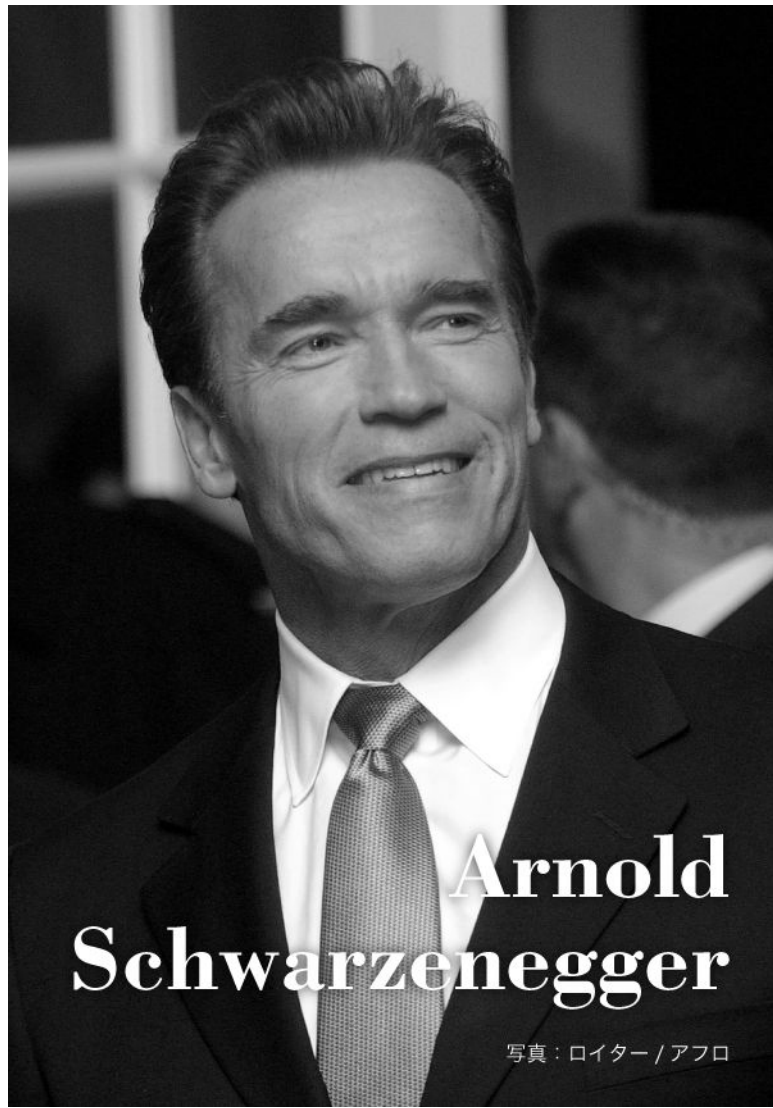
現状、状況
[▶本文に戻る](#)

fraternité

兄弟愛、博愛 ★フランス語。英語では **fraternity**。
[▶本文に戻る](#)

hang out

たむろする、ぶらぶら時間を過ごす
[▶本文に戻る](#)



Arnold Schwarzenegger

写真：ロイター / アフロ

Arnold Schwarzenegger

“I will run as a Californian to straighten out California, someone that will speak to Democrats and Republicans.”

「私は、カリフォルニアを良くするためにカリフォルニア州民として、民主党員にも共和党員にも訴える者として立候補する」

Supervising Editor's Comment

シュワルツェネッガーのインタビューを聞いていると、いかに人格が話しぶりを決定するかということと、発音や文法、語彙、テストの成績にこだわるだけでは上手な話し手になれないということが、よくわかります。人を引き付ける、信頼性と説得力のある内容、話のうまさ、そしてユーモアこそが、最も重要なのです。ドイツ語のアクセントが男性的な印象を与えています。

Interview Data	
収録日	2003年6月6日
収録地	バーバンク（アメリカ）
スピード	普通
語彙	やさしい
発音	やや訛りあり

アーノルド・シュワルツェネッガー
Arnold Schwarzenegger
1947年7月30日、オーストリア・グラーツ生まれ。21歳の時にプロのボディビルダーとして渡米し、『SF超人ヘラクレス』（'70年）で映画デビュー。『ターミネーター』（'84年）の大ヒットでアクション・スターに。他の代表作に『トータル・リコール』（'90年）など。2003年、現職知事のリコール選挙に伴うカリフォルニア州知事選に立候補して大差で当選し、11月、同州知事に就任。夫人は故ケネディ大統領の姪 MARIA・シュライバー。
ボディビルダーからスタートしてアクションスターになり、いまやカリフォルニア州知事に転身したオーストリア出身の俳優アーノルド・シュワルツェネッガー。彼が知事選立候補を正式表明し、政治への意欲をアピールした2003年8月の記者会見の様子を収録。

Born in Austria, Arnold Schwarzenegger [started out as](#) a bodybuilder, progressed to action hero, then to actor. Here he talks about his latest [venture](#), running for Governor of California.

Arnold Schwarzenegger: If everyone is quiet for a second, please. I would appreciate that very much.

I just want to say that -- [as I said out there](#), that it is obviously a very difficult decision to make. I mean it's the most difficult decision that I've ever made in my life. And over the last two weeks I have debated and we've had discussions: at home -- [a] lot of discussions with my wife, [a] lot of discussions with my children -- and a lot of discussions with friends, great [allies](#), my political advisors and everybody.

And after two weeks, which is a short period of time to give someone to make a decision like that, I came to the conclusion that even though there are great [sacrifices](#) to be made, sacrifices such as not making movies, sacrifices of [discontinuing](#) some of the business relationships that I have that make me a lot of money, sacrifices because of the family, maybe less time spending with the children and with my wife, moving to [Sacramento](#), [all of those kind of things is](#) -- I mean [there was like endless amount of](#) sacrifices one has to make. I felt in the end it is my duty to jump into the [race](#) and to bring hope to the people.

This was step number one, today, to [announce](#). All the other information we will have as I go out there, and I will be [campaigning](#) very strongly to get the message out there.

And I know that you all know that I know how to sell something. Right? I know how to sell something because remember I had to sell bodybuilding when no one even knew what bodybuilding was in this country, and we [did it](#). And I had to sell myself as an action hero, which wasn't easy when everyone said, "Hey, your name is what, uh, Schwarzen Schnitzel or something like that? And you've an [accent](#), and you've this [overdeveloped](#) body." I did -- "No one ever could be successful with [this kind of a combination](#)." And I did it, because I sold myself to the American people and the people around the world.

And the same is here, [it's up to](#) me, now, to sell to the people and to convince the people that I can do the job, that I'm passionate about it, that no one will be able to [pay me off](#). I don't need anyone's money. [Special interests](#), we will listen to them but we will not be [swayed](#) by their money.

That is the [bottom line](#), it will be a different [ballgame altogether](#). So again, as in everything that I have done, [the press](#) has been extremely important to me. They've helped me in my bodybuilding career, they've helped me in my film career.

And I just want to ask all of you, [Democrats](#) or [Republicans](#), remember I'm a Republican but I will run as a Californian to [straighten out](#) California, someone that will speak to Democrats and Republicans, that is the bottom line. So I hope that you will help me with this mission.

Reporter: Sir, do you have [what it takes](#) to be [governor](#), do you believe, sir?

Schwarzenegger: Yes. I have the energy, I have the intelligence, I have the [know-how](#). I know what the problems are in this state.

I know that we have to, first of all, and most important[ly], bring business back to California because we can be talking [from here to eternity](#) about programs, or about not cutting the budget, not cutting programs and all those things. The most important thing is money. We have to have money. The only way you get [revenues](#) is by bringing business back.

Today there are more businesses leaving California and expanding outside of California because there is a business environment that is [negative](#). We are not [business-friendly](#) in this state, therefore they are leaving. People are leaving. More people are leaving today than ever before. We cannot do that.

We have to go back to the old days where people wanted to come to California, bring their businesses to California and enjoy themselves here and look at this as the greatest state in the great -- of the greatest country where the most opportunities [are] available in [entertainment](#), [tourism](#), [agriculture](#), all of those kind[s] of things. We have the opportunity to do that.

The first thing is to bring businesses back, to make this a business-friendly environment. The second thing is we[']ve got to reform and we[']ve got to help with education because [the bringing](#) the business back is something that we're dealing with right now, but when we talk about the future [is](#) the children.

And as you know I'm very passionate about children's issues, that's why I [came up with](#) the [initiative Proposition 49](#) because I want to offer kids after-school programs. I want to get them off [the street](#). While the politicians are [hanging](#) then, debating over it and the kids are out there killing themselves and taking drugs and teenage [pregnancy](#) and all those kind of things, I went out, because I'm the action hero, I don't talk about it, I create the action.

So we created Proposition 49, so that's what that, this will be all about.

Putting My Money Where My Mouth Is

DL Track30

[用語解説](#) [語注](#)

Reporter: What happens to your movie career if you're elected?

Schwarzenegger: What happens to my movie career? Obviously, since I'm not the real [Terminator](#) where I don't need sleep, I need sleep like everyone else and therefore I will have to [put that aside](#) for a while, or forever. [Who knows what?](#)

Reporter: How much [are you prepared to](#) spend in this race?

Schwarzenegger: That's a very good question: how much money do I spend on this race, or will I spend on this race? Um, on the last election, as you know, for Proposition 49 I put in a million and a half dollars, almost, for that. I [put my money where my mouth is](#), I will do the same for this. I don't want to have people put in money and I stay away and not put any money in. I will put in money, whatever is necessary.

tanslation [▶](#)

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication
Narrated by Gary Scott Fine*

オーストリア出身のアーノルド・シュワルツェネッガーは、ボディービルダーとしてキャリアをスタートし、アクション・ヒーローへと転身を遂げ、その後、俳優になりました。そして今回、彼は一番新しい賭けである、カリフォルニア州知事選出馬について語っています。

【原文】[▶](#)

カリフォルニア州民としての決断

 [DL](#)  [Track28](#)

アーノルド・シュワルツェネッガー：皆さん、少しの間お静かに願えますか。どうもありがとうございます。

私が言いたいのは――あの場で言いましたように、これは明らかに非常に難しい決断であるということです。つまり、これまで私が人生において下した中で一番難しい決断です。この2週間、私は話し合い、議論してきました。家で――妻と何度も議論し、子どもたちとも何度も議論し――友人たちや素晴らしい協力者の皆さん、政界の助言者の皆さんなど、あらゆる方々と多くの議論を重ねてきました。

そして2週間後、これは、このような決断を下すために与えられる時間としては短いものですが、私は結論に達しました。たとえ大きな犠牲を払うことになるとしても、例えば、映画を制作しないという犠牲、私に大金を稼がせてくれるビジネス関係の一部を中断するという犠牲、もしかしたら子どもたちや妻と一緒に過ごす時間が減ったりサクラメントに移ったりするかもしれないという家庭面での犠牲など、その種のありとあらゆることが――つまり、払わねばならない犠牲は無限のようにあります。（しかし）最終的には、この選挙戦に飛び込み、市民の皆さんに希望をもたらすことが私の義務であると感じたのです。


今日出馬を表明したことは最初の一步です。私が外に出ていき、社会にメッセージを伝えるために強力に選挙運動を展開するうちに、われわれはその他のあらゆる情報を手にするでしょう。

私が物事の売り込み方を心得ていることは、皆さんご存じのはずです。そうでしょう？ 私は売り込み方を心得ています、というのも、この国でボディービルが何であるか誰も知りもしなかった時代に、私はボディービルを売り込まなくてはならなかったことを思い出してください。そして、われわれは成功しました。そして、私は自分自身をアクション・ヒーローとして売り込まなければなりませんでしたが、これは容易なことではなく、そのとき誰もがこう言いました、「おい、君の名前は何だって、ええと、シュワルツェン・シュニッツェルとか何とかいうのかい？ 訛りがあるなあ。体も筋肉がつきすぎてるし」。私は――「こう悪い条件が重なっちゃ、誰だって成功しようがないよ」とね。しかし、私は成功しました。私は自分をアメリカの人々、そして世界中の人々に売り込んだからです。

そして、ここでも同じことです。私次第なのです、今度は、皆さんに対して（自分を）売り込み、私にはこの（知事という）仕事ができる、それに対する熱意がある、誰も私を買収することはできない、と皆さんに納得していただけるかどうかは。私は誰のお金も必要としていません。特殊利益団体については、私たちは彼らの話を聞きはしますが、その金で動かされることは決してありません。

そこが肝心な点です。事態はまったく異なってくるでしょう。ですから、繰り返しますが、私がしてきたすべてのことにおいて、マスコミは私にとって極めて重要な存在でした。マスコミは私のボディービルダーとしてのキャリアを助けてくれましたし、俳優としてのキャリアも助けてくれました。

そして私は、民主党員であれ共和党員であれ、すべての皆さんにお願いしたいのです。忘れないでください、私は共和党員ですが、カリフォルニアを良くするために、カリフォルニア州民として、民主党員、共和党員の両方に訴える者として立候補します。それが大事な点です。この使命を果たすにあたって、皆さんにお力添えを頂きたいと思います。

[【原文】](#) 

大事なのはビジネスと教育

 [DL](#)  [Track29](#)

記者：ご自身が知事になるのに必要な資質を備えていると思われますか？

シュワルツェネッガー：はい。私には行動力があり、知性があり、専門知識があります。この州の問題が何であるか理解しています。

私にわかっているのは、まず第一に、そして最も重要なことですが、産業をカリフォルニアに呼び戻さなくてはならないということです、というのも、行政プログラムだとか、予算は削らないとか、プログラムは廃止しないとか、そういうことはいくらでも言えますが、つまるところ一番大切なのは金です。金がなくては始まりません。財源を得る唯一の方法は産業を呼び戻すことです。

現在、さらに多くの企業がカリフォルニアを離れ、カリフォルニア州の外に発展していつています。それは、この州のビジネス環境が良くないせいです。この州は企業に優しくないのです、企業は離れていくのです。人々も離れていく。現在、かつてなかったほど多くの人がカリフォルニアを離れていつています。そんなことはさせられません。

私たちは、かつての時代に立ち返らなくてはなりません。人々がカリフォルニアに来たいと思い、事業をカリフォルニアに移したいと思い、ここでの生活を楽しみ、娯楽、観光、農業、ありとあらゆる面で、この州が最も多くのチャンスがある偉大な国の —— 最も偉大な国の最も偉大な州だと考えていた時代に。私たちにはそれを成し遂げるチャンスがあります。

第1は、企業を呼び戻し、この州を企業に優しい環境にすることです。第2は、改革を行い、教育を支援しなくてはなりません。ビジネスを呼び戻すことは今すぐ対処すべきことですが、未来について語るときに大事なのは子どもたちだからです。

ご存じのように、私は子どもたちの問題について大変熱心です。だからこそ提案**49**号のイニシアチブを思いついたのです、というのは子どもたちに課外プログラムを提供したいからです。子どもたちをストリートから引き離したいのです。政治家たちがぐずぐずしたり、それについて議論したりしている間にも、子どもたちは街で命を落したり、麻薬をやったり、**10**代で妊娠したり、そういったもろもろのことをしている。私は街に出て行きました、私はアクション・ヒーローですから、それについてしゃべるのではなく、行動を起こすのです。

そんなわけで、私たちは提案**49**号を作りました。ですから、今回もまさしくそういうことになるでしょう。

【原文】[▶](#)

必要な資金はいくらでも出す


 [DL](#)  [Track30](#)

記者：もし当選されたら、映画俳優としてのキャリアはどうなるのでしょうか？

シュワルツェネッガー：俳優のキャリアがどうなるか？　もちろん、私は睡眠が要らない本物のターミネーターではなく、人並みに睡眠が必要ですから、しばらく、あるいは永久にやめなくてはならないでしょうね。どうなるかわかりませんが。

記者：この選挙戦にどれほど資金をつぎ込むつもりですか？

シュワルツェネッガー：非常にいい質問ですね。この選挙戦に私がいくらつぎ込むか、あるいはつぎ込むつもりか。前回の投票時には、ご存じのように、私は提案**49**号のために**150**万ドル近くつぎ込みました、あれのためにね。私は言ったことは実際の行動で示しますし、今回も同じようにするつもりです。人に金を出させておいて自分は距離を置いて金を出さないということはしたくありません。いくらでも必要なだけつぎ込みますよ。

[【原文】](#) 

Vocabulary List

A

- accent** 訛り、外国訛り
- agriculture** 農業
- ally** 協力者、味方
- altogether** まったく、すっかり
- announce** 立候補を表明する

B

- ballgame** 状況、事情、事態
- be up to** ～ ～次第だ、～の決めることだ
- bottom line** 要点、結論、本質
- business-friendly** 事業（主）に親切な ★-friendly は「～に使い勝手がよい、～にとって快適な」の意の形容詞を作る接尾語。

C

- campaign** （選挙）運動をする
- come up with** ～ ～を思いつく、～を考え出す

D

- Democrat** 民主党員
- discontinue** やめる、中断する、停止する
- do it** 成功する

F

- from here to eternity** ★ = eternally、forever

G

- governor** （アメリカの）州知事

I

- initiative** イニシアチブ、州民発案、住民発議 ★一定数の有権者が賛成した場合に、有権者が条例の制定や修正を発案し、住民投票でその採否を決する制度。スイスや、アメリカの一部の州で行われている。

K

- know-how** 専門知識、ノウハウ、特殊技能

N

- negative** 思わしくない、報われない

O

- overdeveloped** 発達しすぎた、発達過剰の

P

- pay ～ off** ～にわいろを贈る、～を買収する
- pregnancy** 妊娠
- put one's money where one's mouth is** 口にしたことを行動で証明する、口先だけでなく実行する
- put ～ aside** ～を脇に置く、～を本題から外す

R

- Republican** 共和党员
- revenues** （特に税金による）歳入、財源

S

- sacrifice** 犠牲
- special interest** 特殊利益団体 ★特定の経済・産業分野に権益を有する組織・法人。この interest は「業界、大企業、関係者」といった意。
- start out as** ～ ～（という仕事）を始める
- straighten out** ～ ～（物事）を正しい状態にする、～を正す、～を是正する
- sway** （～に）影響を与える、傾かせる、ぐらつかせる

T

- the press** 報道機関、記者団、マスコミ
- tourism** 観光

V

- venture** 賭け、冒険の企て

W

□**what it takes** 能力、素質、器量

□**who knows what?** 誰にわかるだろうか ★修辞疑問文。= nobody knows

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	シュワルツェネッガーはアメリカの出身である。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	シュワルツェネッガーは、この記者会見で、出演映画の内容についてはほとんど語っていない。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	シュワルツェネッガーは、ハリウッドの労働組合での経験を政治家の資質としてアピールしている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	シュワルツェネッガーは、州知事選出馬の決断に2週間の時間しか取れず、家族や関係者とは十分な話し合いや相談ができなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	マスコミは、シュワルツェネッガーの今までのキャリアにとって、重要な助けとなってきた。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	シュワルツェネッガーは民主党員であるが、それ以前にカリフォルニア州民として立候補することを強調した。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	シュワルツェネッガーは、自ら知事になる専門知識はまだ十分ではないと認めながらも、行動力なら誰にも劣らないと自負している。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	シュワルツェネッガーの考えるカリフォルニア州の課題は、第一に企業を呼び戻すこと、第二に医療保険制度、第三に教育支援である。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	シュワルツェネッガーは、ストリートから子どもを引き離すために課外プログラムを提供したいと考えている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	シュワルツェネッガーは、知事に当選したら、俳優としての仕事もしばらく続け、様子を見ながら徐々に両立させていこうと考えている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	シュワルツェネッガーはアメリカの出身である。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	シュワルツェネッガーは、この記者会見で、出演映画の内容についてはほとんど語っていない。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	シュワルツェネッガーは、ハリウッドの労働組合での経験を政治家の資質としてアピールしている。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	シュワルツェネッガーは、州知事選出馬の決断に2週間の時間しか取れず、家族や関係者とは十分な話し合いや相談ができなかった。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	マスコミは、シュワルツェネッガーの今までのキャリアにとって、重要な助けとなってきた。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	シュワルツェネッガーは民主党員であるが、それ以前にカリフォルニア州民として立候補することを強調した。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	シュワルツェネッガーは、自ら知事になる専門知識はまだ十分ではないと認めながらも、行動力なら誰にも劣らないと自負している。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	シュワルツェネッガーの考えるカリフォルニア州の課題は、第一に企業を呼び戻すこと、第二に医療保険制度、第三に教育支援である。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	シュワルツェネッガーは、ストリートから子どもを引き離すために課外プログラムを提供したいと考えている。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	シュワルツェネッガーは、知事に当選したら、俳優としての仕事もしばらく続け、様子を見ながら徐々に両立させていこうと考えている。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

用語解説

as I said out there

★シュワルツェネッガーは、2003年8月6日に収録された NBC テレビのインタビュー番組『トゥナイト・ショー』（同日夜放映）でカリフォルニア州知事選への出馬を表明したが、この記者会見はその直後に行われた。

[▶本文に戻る](#)

Sacramento

サクラメント ★カリフォルニア州の州都。**moving to Sacramento** は、知事に当選した場合、現在住んでいるロサンゼルスからサクラメントに移り住むことになるということ。時事報道では、しばしば州都名が「州政府」の意で使われる。

[▶本文に戻る](#)

this kind of a combination

この種の組み合わせ ★その前に述べた「名前がわかりにくい、訛りがある、体に筋肉がつきすぎている」といった悪条件が重なっていることを指している。実際、シュワルツェネッガーは、ボディービルダーから俳優に転身したとき、映画初出演で主役をこなしたが、名字が長すぎるためアーノルド・ストロングという芸名に変えられ、訛りのせいでせりふも吹き替えられた。

[▶本文に戻る](#)

Proposition 49

提案49号 ★ **proposition** はカリフォルニア州などで住民投票の表決対象となる条例案のこと。49号はシェワルツェネッガー自身が発案者で、州立の小・中学校すべてを対象に課外プログラム導入のための助成金を交付するというもの。2002年に可決された。

[▶本文に戻る](#)

Terminator

ターミネーター ★シュワルツェネッガーが映画「ターミネーター」シリーズで演じている不死身のロボットの名前。『ターミネーター』（1984年）、『ターミネーター2』（'91年）、『ターミネーター3』（2003年）のシリーズ3作はいずれも大ヒットした。

[▶本文に戻る](#)

語注

start out as ~

～（という仕事）を始める

[▶本文に戻る](#)

venture

賭け、冒険的企て

[▶本文に戻る](#)

ally

協力者、味方

[▶本文に戻る](#)

sacrifice

犠牲

[▶本文に戻る](#)

discontinue

やめる、中断する、停止する

[▶本文に戻る](#)

all of those kind of things is

★正しくは all of those kinds of things are 。

[▶本文に戻る](#)

there was like endless amount of . . .

★ though there is an endless amount of . . . の意。endless は「終わりのない、果てしない、無限の」。

[▶本文に戻る](#)

race

選挙戦、競争

[▶本文に戻る](#)

announce

立候補を表明する

[▶本文に戻る](#)

campaign

（選挙）運動をする

[▶本文に戻る](#)

do it

成功する

[▶本文に戻る](#)

accent

訛り、外国訛り

[▶本文に戻る](#)

overdeveloped

発達すぎた、発達過剰の

[▶本文に戻る](#)

be up to ~

～次第だ、～の決めることだ

[▶本文に戻る](#)

pay ~ off

～にわいろを贈る、～を買収する

[▶本文に戻る](#)

special interest

特殊利益団体 ★特定の経済・産業分野に権益を有する組織・法人。この **interest** は「業界、大企業、関係者」といった意。
[▶ 本文に戻る](#)

sway

(～に) 影響を与える、傾かせる、ぐらつかせる
[▶ 本文に戻る](#)

bottom line

要点、結論、本質
[▶ 本文に戻る](#)

ballgame

状況、事情、事態
[▶ 本文に戻る](#)

altogether

まったく、すっかり
[▶ 本文に戻る](#)

the press

報道機関、記者団、マスコミ
[▶ 本文に戻る](#)

Democrat

民主党員
[▶ 本文に戻る](#)

Republican

共和党員
[▶ 本文に戻る](#)

straighten out ~

～(物事)を正しい状態にする、～を正す、～を是正する
[▶ 本文に戻る](#)

what it takes

能力、素質、器量

[▶本文に戻る](#)

governor

(アメリカの) 州知事

[▶本文に戻る](#)

know-how

専門知識、ノウハウ、特殊技能

[▶本文に戻る](#)

from here to eternity

★ = eternally、forever

[▶本文に戻る](#)

revenues

(特に税金による) 歳入、財源

[▶本文に戻る](#)

negative

思わしくない、報われない

[▶本文に戻る](#)

business-friendly

事業(主)に親切な ★ -friendly は「～に使い勝手がよい、～にとって快適な」の意の形容詞を作る接尾語。

[▶本文に戻る](#)

entertainment

エンターテインメント、娯楽

[▶本文に戻る](#)

tourism

観光

[▶本文に戻る](#)

agriculture

農業

[▶本文に戻る](#)

the bringing . . .

★ the は不要。

[▶本文に戻る](#)

is

★ it's のつもり。

[▶本文に戻る](#)

come up with ~

～を思いつく、～を考え出す

[▶本文に戻る](#)

initiative

イニシアチブ、州民発案、住民発議 ★一定数の有権者が賛成した場合に、有権者が条例の制定や修正を発案し、住民投票でその採否を決する制度。スイスや、アメリカの一部の州で行われている。

[▶本文に戻る](#)

the street

★「貧民街、裏社会」の意。the streets のほうが一般的。

[▶本文に戻る](#)

hanging

★ hanging around (ぐずぐずする、手をこまねいている) の意と思われる。

[▶本文に戻る](#)

put ~ aside

～を脇に置く、～を本題から外す

[▶ 本文に戻る](#)

who knows what?

誰にわかるだろうか ★修辭疑問文。= nobody knows

[▶ 本文に戻る](#)

be prepared to do

～する用意がある、～するつもりである

[▶ 本文に戻る](#)

put one's money where one's mouth is

口にしたことを行動で証明する、口先だけでなく実行する

[▶ 本文に戻る](#)



Meg Ryan & Jane Campion

写真：Photofest/ アフロ

「ラブコメの女王」が才人監督とともに挑戦した超話題作

Meg Ryan & Jane Campion

“I don’t have a huge relationship to the idea of me. An image, whatever it is.”

「私自身は自分がどんな女優であるかにはあまりかかわりがないの。どんなものであれ、そういうイメージにはね」

Supervising Editor’s Comment

ライアンの話し方は、気ままで快活、ユーモアとウィットの感覚にあふれています。素早く質問の核心をとらえ、気に入らない発言に対しては遠慮なく不快感と批判を口にします。カンピオンは、口調が一定で落ち着いています。この2人が脅し役となだめ役の警官コンビになったら、さぞうまくいくことでしょう。ライアンの発音は非常に「アメリカ的」である一方、カンピオンは出身地ニュージーランドのアクセントはあまり目立ちません。

Interview Data	
収録日	2003年10月6日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	速い
語彙	普通
発音	明瞭

メグ・ライアン／ジェーン・カンピオン
Meg Ryan/Jane Campion
メグ・ライアン
1961年11月19日、アメリカ・コネティカット州生まれ。『トップガン』（'86年）で注目を集め、『恋人たちの予感』（'89年）、『めぐり逢えたら』（'93年）、『フレンチ・キス』（'95年）などロマンティック・コメディーのヒロインとして人気を博す。
ジェーン・カンピオン
1954年4月30日、ニュージーランド・ウェリントン生まれ。『ピアノ・レッスン』（'93年）でカンヌ国際映画祭パルムドール受賞。
「アメリカの恋人」と呼ばれるキュートな女優メグ・ライアン。彼女が今までのイメージをかなぐり捨てたサスペンスドラマ『イン・ザ・カット』での演技について、そして「9.11」後のニューヨークでの撮影について、ジェーン・カンピオン監督とともに語る。

Director Jane Campion and lead actress Meg Ryan talk about their new film, [In the Cut](#). Meg tells us about [taking on](#) a role that is rather different from her former image as "America's [Sweetheart](#)." Both Ryan and Campion tell us about their views on relationships, careers, and filming in New York after [9/11](#).

Reporter: Meg, I'm wondering, what was your experience with [cops](#) before doing this film, and could you date a cop?

Meg Ryan: Hm, traffic cops. You know, I don't want to [rule anything out](#). I have almost no experience with cops at all. Have you?

Jane Campion: Um. Dated any [detectives](#)? No, but I did meet quite a few detectives while we were researching this story and, um . . . I don't know what to say. It's a [tribe](#), a tribe.

Reporter: What was the [emergence](#) of the *Klute* motif?

Campion: It was really an inspiration. I mean, our story was written by [Susanna Moore](#) originally, and it was a, um, anti-romantic love story inside a detective [genre](#). And, and *Klute* also was a combination of a romance story told through a, you know, detective genre [thriller](#).

Reporter: Well Meg, you can talk about just how important that rehearsal process was to you in establishing a [chemistry](#) between you and [Mark](#), and you and [Jennifer](#), and all of these relationships you had to . . .

Ryan: Yeah, it was important for that, and I think to hear what it was that Jane was really interested in exploring: these kind[s] of global ideas and [thematic](#) interests of hers and how characters serve those things, and, just spending time with one another for the actors is, was -- you know, completely great and fun.

And, it was great for me, too, 'cause I was there every day, so I saw how it, rehearsal, changed with every different actor who came in, and with such a different [expertise](#) and such a different way of approaching things, and . . . I learned a lot about other actors, actually, too.

And, we rehearsed the scenes, I mean, we talked a lot about the [erotic](#) scenes in the movie, and we talked a lot about what [intimacy](#) is, and grief, violence, I mean, as many of the ideas that this movie contains.

Reporter: This is a Meg Ryan we've never seen in a type of role like this before. Did you have any [trepidation](#) at all? Or just said, "OK. I'm [gonna](#) do this."

Ryan: Oh, no, I was [thrilled](#) about the idea of Jane and the material and the character and the totally different genre, I, you know. And actually, too, this sort of experiment with the style of acting that I hadn't experimented with before. And I mean just also shooting [here](#), I love shooting here. I love being here. So that was part of my [attraction](#) too.

Reporter: Sort of the opposite end of that question, is this more kind of a conscious attempt to kind of [redirect](#) maybe an image to the public?

Ryan: No. I don't, I don't think you can do -- I don't believe in [cultivating](#) image. I think an audience looks and sees the effort more than the intended result. I just don't [believe in](#) it.

And also, I don't have a huge relationship to the idea of me, you know? An image, whatever it is, I have -- when I'm in these rooms and going around talking about a movie and then talking to reporters, you know . . . "America's Sweetheart" doesn't come up in my life, except here.

Reporter: One of the relationships I found most interesting is actually between your character and Jennifer Jason Leigh's character, you know? They're sort of sisters but sort of not, and what they're bringing out of each other is very . . .

Ryan: Well, one of the things I thought was really curious about that relationship -- you know, obviously [it goes again to this as](#) a movie that's exploring intimacy in all kinds of different ways.

But the idea that they have almost the same roots in this emotionally violent or [dysfunctional](#), whatever, kind of childhood that they had, and they both came out like [gnarled](#) branches but different -- that she's so [available](#), and -- that [Pauline](#)'s so available, and that [Frannie](#) is so not. And that they're so opposite and yet so the same. It's just beautifully [constructed](#).

Reporter: One thing I also, I really loved about the film [that] we haven't seen in New York films in a long time -- it goes back to [Taxi Driver](#), films like that -- is the just kind of -- [y'know](#), the [fire hydrant](#) open, [kind of New York](#), you know, sort of [sleazy](#) dirty streets. It's sometimes you watch New York films you don't even recognize the place. You know? Uh . . .

Campion: Probably because it wasn't shot here.

Reporter: But this has that. Was that a particular thing for you that you just, you absolutely wanted to capture this aspect of the city?

Campion: Well, I have a producer who had an intent from the beginning, an extraordinary intent that was so important to us, and I'm so grateful to her now, that this film should, if at all possible, be shot a hundred percent in New York City.

And we came about six months after 9/11, and then, y'know, we were discussing what we should be doing and . . . I think in the end we felt it was even more important to come here and shoot and to support New York in our own way, by bringing work to the city -- especially to that part of the city that had been so [devastated](#) and, y'know, 'cause we were shooting around [Tribeca](#).

And, you know, it was interesting to come to New York as a person that didn't have to be in a high-[populated](#) area and choose to be living [amongst](#) everybody. It was an extraordinary time.

Reporter: One brief shot is not the site itself, around [the World Trade Center](#), but it's one of the buildings across . . .

Campion: Um.

Ryan: The [shrouded](#) building, it's on Canal Street.

Reporter: Yeah. Do you think the kind of the climate of 9/11 adds, even though the book obviously [predates](#) it, do you think it kind of adds to her kind of, sort of like [erotic downcycle](#) or, y'know, despair in a way ?

Campion: I wouldn't want to in any way [trivialize](#) the actual extraordinary grief and time of 9/11, 'cause I think grief is just totally so important.

Um, but at the same time, after careful thinking about it, we felt like there was a way we could just say, "Yes, we are shooting our film right now," and it could work and the [shroudedness](#) of the buildings kind of look like they're in [mourning](#). And I thought it was something we could [work, or go with](#).

Reporter: Meg, you've mentioned that you love being in New York. And here you [are in all black](#), lovin' it.

Ryan: Yeah baby!

Reporter: What -- tell me what are the differences between living on the two coasts?

Ryan: Um. I'm from here. I'm from [Connecticut](#). I went to college here. I've made a lot of movies here. And I always feel that my soul is [lined up](#) in all the right ways here. I love the people here. I love the [availability](#) of experience here. It's [endlessly](#) interesting to me. I have great friends here. I could just talk for another 20 minutes about that.

Reporter: Thanks.

Ryan: Thank you.

監督のジェーン・カンピオンと主演女優のメグ・ライアンが、新作映画『イン・ザ・カット』について語ります。メグは、「アメリカの恋人」というこれまでの彼女のイメージとはずいぶん違う役を演じたことについて話しています。ライアンもカンピオンも、人間関係、キャリア、そして「9・11」後のニューヨークでの撮影について、自分なりの意見を述べています。

【原文】[▶](#)

普遍性のあるアイデアとテーマ

 **DL**  **Track33**

記者： メグ、ちょっとお伺いしたいのですが、この映画に出演する以前、警官とかかわった経験はおありですか、また警官と付き合うなんていうことは考えられますか？

メグ・ライアン： うーン、交通整理の警官ぐらいならね。だって、どんな可能性でもありにしておきたいですもの。警官とかかわった経験はほとんどありませんけど。（カンピオンに向かって）あなたはある？

ジェーン・カンピオン： そうねえ。刑事と付き合ったことがあるかどうか？ いいえ、でもこの話のためにリサーチしていたとき、確かに相当な数の刑事さんとお会いしましたけど、ええと・・・ どう言ったらいいのかしら。警官というのは、種族、種族のようなものですね。

記者： 『コールガール』のモチーフはどこから出てきたのですか？

カンピオン： あの作品はまさにインスピレーションを与えてくれました。というのも、この話はスザンナ・ムーアの原作で、しかも刑事物に属する反ロマンチック・ラブストーリーなんです。そして『コールガール』も、いわば刑事物のスリラーを通して語られる恋愛物語という組み合わせでしたからね。

記者： さてメグ、あなたにとってリハーサル過程がどれだけ重要だったか、お話しいただけますか、あなたとマーク、そしてあなたとジェニファーとの間にいい雰囲気を作り上げるうえで、そして、そういった人間関係すべて（を作り上げるうえ）で・・・

ライアン： ええ、リハーサルはそうした（雰囲気作りの）点でも重要でしたし、ジェーンが本当に追求したいと思っているものが何なのか（ジェーン本人から）聞き出すためにもそうだったと思うわ、つまり、この種の普遍的な考えや、テーマに対するジェーン自身の関心、そして登場人物たちがそれらをいかに表現するかについて、それに、俳優たちにとってただお互い一緒に時間を過ごすということ、それは——とにかくものすごく素晴らしい、楽しいことでした。

それは私個人にとっても素晴らしいことだったの、というのも、私は毎日その場にいたので、現場に入る一人ひとりの俳優たちのおかげで、まったく異なる演技法や（役柄への）アプローチ法のおかげで、それが、リハーサルが変化していった様を目の当たりにしましたし、それに・・・ほかの俳優についても多くのことを学びましたね、実際。

そうして私たちは場面場面をリハーサルし、つまり、映画の中のエロティックな場面について大いに語り合い、（男女の）親密さとは、苦悩とは、暴力とは何か、とにかくこの映画が内包しているだけの数のテーマについて、とことん話し合いました。

【原文】▶

親密な関係を追求すること

DL **Track34**

記者：これ（『イン・ザ・カット』での役柄）は、今までこの手の役柄でわれわれが目にしたことがないメグ・ライアンです。不安はまったくありませんでしたか？あるいはただ、「オーケー。やるわ」とおっしゃったのですか？

ライアン：あら、いいえ、ジェーンのアイデアとこの題材と役柄、それにまったく別のジャンルに挑戦することにワクワクしました。それに本当のところ、これまでやったことのない演技スタイルを試すという、こういった実験も。そして、とにかくこの街（ニューヨーク）で撮影をするっていうだけでもね。ここで撮影するのは大好きなんです。ここにるのが大好きなの。だから、それもこの仕事に引かれた理由のひとつでした。

記者：今の質問を裏返しますと、これは、観客に対する（あなたの）イメージを別の方向に向けさせるような、より意図的とも言える試みなのでしょうか？

ライアン：いいえ。私は、そんなことができるとは思いません —— イメージを作り上げるなんてことができるとは思えないわ。観客には、こちらが意図した結果よりも、そうしようと頑張っている部分のほうが見えてしまうと思うんです。そういうこと（イメージの方向づけ）はとうてい無理だと思いますね。

それに、私はそもそも私（女優メグ・ライアン）の概念にはあまりかかわっていないんですよ。それがどんなものであろうが、イメージといったものにはね、私は —— こうした（取材用の）部屋に入って、いろいろな場所を回って、映画のことを話して、記者の方々と話をするときの・・・「アメリカの恋人」なんてことは、私の生活の中では出てこないんです、こういう場所以外ではね。

記者：私が一番面白いと思った人間関係のひとつは、実はあなたの役と（異母妹役の）ジェニファー・ジェyson・リーの役との関係です。彼女たちはある意味姉妹ですが、そうでもないとも言えて、彼女たちが互いに引き出し合うものというのは非常に・・・

ライアン：そうですね、2人の関係についてとても興味深いと思ったことのひとつは —— つまり、明らかにここでまた、ありとあらゆる方法で人間同士の親密さを掘り下げていくという、映画のテーマに戻っていくんです。

でも彼女たちが、ほとんど同じルーツを持ち、この感情面で暴力に満ちた、あるいは機能不全って言うのかしらね、そうした子ども時代を過ごし、2人そろってねじれた枝のように成長しながらも、似ていないということ —— 彼女はものすごく軽い女性で —— ポーリーンのほうは軽いのに、フラニーはまったくそうじゃないということ。彼女たちは正反対でありながら、非常に似通っているということ。そういったことがとにかく美しく組み立てられているんです。

【原文】[▶](#)

喪に服している建物

 [DL](#)  [Track35](#)

記者：また、この映画で本当にいいなと思うのは、ニューヨークを舞台にした映画で、長い間見ることができなかった部分なのですが—— それこそ『タクシードライバー』とかそういった映画までさかのぼらなくてはなりません—— なんていうか—— 消火栓が開きっ放しになっていたり、いかにもニューヨークっという感じの、みすばらしく、薄汚れた街角なんかです。（ほかの映画では）時にニューヨークを見ていながら、まったく見覚えのない場所だったりするわけですよ。その・・・

カンピオン：たぶん、そういった映画はここ（ニューヨーク）では撮影されていないからじゃないかしら。

記者：でも、この作品にはそれがあります。それは、あなたにとって特別なものだったのでしょうか、つまり、とにかく何としてもこの街のこの部分をとらえたかったという？

カンピオン：そうですね、この作品のプロデューサーには最初からある意図があり、その強い意図というのは私たちににとってとても大切なものでしたし、今となっては彼女に非常に感謝しているのですが、それは、この映画が、もしも可能であるならば、**100**パーセント、ニューヨーク市で撮影されるべきだ、というものでした。

私たちがこれに着手したのは「9・11」から半年ほど経ったところで、そのころ私たちはこれからどうすべきかを話していて・・・最終的に私が感じたのは、ここに来て撮影を行い、私たちなりにこの街に仕事をもたらすことでニューヨークを応援することのほうが大事だという思いでした—— 特にこの街の中でも一番被害の大きかった地域に、ということですね、そして、そう、なにしろ私たちはトライベッカ周辺で撮影をしていましたから。

それに、人口密度の高い地域で人々に囲まれて暮らす必要がなかった（私のような）人間にとって、ニューヨークに来るということは面白かったですね。素晴らしい時間を過ごしました。

記者：ある短い場面では、例の現場そのもの、世界貿易センター周辺ではありませんが、向かい側にあるビルのひとつで・・・

カンピオン：ええ。

ライアン：あの覆いをかけられた建物、あれはキャナル・ストリートにあるのよね。

記者：そうです。「9・11」の例の雰囲気が付け加えていると、原作本が出たのは確かにあれ以前ではありますが、いわば、それが彼女（主人公）にある種の墮落や、その、ある意味で絶望感のようなもの・・・を付加していると思われませんか？

カンピオン：私は「9・11」という、現実存在したとてつもない悲しみと時間を、どういった形であれ、わい小化したいとはゆめにも思いませんでした。なぜなら、悲しみというものはとにかくものすごく大切なものだと思うからです。

ですがそれと同時に、よく考えてみると、「ええ、私たちは今、この時期に映画を撮影しているんですよ」と言うことのできる方法があるような気もして、それが良いほうに働き、あの建物の覆いをかけられた状態がまるで喪に服しているように見えるのではないかと思いました。そして、それは許されることだったのではなかったかと思います。

記者：メグ、ニューヨークにすることが大好きだとおっしゃいましたね。そして、今あなたはこうして黒ずくめのニューヨークファッションで楽しんでいらつしやいます。


ライアン：そうですね！

記者：どんな—— 東海岸と西海岸の両方で暮らしてみて、どんな違いがありますか？

ライアン：そうですね。私は東海岸出身です。コネティカット州生まれです。ここで大学に通いました。ここでたくさんの映画を作りました。それに、ここではいつも私の魂が本来あるべき方向に向けられていると感じるんです。ここの人々が大好きです。ここではいろいろな経験ができるのも大好き。私にとって興味の尽きない場所ですね。ここには素晴らしい友人たちがいますし。それについては、あと**20**分でも話し続けることができますよ。

記者：ありがとうございました。

ライアン：どうもありがとう。

[【原文】](#) 

Vocabulary List

A

- amongst ★ = among
- attraction 人の心を引きつける物・点
- availability 利用できること、有効性
- available 簡単に口説ける、落としやすい

B

- believe in ～ ～が存在すると信じる、～が真実であると思う

C

- chemistry （人との）相性、不思議な力
- construct 構築する、構成する
- cop 警官、お巡りさん ★口語。
- cultivate 養う、育てる

D

- detective 刑事、捜査官
- devastate 徹底的に破壊する、くじけさせる、打ちのめす
- dysfunctional 機能障害の、機能不全の

E

- emergence 出現、浮上
- endlessly 果てしなく、際限なく
- erotic エロティックな、性欲をかき立てる
- expertise 熟練の技、専門知識

F

- fire hydrant 消火栓

G

- genre ジャンル、種類、類型
- gnarled ひねくれた、曲がった、ねじれた
- gonna ★ = going to

I

- intimacy 親密、肉体関係

L

- line up ～ ～を一行に並べる

M

- motif モチーフ ★小説などで繰り返し再現される題材。
- mourning 哀悼の意を表すこと

P

- populate （～の）人口を形成する、占める
- predate （～より）前にさかのぼる、（～に）先立つ

R

- redirect 向け直す、（～の）方向を変える
- rule ～ out ～の可能性を排除する、～を不可能にする ★ = exclude ～

S

- shroud 覆う、包み隠す ★名詞としては「死体を覆う布」を指す。
- sleazy 汚らしい、みすぼらしい、荒れ果てた
- sweetheart 恋人

T

- take on ～ ～を引き受ける、～を担う
- thematic 主題に関する、テーマの
- thrilled そくそくした、大喜びの
- thriller スリラー物、推理小説
- trepidation 恐怖、不安
- tribe 種族、（共通の特徴・利害関係を持つ）連中、階級
- trivialize わい小化する

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ライアンは彼女の新作映画とモデルとしての仕事について語っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ライアンのこれまでのイメージは「アメリカの恋人」である。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	この映画 <i>In the Cut</i> は、刑事事件にまつわる楽しいコメディである。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	<i>In the Cut</i> を作るにあたっては、出演者同士でそのテーマについてとことん話し合った。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	ライアンは <i>In the Cut</i> で、今までとは違った役柄を演じるということで、出演についてはかなり躊躇した。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<i>In the Cut</i> のテーマは「人間同士の親密な関係」である。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	<i>In the Cut</i> に登場する姉妹2人は正反対の性格で、共通点はまったくない。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	<i>In the Cut</i> をニューヨークで撮影するというのは、監督カンピオンの考えで、プロデューサーはそれに強く反対した。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	カンピオンは「9・11」後のニューヨークの風景を撮影に使うに際して、事件を想起させるような建物を使うことをあえて避けなかった。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	ライアンは、東海岸での生活はいろいろな経験ができて気に入っているが、大学が西海岸だったため友人があまりこちらにいないのが寂しい、と述べている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え 

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ライアンは彼女の新作映画とモデルとしての仕事について語っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	ライアンのこれまでのイメージは「アメリカの恋人」である。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	この映画 <i>In the Cut</i> は、刑事事件にまつわる楽しいコメディである。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	<i>In the Cut</i> を作るにあたっては、出演者同士でそのテーマについてとことん話し合った。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	ライアンは <i>In the Cut</i> で、今までとは違った役柄を演じるということで、出演についてはかなり躊躇した。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	<i>In the Cut</i> のテーマは「人間同士の親密な関係」である。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	<i>In the Cut</i> に登場する姉妹2人は正反対の性格で、共通点はまったくない。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	<i>In the Cut</i> をニューヨークで撮影するというのは、監督カンピオンの考えで、プロデューサーはそれに強く反対した。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	カンピオンは「9・11」後のニューヨークの風景を撮影に使うに際して、事件を想起させるような建物を使うことをあえて避けなかった。	C	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	ライアンは、東海岸での生活はいろいろな経験ができて気に入っているが、大学が西海岸だったため友人があまりこちらにいないのが寂しい、と述べている。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

用語解説

In the Cut

『イン・ザ・カット』 ★アメリカ映画（2003年）。監督ジェーン・カンピオン。猟奇的殺人事件現場に居合わせたフラニー（ライアン）が、参考人として刑事マロイ（マーク・ラファロ）から事情聴取を受けるうちに事件に巻き込まれていく。

[▶本文に戻る](#)

9/11

★2001年9月11日に起こった、アメリカ同時多発テロ事件。

[▶本文に戻る](#)

Klute

『コールガール』 ★アメリカ映画（1971年）。監督アラン・J・バクラ、出演ドナルド・サザーランド、ジェーン・フォンダ。失踪した友人を探すためにニューヨークを訪れた男が、鍵を握る売春婦とともに事件の全容に迫る。『イン・ザ・カット』の制作にあたって、カンピオンはこの作品から影響を受けたと発言している。

[▶本文に戻る](#)

Susanna Moore

スザンナ・ムーア ★アメリカの作家。『イン・ザ・カット』の原作者で、この映画の脚本も手がけている。

[▶本文に戻る](#)

Mark (Ruffalo)

マーク（・ラファロ） ★（1967-）。俳優。アメリカ・ウィスコンシン州出身。出演作に『ラスト・キャッスル』（2001年）、『ウィンドトーカーズ』（'02年）など。

[▶本文に戻る](#)

Jennifer (Jason Leigh)

ジェニファー（・ジェイソン・リー） ★（1962-）。女優。アメリカ・カリフォルニア州出身。出演作に『ルームメイト』（'92年）、『未来は今』（'94年）、『ショート・カツツ』（'94年）など。

[▶本文に戻る](#)

Pauline

ポーリーン ★ジェイソン・リーが『イン・ザ・カット』で演じる、フラニー（次の項目参照）の仲の良い異母妹。

[▶本文に戻る](#)

Frannie

フラニー ★ライアンが『イン・ザ・カット』で演じる主人公。ニューヨークにある大学の文学講師。

[▶本文に戻る](#)

Taxi Driver

『タクシードライバー』 ★アメリカ映画（1976年）。監督マーティン・スコセッシ、出演ロバート・デ・ニーロ、ジョディ・フォスター。ニューヨークを舞台に、大都会の闇と狂気を描いた作品。

[▶本文に戻る](#)

kind of New York

ニューヨークみたいな ★『タクシードライバー』が制作された '70年代のニューヨークは、治安が急激に悪化し、観光収入が激減。これに対し、州当局はさまざまなキャンペーンを打ち出し、イメージ改善に努めた。ここでは、イメージアップに着手する以前のニューヨークの雰囲気が本作では描かれている、と言おうとしていると思われる。

[▶本文に戻る](#)

Tribeca

トライベッカ ★ニューヨークの一地区で、Triangle below Canal Street（キャナル・ストリート下の三角形）を短縮した呼び名。TriBeCa とつづることもある。マンハッタン南西部に位置する、キャナル・ストリート、ブロードウェイ、ハドソン河岸に囲まれた三角地帯。世界貿易センターがあつたウォール街の北に位置する。

[▶本文に戻る](#)

the World Trade Center

世界貿易センター ★マンハッタンの金融街にある7つのビルの総称。2001年9月11日のアメリカ同時多発テロ事件では、同センターの象徴だったツイン・タワーがテロ攻撃の標的となり、倒壊した。

[▶本文に戻る](#)

be in all black

★全身黒で統一するのがニューヨークのひとつの典型的スタイルとされている。

[▶本文に戻る](#)

Connecticut

コネティカット州 ★アメリカ北東部の州。ニューヨーク州に隣接している。コネティカットに居を構えてマンハッタンに通勤する人も多い。

[▶本文に戻る](#)

語注

take on ~

～を引き受ける、～を担う

[▶本文に戻る](#)

sweetheart

恋人

[▶本文に戻る](#)

cop

警官、お巡りさん ★口語。

[▶本文に戻る](#)

rule ~ out

～の可能性を排除する、～を不可能にする ★ = exclude ~

[▶本文に戻る](#)

detective

刑事、捜査官

[▶本文に戻る](#)

tribe

種族、（共通の特徴・利害関係を持つ）連中、階級

[▶本文に戻る](#)

emergence

出現、浮上

[▶本文に戻る](#)

motif

モチーフ ★小説などで繰り返し再現される題材。

[▶本文に戻る](#)

genre

ジャンル、種類、類型

[▶本文に戻る](#)

thriller

スリラー物、推理小説

[▶本文に戻る](#)

chemistry

（人との）相性、不思議な力

[▶本文に戻る](#)

thematic

主題に関する、テーマの

[▶本文に戻る](#)

expertise

熟練の技、専門知識 ★ここでは「演技力」などを指す。

[▶本文に戻る](#)

erotic

エロティックな、性欲をかき立てる

[▶本文に戻る](#)

intimacy

親密、肉体関係

[▶本文に戻る](#)

trepidation

恐怖、不安
[▶ 本文に戻る](#)

gonna

★ = going to
[▶ 本文に戻る](#)

thrilled

ぞくぞくした、大喜びの
[▶ 本文に戻る](#)

here

★ニューヨーク市のこと。
[▶ 本文に戻る](#)

attraction

人の心を引きつける物・点
[▶ 本文に戻る](#)

redirect

向け直す、（～の）方向を変える
[▶ 本文に戻る](#)

cultivate

養う、育てる
[▶ 本文に戻る](#)

believe in ～

～が存在すると信じる、～が真実であると思う
[▶ 本文に戻る](#)

it goes again to this as

★ this relates to the idea of、as I said before, this is といった意味。
[▶ 本文に戻る](#)

dysfunctional

機能障害の、機能不全の
[▶ 本文に戻る](#)

gnarled

ひねくれた、曲がった、ねじれた
[▶ 本文に戻る](#)

available

簡単に口説ける、落としやすい
[▶ 本文に戻る](#)

construct

構築する、構成する
[▶ 本文に戻る](#)

y'know

★ = you know

[▶ 本文に戻る](#)

fire hydrant

消火栓

[▶ 本文に戻る](#)

sleazy

汚らしい、みすぼらしい、荒れ果てた

[▶ 本文に戻る](#)

devastate

徹底的に破壊する、くじけさせる、打ちのめす

[▶ 本文に戻る](#)

populate

(～の) 人口を形成する、占める ★ high-populated で「人口密度の高い」の意。highly populated、densely populated、heavily populated などの言い方のほうが一般的。

[▶ 本文に戻る](#)

amongst

★ = among

[▶ 本文に戻る](#)

shroud

覆う、包み隠す ★ 名詞としては「死体を覆う布」を指す。

[▶ 本文に戻る](#)

predate

(～より) 前にさかのぼる、(～に) 先立つ

[▶ 本文に戻る](#)

erotic downcycle

★ 記者の造語で「(性的な) 不道德心」や「墮落」を指すと思われる。downcycle は経済などの「下降サイクル」という意味。

[▶ 本文に戻る](#)

trivialize

わい小化する

[▶ 本文に戻る](#)

shroudedness

★ 「覆いをかけられている状態・様子」の意。

[▶ 本文に戻る](#)

mourning

哀悼の意を表すこと

[▶ 本文に戻る](#)

work, or go with

★ 文法的に正しくは work with, or go with となる。ここでは handle、accept などの意。

[▶ 本文に戻る](#)

line up ~

～を一列に並べる

[▶ 本文に戻る](#)

availability

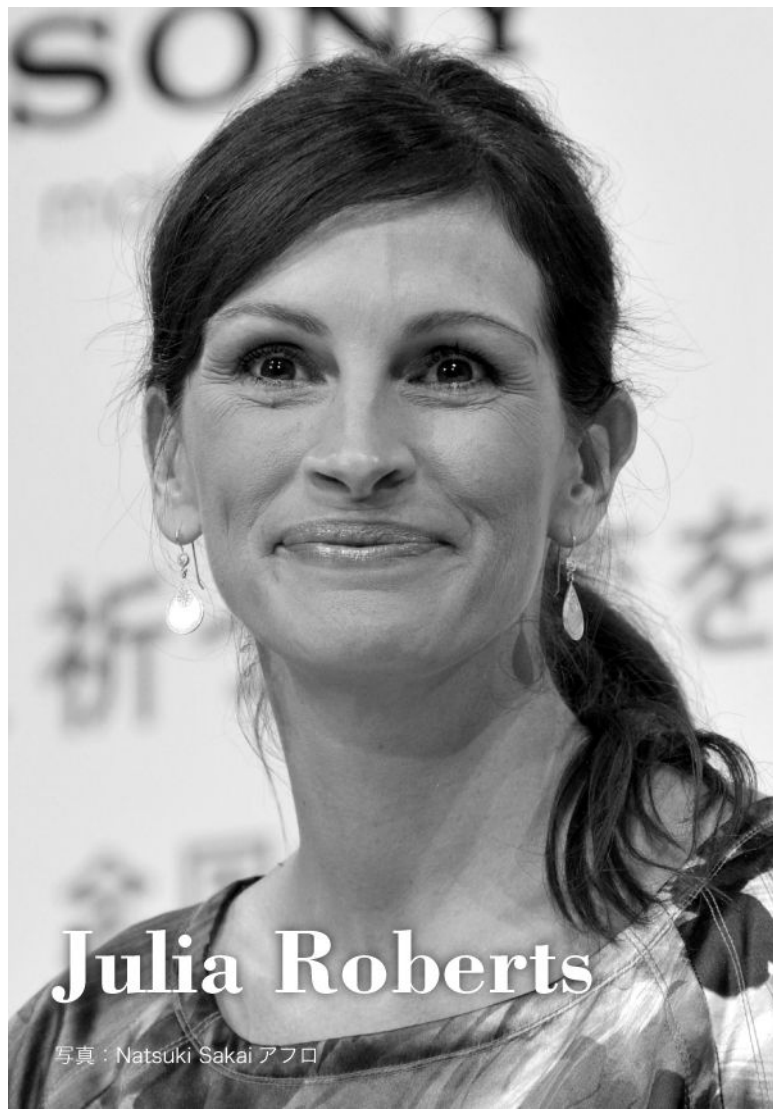
利用できること、有効性

[▶ 本文に戻る](#)

endlessly

果てしなく、際限なく

[▶ 本文に戻る](#)



Julia Roberts

写真：Natsuki Sakai アフロ

Julia Roberts

“I would just say that to really enjoy what you do, to do it because you enjoy it.”

「とにかく、演じることを心から楽しんでと言いたいわ、楽しいからやるんだっていうことね」

Supervising Editor's Comment

ロバーツは元来とてもユーモアのセンスがありますが、このインタビューの質問は皆まじめなものなので、彼女もまじめに答えています。そのせいか、普段の記者会見より少々クールな印象を受けます。彼女の発音は歯切れがよく、言葉遣いは完璧かつ明快で、付いていくのも簡単です。彼女はニュースキャスターたちがうらやましがるようなタイプの声をしており、きつといいアンカーウーマンにもなれるでしょう。

Interview Data	
収録日	2003年12月7日
収録地	ロサンゼルス（アメリカ）
スピード	普通
語彙	普通
発音	明瞭

ジュリア・ロバーツ
Julia Roberts
1967年10月28日、アメリカ・ジョージア州生まれ。父親は元俳優で、兄と姉も俳優。高校卒業後、ニューヨークに出て演技の勉強をする。『ミスティック・ピザ』（'88年）、『マグノリアの花たち』（'89年）などで注目を集め、『プリティ・ウーマン』（'90年）の大ヒットで一躍トップスターになる。『エリン・ブロコビッチ』（2000年）でアカデミー主演女優賞受賞。ハリウッドを代表する女優ジュリア・ロバーツ。2003年の映画『モナリザ・スマイル』で、保守的な'50年代の女子大に新風を吹き込む教師を演じた彼女が、その時代の良さ、結婚生活、そして自らのキャリアの転換点になった作品について、明快な口調で語る。

Julia Roberts is the biggest female star in Hollywood, and in [*Mona Lisa Smile*](#) she leads [a cast of ingénues](#). Here she talks about playing the veteran, working with the next generation, and maintaining a successful marriage in [Hollywood](#).

Sense of Continuity

DL Track38

用語解説 語注

Reporter: Julia, do you feel like you're finished playing the ingénue and entering a more adult phase in your career now?

Julia Roberts: Well, in that I've been an adult for many years, yeah. I mean, I see the adult phase of my career having gone on for quite some time.

Reporter: What would you [pinpoint](#) as the [transition](#)?

Roberts: I probably wouldn't pinpoint a transition, I would just say that I think [it's existed](#) before being in a movie with a group of young girls, which seems to [illustrate](#) my age more clearly to everybody.

Reporter: [We talked about](#) the traditions and the [mind-set](#) of the 50's and this generation, almost as if a bad thing -- we're so proud we've overcome now -- the world's a very complex place today. And I'm wondering if you think there may be some, maybe one or two little elements of that time that'd be kind of nice to have back here and so . . .

Roberts: Oh, I completely agree with that. And I, I think that it's not so much that it was bad, it was just limited -- not wrong, just smaller somehow. But I think that certainly the ideas of certain traditions and a certain sense of [continuity](#) is glorious when you apply it to life.

And I think certainly the 50's and [this particular school](#) represented certain types of loyalty to tradition that should be greatly [appreciated](#). I mean even now they still have like the [hoop rolling](#), which is so [gay](#) and fun and I think really brings everybody together. [The outcome is different now](#). They say if you are the first one to win, you're the first one to become a [CEO](#) of your company, or something. They've sort of changed it and made it fit a more modern time. But I think that's [sweet](#) that they still do something like that, you know, that it's not so serious.

translation ▶

Reporter: Julia, you've -- are at the top of your field, and you still have a successful marriage. How challenging is that?

Roberts: Um . . . well, it's not, I mean, it's relatively -- in my experience -- there's a real ease to it, but I think in part because I've been able to have a lot of great career opportunities and [build on](#) them over a long period of time. And so, the kind of attention or maintenance or focus that I give to my career, as it were, can be very [sporadic](#), and very of my choosing. So I'm really fortunate in that way. So I can really devote myself to my family in a way [that's, becomes](#) very [effortless](#) and isn't a conflict and that doesn't make me feel [torn](#).

But I also know that I'm in a very, um, fortunate position, 'cause I know a lot of people, it's not as easy, just [by virtue of](#) the fact that, you know, there's so much of a time and energy demand of work and of a relationship, and it can be a lot more [taxing](#) just to keep it all balanced.

Reporter: Julia, [what did you learn about art?](#) What did you learn about art, and then, where does film fit into the art world?

Roberts: Well, I don't know that I could say that I learned about art [per se](#). I mean, I find art, if you're talking about the art of painting, I find that very fascinating and a very timeless medium for expression.

And I like the way that it's applied in this particular film. I like the pieces that we chose and the way that they're used as kind of waking the girls up in a way and having them [challenge](#) their ideas of what's beautiful and what's interesting, and . . . Is that answering your question on any level?

translation ►

Reporter: Can you talk a little bit about working with the younger actresses in this. Because obviously you've been [in their shoes](#), not too long ago. I'm sure none of them actually come over to you and ask you for advice, but I mean, what would you say to someone who's in their early 20's and is just kind of breaking into Hollywood right now? What would you say to them at this point?

Roberts: I would just say that to really enjoy what you do, to do it because you enjoy it, and . . . Because that's what I think [sustains](#) you over -- if you're fortunate enough to work for long periods of time and have a career of it to have that based on a foundation of just really having an unbelievable joy attached to getting to act and perform and create a character. 'Cause that's a real sustaining force, I think, over time, or even a long day. It's something that will support you.

Reporter: Is there a choice that you made that you really, in terms of your career, that you really [swum against the tide](#) to do and came out [victorious](#)? And, what is that process like for you in terms of the choices that you make for yourself?

Roberts: Well, I think that, probably the choice that I made that had the biggest impact on my career and the way I felt I possessed control of my career was really after [Pretty Woman](#) and the success of that movie. And just a lot of the [scripts](#) that I read I felt were really [uninteresting](#) and sort of [tedious](#) and not well-written, fully-realized women parts, or at that time girl-women parts, and so I started just passing on everything.

And what started off as just me thinking, "Well I'll just wait for something good," turned into an over-two-year wait. And I didn't want to [give in to](#) the panic of, "They're gonna stop asking me to do movies because I'm just the [picky](#) girl in the corner who keeps saying no to everything." And I really at a certain point thought, "Well, if I don't [make a stand](#) now for what I am looking for, when will I ever be able to?" And I think that really made me feel, um, just a strength within myself to stand up for not wanting to work just because I was being asked to work.

And then I waited around long enough and [Alan Pakula](#) came and asked me to do [\[The\] Pelican Brief](#), and that was a really fully-realized experience for me. It made me feel that I had made a very good decision in not doing the things that I hadn't done, and then in choosing to do that, and it was a great [reintroduction](#) into movies. And he was one of the first people that I worked with that had written the script, and he was so brilliant in the way that he really [took me under his wing](#) and helped me in that experience of making that film. It really had an impact on me.

translation ▶

Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndiation
Narrated by Gary Scott Fine

ジュリア・ロバーツはハリウッドで最もビッグな女性スターであり、『モナリザ・スマイル』では若手女優陣をリードしています。ここでは、ベテランとしての役割を果たすこと、次世代の俳優たちと仕事をする事、そしてハリウッドで幸せな結婚生活を維持することについて話しています。

【原文】[▶](#)

'50年代の魅力とは？

 [DL](#)  [Track38](#)

記者：ジュリア、もはや純情な娘役を演じる時期は過ぎ、ご自身のキャリアの中でもっと大人の女性を演じる局面を迎えていると思われませんか？

ジュリア・ロバーツ：それは、私が大人になってからもう何年も経っていることを考えると、ええ。つまり、私のキャリアはずいぶん前から大人の時代に入っていると思っています。

記者：具体的に、どの作品から切り替わったと思われませんか？

ロバーツ：どの作品とは特定はしませんが、ただ、若い女性陣と映画で共演する以前からそうになっていたとだけ申し上げたいですね、そういう映画では私の年齢が皆さんの目により際立って映るようですが。

記者：先ほど'50年代の伝統や思考様式、そしてこの世代全体が、ほとんど悪いものであったかのような話がありましたが—— 私たちが現在はそれを乗り越えることができて誇りに思うという—— 世界は今、非常に複雑な場所になっています。そこで、当時のちょっとした要素の中でいくつか、例えばひとつふたつくらい、今でもあつたらいんじゃないかというものはあると思われませんか・・・

ロバーツ：あら、それはまったくそのとおりだと思います。それに、あの時代がそれほど悪かったというのではなく、単に制約が多かっただけ—— 間違っていたのではなく、窮屈だっただけだと思います。ですが、もちろんある種の伝統の中にある考え方や、ある種の継続性は、生活の中で実践すると素晴らしいものだと思います。

それにももちろん'50年代、そしてとりわけこの学校は、ある種の伝統に対する忠誠を体現していたのであって、そうしたものは高く評価されるべきだと思います。なにしろあの学校ではいまだに輪回し競争が行われていて、それはとても陽気で楽しい行事で、本当にみんなをひとつにするものなんです。輪回し競争の結果は今は違うんですよ。最初に勝った人は誰よりも早く自分の会社の代表取締役になれる、とかそういうふうに言うんです。少し修正を加えて、現代という時代に合うようにしているんです。でも、今でもそういったことを続けているのはすてきだと思いますよ、あまり深刻なものじゃなくね。

【原文】[▶](#)

仕事と家庭のバランス

 [Track39](#)

記者：ジュリア、あなたは —— ご自身の分野でトップに立っておられますが、なおかつ幸せな結婚生活を維持していらっしゃる。それはどれくらい難しいことなんでしょうか？

ロバーツ：うーん・・・そうですね、それはさほど、つまり、比較的 —— 私の経験では —— とても楽なことなんです。でもそれも、ひとつには私がこれまで多くの素晴らしい仕事の機会に恵まれてきたうえ、そうした機会を足場に長年やってこられたからだと思います。ですから、自分のキャリアに注意を払ったり、それを管理したり、それに集中したりといったことは、言ってみれば時々でよくて、私自身に選択が委ねられている面が大きいわけです。そういう意味で、私は非常に恵まれています。ですから、ある意味私はしっかり家庭生活に専念できます。さほど努力も要りませんし、葛藤が起こったり、私自身が引き裂かれるような思いをすることもないんです。

でも私は自分が、なんというか、ものすごく恵まれた立場にあることもよくわかっていますし、多くの人にとってそう簡単にはいかないことも知っています。仕事と人間関係には、多大な時間とエネルギーを要するのが現実ですし、それらを両立させていくだけでもさらに骨が折れることですから。

記者：ジュリア、美術についてどんなことを学ばれましたか？ 美術について何を学ばれ、その上で、映画というのは芸術界の中でどのような位置を占めると考えられますか？

ロバーツ：そうですね、美術そのものについて私が何かを学んだと言えるかどうかはわかりません。つまり、美術というのは、もしも絵画についておっしゃっているのであればですが、非常に魅力的なものだと思いますし、まさに時代を超越した表現方法だと思います。

そして、この映画における絵画の扱われ方は好きですね。私たちが選んだ作品が好きですし、それらの絵画がある意味で女子学生たちを目覚めさせ、美しさとは何か、面白いものとは何かについて自分たちの考え方を見直させる点が気に入っていますし・・・これですごく質問の趣旨に沿った答えになっているかしら？

[【原文】▶](#)

キャリアを築くということ

 [DL](#)  [Track40](#)

記者：この映画で若手女優の皆さんと共演していることについて少し話していただけますか。というのも、当然、少し前までは、あなたもその位置にいらしたわけですから。直接アドバイスを聞きにくる人はいないと思いますが、でも、**20代前半の**、まさにこれからハリウッドでやっていこうとしているような人に対して何と言ってあげたいですか？ この時点で何かアドバイスはありますか？

ロバーツ：とにかく言いたいのは、自分がやっていることを心から楽しんでほしいということですね、楽しいからやるということ、そして……。なぜなら、それこそが支えとなるものだと思いますから——もし幸運にも長く働き続けることができ、キャリアを築くことができるなら、それを、演技をしたり、人物像を創造したりするということに付随する、信じ難いほどの喜びという土台の上に築くことです。なぜなら、それが本当に自分を支えてくれる力だと思うからです、長い期間、あるいは長い一日でさえもね。それこそが自分の支えとなるものなんです。

記者：ご自分のなさった選択の中で本当に、ご自分のキャリアという点から考えて、流れに逆らってやってみた結果、大成功を収めたというものはありましたか？　そして、ご自身のための選択をなさるうえでプロセスとはどのようなものですか？

ロバーツ：そうですね、おそらく、私のキャリアに一番影響を与え、そして自分のキャリアを自らコントロールできるようになったと感じた選択は、『ブリティ・ウーマン』の後、まさにこの映画が大ヒットした後でしょうね。私が読んだ脚本の多くは本当につまらなくて、退屈で、うまく書かれていない、十分描き切られていない女性の役柄、当時は若い女性の役柄ですね、そういうふうに感じたものですから、全部見送るようになりました。

最初は単に、自分の中で「いい脚本が来るのを待とう」と思って始めたことが、結果的には2年以上のブランクとなりました。でも、「そのうち誰も出演を依頼してこなくなる、だって私は隅っこに引っ込んで何にでも嫌だって言うただの選り好み女なんだから」といったパニックには陥りなくなかったんです。そしてある時点で心底思ったのは、「でも、今自分がやりたいと思うもののために闘わなかったら、いったいいつ闘えるの？」ということでした。そして、単に仕事を頼まれたからというだけの理由では働きたくないという思いのために立ち上がることで、自分の中で、なんというか、力がわき上がってくるのを感じましたね。

それからもずいぶん長い間待ち続けた結果、アラン・バクラ監督がいらして、『ペリカン文書』をやらないかと言ってくださったのですが、あれは私にとって、本当に完璧な経験でした。それまでいろいろな話を断ってきた後にあの映画を選んだのはわれながらとてもいい選択だったと思えましたし、映画の仕事への仕切り直しとしては最適の作品でした。それにバクラ監督は、脚本も自ら手掛ける監督の中で私が初めて一緒に仕事をした方のおひとりで、真の意味で私の庇護者となり、あの映画の制作にかかわる中で私を助けてくださったという意味において、本当に素晴らしい方でした。あの映画は、本当に私に大きな影響を与えてくれましたね。

【原文】[▶](#)

Vocabulary List

A

- **a cast of** ～ ～の一团
- **appreciate** 正しく認識する、高く評価する、称賛する

B

- **build on** ～ ～を当てにする、～を足場にする
- **by virtue of** ～ ～のおかげで

C

- **CEO** 最高経営責任者 ★ = Chief Executive Officer
- **challenge** (事実・正当性などを)疑う、問題にする
- **continuity** 連続性、継続性

E

- **effortless** 努力を要しない

G

- **gay** 陽気な、楽しい
- **give in to** ～ ～に屈する、～に従う

H

- **Hollywood** ハリウッド、米国映画界

I

- **illustrate** 説明する、例証する
- **in one's shoes** 人の立場に身を置いて
- **ingénue** 無邪気な少女、純情な娘役の女優 ★フランス語。= innocent girl

M

- **make a stand** 踏んばる、抵抗する
- **mind-set** 物の見方、考え方、思考様式

P

- **per se** それ自体は
- **picky** 選り好みする、細かいことにこだわる、気難しい
- **pinpoint** 正確に指摘する、具体的に例を挙げる

R

- **reintroduction** 再導入

S

- **script** 脚本、台本
- **sporadic** 散発的な、時々起こる
- **sustain** 支える、支持する
- **sweet** ★ = nice
- **swim against the tide** 大勢に逆らう、世間の風潮に逆らう

T

- **take A under one's wing** Aを庇護する、Aを世話する
- **taxing** 苦勞の多い、ひどく骨の折れる ★ = trying、stressful、difficult
- **tedious** 退屈な
- **transition** 転換、移行

U

- **uninteresting** つまらない

V

- **victorious** 勝利を得た

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ロバーツは、インタビューの中で、家庭の主婦としての日常生活についてもいろいろと述べている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ロバーツは、インタビューの中で、自分の子ども時代の教師については語っていない。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ロバーツはいまだに若い女性の役を演じる傾向にある	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ロバーツはこの映画 <i>Mona Lisa Smile</i> の時代背景である1950年代の伝統や考え方については、強い反感を持っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	自分が幸せな結婚生活を維持できるのは、何よりも夫の理解と協力があるためだ、とロバーツは説明している。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ロバーツは、仕事に恵まれているため、それほど努力をしなくても家庭生活に専念できる、と言う。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	<i>Mona Lisa Smile</i> の役作りために、ロバーツは自ら絵を描く勉強に励んだ。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	ロバーツは若手女優に対して、「脚本の面白くない映画の出演は見送るべきだ」とアドバイスしている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	映画 <i>Pretty Woman</i> のヒットで、ロバーツは、一見つまらなそうな脚本でもやってみる価値があると思うようになった。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	脚本の選り好みをしたにもかかわらず、ロバーツが、すぐに <i>The Pelican Brief</i> のような映画の出演を選べたのは幸運だった。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ロバーツは、インタビューの中で、家庭の主婦としての日常生活についてもいろいろと述べている。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	ロバーツは、インタビューの中で、自分の子ども時代の教師については語っていない。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ロバーツはいまだに若い女性の役を演じる傾向にある	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
4	ロバーツはこの映画 <i>Mona Lisa Smile</i> の時代背景である1950年代の伝統や考え方については、強い反感を持っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	自分が幸せな結婚生活を維持できるのは、何よりも夫の理解と協力があるためだ、とロバーツは説明している。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	ロバーツは、仕事に恵まれているため、それほど努力をしなくても家庭生活に専念できる、と言う。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	<i>Mona Lisa Smile</i> の役作りために、ロバーツは自ら絵を描く勉強に励んだ。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	ロバーツは若手女優に対して、「脚本の面白くない映画の出演は見送るべきだ」とアドバイスしている。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
9	映画 <i>Pretty Woman</i> のヒットで、ロバーツは、一見つまらなそうな脚本でもやってみる価値があると思うようになった。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	脚本の選り好みをしたにもかかわらず、ロバーツが、すぐに <i>The Pelican Brief</i> のような映画の出演を選べたのは幸運だった。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

用語解説

Mona Lisa Smile

『モナリザ・スマイル』 ★アメリカ映画（2003年）。監督マイク・ニューウェル。出演ジュリア・ロバーツ、キルスティン・ダンスト、ジュリア・スタイルズほか。良妻賢母が女性のあるべき姿とされていた1950年代を舞台に、名門女子大学で女子学生の意識改革を図る新米美術教師（ロバーツ）の姿を描く。

[▶本文に戻る](#)

We talked about . . .

★紙面の都合でカットしたが、この質問の前に '50年代のアメリカのマイナス面に触れる発言があった。

[▶本文に戻る](#)

this particular school

特にこの学校 ★『モナリザ・スマイル』の舞台となっているウェルズリー大学は、アメリカ東部、マサチューセッツ州にある名門私立女子大学。卒業生にはヒラリー・ロダム・クリントン米上院議員やマドレーン・オルブライト元米国務長官らがいる。

[▶本文に戻る](#)

hoop rolling

輪回し競争 ★ウェルズリー大学では毎年5月、卒業を控えた4年生が輪回し競争をする伝統がある。

[▶本文に戻る](#)

The outcome is different now.

★レースが行われるようになった1895年当時、レースの勝者は「誰よりも早く結婚する」とされていたが、現在では「誰よりも早く成功を収める」となっていることに言及している。

[▶本文に戻る](#)

what did you learn about art?

★『モナリザ・スマイル』の中で、ロバーツが美術教師を演じていることを受けた質問。

[▶本文に戻る](#)

Pretty Woman

『プリティ・ウーマン』 ★アメリカ映画（1990年）。監督ゲイリー・マーシャル。出演リチャード・ギア、ジュリア・ロバーツ。やり手実業家のルイス（ギア）が、売春婦のビビアン（ロバーツ）をレディーに仕立て上げ、やがて彼女と恋に落ちるという、現代版『マイ・フェア・レディ』ともいうべき作品。

[▶本文に戻る](#)

Alan (J.) Pakula

アラン・（J・）パクラ ★（1928-98）。アメリカの映画監督。代表作に『コールガール』（'71年）、『大統領の陰謀』（'76年）、『ソフィーの選択』（'82年）など。

[▶本文に戻る](#)

The Pelican Brief

『ペリカン文書』 ★アメリカ映画（1993年）。監督アラン・J・パクラ。出演ジュリア・ロバーツ、デンゼル・ワシントン。原作ジョン・グリシャム。最高裁判事連続殺人事件に関する仮説をまとめた法科大学院生（ロバーツ）が複数の追っ手から命を狙われるというサスペンス。

[▶本文に戻る](#)

語注

a cast of ~

～の一团

[▶ 本文に戻る](#)

ingénue

無邪気な少女、純情な娘役の女優 ★フランス語。= innocent girl

[▶ 本文に戻る](#)

Hollywood

ハリウッド、米国映画界。

[▶ 本文に戻る](#)

pinpoint

正確に指摘する、具体的に例を挙げる

[▶ 本文に戻る](#)

transition

転換、移行

[▶ 本文に戻る](#)

it's existed

★正しくは、it existed。

[▶ 本文に戻る](#)

illustrate

説明する、例証する

[▶ 本文に戻る](#)

mind-set

物の見方、考え方、思考様式

[▶ 本文に戻る](#)

continuity

連続性、継続性

[▶ 本文に戻る](#)

appreciate

正しく認識する、高く評価する、称賛する

[▶ 本文に戻る](#)

gay

陽気な、楽しい

[▶ 本文に戻る](#)

CEO

最高経営責任者 ★ = Chief Executive Officer

[▶ 本文に戻る](#)

sweet

★ = nice

[▶ 本文に戻る](#)

build on ~

～を当てにする、～を足場にする

[▶ 本文に戻る](#)

sporadic

散発的な、時々起こる

[▶ 本文に戻る](#)

that's, becomes

★ that's の is を取り消している。

[▶ 本文に戻る](#)

effortless

努力を要しない

[▶ 本文に戻る](#)

torn

★ torn (= divided 、 pulled) between career and family の意。

[▶ 本文に戻る](#)

by virtue of ~

～のおかげで

[▶ 本文に戻る](#)

taxing

苦勞の多い、ひどく骨の折れる ★ = trying 、 stressful 、 difficult

[▶ 本文に戻る](#)

per se

それ自体は

[▶ 本文に戻る](#)

challenge

(事実 ・ 正当性などを) 疑う、問題にする

[▶ 本文に戻る](#)

in one's shoes

人の立場に身を置いて

[▶本文に戻る](#)

sustain

支える、支持する

[▶本文に戻る](#)

swim against the tide

大勢に逆らう、世間の風潮に逆らう ★ここでは swum against the tide と発音しているが、文法的には swam が正しい。

[▶本文に戻る](#)

victorious

勝利を得た

[▶本文に戻る](#)

script

脚本、台本

[▶本文に戻る](#)

uninteresting

つまらない

[▶本文に戻る](#)

tedious

退屈な

[▶本文に戻る](#)

give in to ~

~に屈する、~に従う

[▶本文に戻る](#)

picky

選り好みする、細かいことにこだわる、気難しい

[▶本文に戻る](#)

make a stand

踏んばる、抵抗する

[▶本文に戻る](#)

reintroduction

再導入

[▶本文に戻る](#)

take A under one's wing

Aを庇護する、Aを世話する

[▶本文に戻る](#)

A black and white portrait of Angelina Jolie. She is looking directly at the camera with a slight smile. Her hair is pulled back, and she is wearing large hoop earrings and a dark jacket. The background is blurred.

Angelina Jolie

写真：BIG PICTURES/ アフロ

良き母親にして国連親善大使―スター女優の意外な素顔

Angelina Jolie

“I think I give more of myself when I’m extremely open emotionally than when I have to have my shirt off.”

「感情的にすごくオープンになってるときのほうが、服を脱がなきゃならないときよりも自分をさらけ出していると思うわ」

Supervising Editor’s Comment

ジョリーは、感情豊かで快活な話し手です。話すスピードも、気分に応じて変わります。興奮すると早口になり、最初のフレーズを言い終わる前に次のフレーズへと飛び移ります。彼女の発音は、非常にアメリカ的なシャープさがあり、東海岸というより西海岸風です。非常に活動的な人という印象を受けます。

Interview Data	
収録日	2004年3月9日
収録地	ニューヨーク（アメリカ）
スピード	速い
語彙	難しい
発音	明瞭

アンジェリーナ・ジョリー

Angelina Jolie

1975年6月4日、アメリカ・カリフォルニア州生まれ。父親は俳優のジョン・ヴォイト。モデルを経て、テレビ映画数本に出演後、『17歳のカルテ』（'99年）でアカデミー助演女優賞およびゴールデン・グローブ助演女優賞受賞。その他の代表作に、『ボーン・コレクター』（'99年）、『トゥームレイダー』シリーズなど。UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）親善大使としての活動も行う。

『トゥームレイダー』シリーズのスーパーヒロイン、ララ役で大人気のオスカー女優アンジェリーナ・ジョリーが、FBI分析官に挑んだ『テイキングライブス』での役作りや、息子への愛情について語る。彼女の魅力が伝わってくるような明るいインタビュー。

You could never take your eyes off of this actress known for her [daring](#) and [sensual](#) appearance on screen. Here Angelina Jolie talks about her latest film [Taking Lives](#), doing the [torch](#) in the Olympic Games in Athens, and her love for her son.

Reporter: Can you talk about the research you did for this? You worked with an [FBI profiler](#), and what did you take away from that?

Angelina Jolie: Yeah, I had done a bit of stuff with [forensics](#), people in forensics when I did [\[The\] Bone Collector](#), but then this was a very different. Obviously a profiler is somebody that -- they *put the [clues](#) together, but they also [go on](#) the kind of human behavior and types of people. And they work so much with their [senses](#) to try to [figure out](#) if they can get in, you know, just kind of get inside and find answers, and -- like, this [sixth sense](#).

So we met with a woman and she sat with me and [D.J.](#) in a room with just [a bunch of](#) slides of just the worst things you've ever seen, and then kind of said, "Now, what kind of a person do you think would do this?" And so that's the kind of work we'd do. We'd sit around saying, "Well I guess he did that kind of thing because he's got a problem with this and he probably wanted that," like and try to figure it out, and then you'd see the pictures of the people, and often it was a lovely looking man with a wife and two kids and a beautiful [suburban](#) house, and not exactly what you'd, you know . . .

So a lot of it was that, and just kind of figuring out, trying to put pieces together of why people do things.

Reporter: Does that [fascinate](#) you, to study the mind of a killer?

Jolie: Uh, yeah, yeah. I mean, I'm not fascinated in a good way. But I'm fascinated with this idea that there are actually brain patterns that can be read now. I'm fascinated with that that's based on a true thing, that's in the film and that you can actually test the [frontal lobe](#), does react differently on people that have [committed](#) murders.

So that says, y'know, if somebody in this room sees there's some blood and [faints](#), somebody else doesn't, there's something different in our bodies, in our [makeup](#) that makes us react differently. And some people have no emotion when it comes to really [brutal](#) things. So to try to [track](#) those people and see if . . . maybe then you have to [logically](#) talk to them as they're growing up or . . . Yeah, all that fascinates me.

Reporter: This was a big physical role for you as well. Did you get hurt?

Jolie: Did I get hurt doing this? Um, no. I suppose I've done so many more physical things that, that this didn't compare, so it wasn't that . . .

Reporter: You get thrown around like a [rag doll](#).

Jolie: Yeah. No, I got bruises, and . . . but I didn't tell anyone 'cause we had like three days of it and you always want to tell the other actor, "I'm fine. Keep going. Don't [pull back](#)." And then you [gotta](#) go home with ice packs going, "Ugh."

Reporter: Can you leave that kind of thing at the office?

Jolie: I can't take anything home with me now 'cause I'm a parent. So I kind of just don't. And that is the great thing about kids. D.J.'s kids, [Ethan](#)'s kids and [my kid](#) were there. So they helped us all to just come back to . . . as soon as you see them . . . it helps.

Reporter: After reading the script and your character's lines, was there anything about your character that wasn't in there, so that when you met with the director, you asked, "Doesn't the character have to be like this?"

Jolie: Yeah, well, [the grave](#). When it was first written -- and that was actually more D.J. than me -- but when she was first written, the idea was you kind of had the cool woman coming in who was so tough, so cool, kind of [flawless](#) and knew everything, and I didn't like her.

I thought, you know, she was just like a [cocky know-it-all](#). And we kind of wanted to make sure that she was human and weird and [flawed](#), and had her own secrets and had her own things about her that weren't -- just not [together](#). And she's not together when it comes to social things, or when it comes to relationships, or when it, even when it comes to any kind of human contact with real people she's actually very strange.

Reporter: What part of your personality did you [incorporate](#) into playing her?

Jolie: What of my own? Um, I guess I can tend to get so lost in thoughts, and in kind of something that I'm working on or something that I'm doing. You know, I have to remember to kind of [snap out of it](#) and be light when maybe somebody comes in the room and we're acting, you know, 'cause I don't realize how dark I'm being sometimes, or how just and not in like a real [moody](#) way, just deep, deep in thoughts that tends to get everybody asking me if I'm OK. So you kind of learn, "I'm fine, OK," y'know, and so on. Um . . . that and I think just working out relationships and being, having that kind of issues of obviously trust and connection and, 'cause she's so kind of in her own world in some way. That's certainly similar.

Reporter: So when you're talking to this profiler and she's talking about having no life -- I'm wondering, did you ever go through a [phase](#) like that when you [were consumed by](#) work and acting?

Jolie: Oh, yeah. Not as much acting, but yeah, life experiences, and . . . I mean I go through stages of it a lot, I'm very much like that as a woman. But now I don't have [a](#) man in my life and that's probably [due to](#) I'm [focusing on](#) my son and my work and my life experience and that's the choice I've made. And I . . . no, I couldn't possibly balance the other. I wouldn't have the time or energy for it.

Reporter: You don't seem to have any [inhibitions](#) in [romantic scenes](#). Why, as an actress, do you allow yourself to go there?

Jolie: Because I think physically naked and emotionally naked are just the same. I mean, I actually thought this scene in some way you didn't see as much as maybe you felt you saw. So I actually thought it was nicely done but very sensual and very open.

I think I don't get [funny](#) about [nudity](#). I think, I see naked people and I, I think -- it's like, I give more of myself when I'm extremely open emotionally than when if I have to have my shirt off.

Reporter: So you don't [hang out with](#) all the other actresses and say to each other, "Why don't you take your clothes off?"

Jolie: I think to each his own. But I think if it's appropriate to the movie. This was obviously a very important moment in the movie and, you know, could have been done really [exploited](#), [exploitive](#) or . . . We could have maybe been a little more shy about it. But we also could have made it more than it was. But I thought it was done just as it should be. So it's really to the film. I mean, if it's like, if it's appropriate, it's not something I'm [overly](#) shy about.

Reporter: How did you get chosen, or how did the conversations come about for you carrying the torch for the Summer Olympics?

Jolie: Well, I was going to Greece anyway because I went to the last Olympics for [Olympic Aid](#), 'cause there is this great program where Olympic [athletes](#) go to different places including refugee camps to teach the kids, and remind them about sports. The kids were so [traumatized](#), that tends to be the one thing that can get them kind of being kids again and connecting again.

So I'm going there for that, and then they said, "While you're there, would you consider doing this?" I thought it was a ridiculous idea at first and then I was [honored](#), because I think it's a wonderful thing, you know, the world coming together for something like this. I think it's just a beautiful celebration of athletes and people in the world and countries coming . . .

So, and the idea of this, something like the torch that's been passed around, so it's thousands of people all across the world, I think it's gonna go farther than it's ever gone, and . . . so I think that's beautiful. So [we'll see](#).

tanslation 

*Interviewed by Jordan Riefe / Planet Syndication
Narrated by Brian Peck / Eric Kelso*

誰でも、スクリーンでの大胆かつ官能的な姿で知られるこの女優から目を離すことはできないでしょう。今日はアンジェリーナ・ジョリーが最新作『テイキング ライブス』について、アテネ・オリンピックで聖火ランナーを務めることについて、そして息子さんへの愛情について話してくれます。

【原文】[▶](#)

FBIプロファイラーに扮した新作

 43

記者：この映画のためになさったりサーチについて教えていただけますか？ FBIのプロファイラーと作業されたということですが、その体験からどういったことを学ばれましたか？

アンジェリーナ・ジョリー：ええ、以前『ボーン・コレクター』に出演したときに、鑑識課を、鑑識課の方々を少しでもリサーチしたことがありましたが、今回ののはまったく別物でしたね。当然ながらプロファイラーという人種は――彼らは手がかりを集めていくんですが、それと同時に人間の行動やさまざまなタイプといったものを追求するんです。そして、自分たちの感覚を十二分に駆使して（犯人の）頭の中に入ろうとする、そう、まさに入り込むっていう感じで、答えを得ようとするんです――第六感のようなものですね。

私たちはある女性（のプロファイラー）と会ったのですが、彼女は私と（監督の）D・Jと部屋にこもって、これ以上ないほどひどいスライドをたくさん私たちに見せたんです。そして、「さて、どんな人間がこういうことをすると思いますか？」なんて聞いたんです。私たちがやったのは、そんな作業です。みんなでその辺に座って「うーん、この男はこういう問題を抱えていて、おそらくこういうものを求めているから、こんなことをしたんじゃないか」というようなことを話しては、犯人像を探り当てようとしてました。その後で犯人たちの写真を見てみると、これがたいていの場合、奥さんに2人の子ども、そして郊外に瀟洒な一軒家を持っている、感じのいい外見の男性だったりするわけで、違うんですよね、私たちが思うようなのとは・・・

ですから、リサーチの大部分はそういった作業で、一つひとつの手がかりを寄せ集める努力をし、人々がなぜそういうことをするのかという答えをなんとか見つけ出すといったことでした。

記者：殺人犯の心理を探ることには魅了されますか？

ジョリー：えっと、ええ、そうですね。というか、いい意味で魅了されるわけじゃないですよ。でも、いまや読み解くことが可能な脳のパターンが実際にあるという考えには興味を引かれますね。そのこと、この話が現実に基づいているということ、それが映画に出てきて、殺人を犯した人間の前頭葉は異なる反応をするのかどうか実際に調べることができるというのは、すごいことだと思います。

ですから、例えば、この部屋にいる人で、血を見て気絶する人もいれば、平然としている人もいるでしょう。私たちの体に、私たちの体質に何らかの違いがあって、それによって反応の仕方が異なるんです。ですから、中には極めて残虐なことに対して何の感情も抱かない人間がいるわけです。ですから、そうした人間の人生を追って、確かめてみる・・・たぶん、彼らが成長していくにつれて理詰めで話さなければならなくなるのですが・・・そう、そうしたことすべてに魅了されますね。

記者：これは肉体的にもハードな役柄だったと思います。けがをしませんでしたか？


ジョリー：この映画をやっていてけがをしたか？ いいえ。これまでもっと荒つぽい役をたくさんやってきましたから、これはそういうのに比べれば全然、ですからそんなには・・・

記者：あなたは、ぬいぐるみみたいに投げ回されていますよね。

ジョリー：ええ。いえ、あざはできましたよ・・・でも誰にも言いませんでした。3日間ぐらいその場면을撮影していたんですが、相手の俳優にはいつだって、「大丈夫。続けて。遠慮しないで」と言いたいんですから。そうすると氷を当てながら家に帰る羽目になって、「いたた」となるわけですけど。

記者：そういうたぐいのもの（仕事）は職場に置いて帰れますか？

ジョリー：今はどんな仕事も家に持ち帰るわけにはいきません、親ですから。だから、そうしないことにしてます。そして、子どもというのはそこが素晴らしいんですよ。D・Jの子どもたち、イーサンの子どもたち、それに私の子どももいました。ですから、子どもたちのおかげで私たちは皆すぐに（現実）に帰れるんです・・・子どもたちをひと目見た瞬間に・・・気持ちが楽になりますね。

【原文】 

身体的・感情的にオープンになること

DL **Track44**

記者：脚本とご自分の役柄のセリフを読んだ段階で、この役柄に足りないところがあったので、監督と会ったときに、「この役はこうあるべきではないですか？」とお聞きになったんですって？

ジョリー：ええ、その、死体を埋めた穴のシーンですね。脚本が上がってきた時点では——それは私というよりD・Jのアイデアだったんですけど——最初の台本ではこの役柄は、さっそうとした女性として登場し、すごくタフで、すごくかっこよくて、言ってみれば非の打ちどころがなくて、何でも知っているという感じでしたから、私は彼女が好きになれませんでした。

私には、彼女がお高くとまった、知ったかぶりの人間に思えたんです。それで、私たちは言ってみれば彼女が、もっと人間らしくて、奇妙で、欠点があつて、人知れぬ秘密を抱えていて、どこか完璧じゃない部分もある人物だということをはっきりさせたかった。そして彼女は、社交上のことになるとしっかりしていないんですよ。あるいは恋愛関係のことになる、もっと言えば、生身の人間との交流すべてに関してね。本当のところ、すごく奇妙な人間なんです。

記者：彼女を演じるうえで、ご自身の性格のどういった部分を取り入れられましたか？

ジョリー：私自身のどこを？ そうね、私は割と、どつぷりと物思いにふけったり、今やっている仕事ややっていることに没頭しすぎたりしちゃうときがあるみたいですね。だから、誰かが撮影中に現場を訪ねてくると、意識的にパッと切り替えて、明るくなるように気をつけなくちゃいけないんです、というのも、ときどき、自分がどれほど暗くなってるか自覚していないときがあつて、とにかく、すごく気難しくなるというような暗さではなく、ひたすら深く深く物思いにふけてしまつて、周りの人たちがみんな、大丈夫かと声をかけてきちゃうような感じなんです。それで、ちょっと利口になって「大丈夫よ、平気」なんて言ったりして。ええと・・・それに、人間関係を築こうと頑張ったり、それから、もちろん例の信頼やつながりという問題を抱えていたり、といったことかしら、彼女はある意味、自分の世界に入つてしまっているところがありますから。そこも確かに似てますね。

記者：では、そのプロファイラーの女性とお会いになって、その方が（仕事以外の）生活がないという話をされたとき——もしやあなたにも、仕事や演技に全精力を費やしていたような時期が今までにあったわけではありませんか？

ジョリー：ええ、ありました。演技というのではなく、ええ、人生経験、それに・・・私は人生の多くの局面を経験するんです、そういうタイプの女なんです。でも今現在、私の生活の中に特定の男性は存在しませんし、それというのもおそらく、今は息子と仕事、それに人生における体験に集中しているからで、それが私の選んだ道だからでしょうね。それに私は・・・いいえ、もう1つの要素（恋愛）を加えてバランスを保つなんてことはできそうもないわ。そのための時間もエネルギーもとっていませんね。

記者：あなたはラブシーンを演じることにさほど抵抗はないようにお見受けします。女優として、なぜあえてそうなさっているのですか？

ジョリー：私にとって、肉体的に裸になるのと、感情的に裸になるのはまったく同じことだからです。この場面に関しては、実際にはある意味、皆さんが見えたと思っていらっしゃるほど見えてなかったんじゃないかと思うわ。ですからこの場面はとてもいい感じで仕上がってるし、同時に非常に官能的で、解放的だと思います。

私は、裸になることに気が進まないってことはないんですよ。私が思うに、裸の人を見ても、そう——私自身は感情的にすごく解放的になっているときのほうが、服を脱がなくてはならないとき以上に自分をさらけ出していると思うんです。

記者：するとほかの女優さんたちとご一緒されたとき、お互いに「なぜ脱がないの？」なんて言い合うこともないわけですか？

ジョリー：人それぞれだと思つてます。でも、映画にふさわしいくらいいいんじゃないかしら。この場面は映画の中で非常に重要な瞬間ですし、なんていうか、すごく（女性を）搾取された、搾取するような形にだってできたかもしれない・・・。もう少し控えめにすることもできたかもしれませんが。でももっと過激にすることだってできたんですから。でも私としてはちょうどいい具合だと思いました。だからすごく映画に合つていたと思います。要するに、もしそれが、なんというか、（映画に）ふさわしいなら、私にとって大げさに恥ずかしがるようなことじゃないんです。

【原文】[▶](#)

聖火ランナーに挑戦

DL **Track45**

記者：どのような経緯で選ばれた、といいますか、どのような経緯で夏季オリンピックの聖火ランナーをやる話があなたのところに来たのですか？

ジョリー：ええ、いずれにせよギリシャに行く予定があったんです。前回のオリンピックにもオリンピック・エイドの仕事で参加しましたから、というのは、オリンピック選手が難民キャンプをはじめいろいろな場所を訪れて、子どもたちに教えたり、スポーツに再び興味を持たせたりする素晴らしいプログラムがあるんですよ。そういう子どもたちは心に深い傷を負っていて、そういうことが往々にしてひとつの、言ってみればもう一度子どもらしさを取り戻し、人とのつながりを取り戻すきっかけになるんです。

ですからそのためにギリシャに行くことになっていて、「ギリシャにいるならこれ（聖火ランナー）をやってくれませんか」と言われたんです。最初はとんでもないアイデアだと思ったんですけど、その後、光栄なことだと思いました、世界がこういったことでひとつになるのは素晴らしいことですから。世界中の運動選手と人々、そして国々が集う・・・とても美しい祭典だと思います。

そして、この概念、世界中の何千人もの手から手へと渡される聖火というようなものは、確か史上最長の距離を移動するはずですが・・・それは素晴らしいと思います。まあ、見てのお楽しみですね。

【原文】 [▶](#)

Vocabulary List

A

- a bunch of** ～ ～の束、～の山
- athlete** 運動選手、運動競技者

B

- be consumed by** ～ ～に心を奪われる
- brutal** 残虐な

C

- 'cause** ★ = because
- clue** 手がかり、鍵、糸口
- cocky** 気取った、お高くとまった、うぬぼれの強い
- commit** （犯罪を）犯す

D

- daring** 大胆な

E

- exploitive** 搾取的な ★ = exploitative

F

- faint** 気絶する、失神する
- fascinate** （～の）心をとらえる、魅惑する
- figure out** ～ ～（答えなど）を見つけ出す、～と解釈する
- flawed** 欠陥のある
- flawless** 非の打ちどころのない、完璧な
- focus on** ～ ～に集中する
- forensics** 科学捜査室、鑑識課
- frontal lobe** 前頭葉
- funny** 気分が少し優れない

G

- go on** ～ ～を追求する、～を調べ上げる ★ = follow up on～
- gotta** ★ = have got to。口語。

H

- hang out with** ～ ～と付き合う
- honored** 光栄に思って、名誉ある

I

- incorporate** 組み込む、組み入れる
- inhibition** 抑制、抑圧

K

- know-it-all** 知ったかぶりをする人

M

- makeup** 構成、体質、性格
- moody** ふさぎ込んだ、むつつりした、気難しい

N

- nudity** 裸

O

- overly** 過度に、あまりに

P

- phase** 段階、時期
- profiler** プロファイラー、容疑者性格分析官
- pull back** 後退する、退く
- put ～ together** ～をまとめる、～を整える

R

- rag doll** ぬいぐるみの人形

S

- sense** 感覚
- sensual** 官能的な、肉感的な
- sixth sense** 第六感、直感
- snap out of it** 気持ちをバツと切り替える、気分転換をする
- suburban** 郊外の

T

- together** しっかりした、まともな
- torch** 聖火、たいまつ
- track** 突き止める、（～の跡を）追う
- traumatized** 心に傷を負った、精神的打撃を与えられた

W

- we'll see** やってみればわかる、なるようになる、成り行きを見よう、どうなることやら

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ジョリーはかつて陸上選手としてオリンピックを目指していた。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ジョリーは映画の中で弁護士役を演じた経験について話している。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	ジョリーは子どもを持つ母親である。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ジョリーはこの映画 <i>Taking Lives</i> の役作りのために、女性捜査官と事件現場に赴き、犯人像を探し当てる練習をした。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	ジョリーは殺人犯の心理を探ることに強い興味を覚えている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<i>Taking Lives</i> では、撮影中に、大きなけがはなかったが、あざができるようなことはあった。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	ジョリーは <i>Taking Lives</i> の中で、非の打ちどころのない完璧な女をクールに演じた。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	ジョリーは、時に深く物思いにふける性格である。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	ジョリーは、映画でヌードになることにはそれほど抵抗を感じていない。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	ジョリーが <i>Olympic Aid</i> に参加するのは今回が2回目で、聖火ランナーの依頼が先に入っていたため、一石二鳥のスケジュールが組めた。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ジョリーはかつて陸上選手としてオリンピックを目指していた。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	ジョリーは映画の中で弁護士役を演じた経験について話している。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
3	ジョリーは子どもを持つ母親である。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ジョリーはこの映画 <i>Taking Lives</i> の役作りのために、女性捜査官と事件現場に赴き、犯人像を探し当てる練習をした。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	ジョリーは殺人犯の心理を探ることに強い興味を覚えている。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	<i>Taking Lives</i> では、撮影中に、大きなけがはなかったが、あざができるようなことはあった。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	ジョリーは <i>Taking Lives</i> の中で、非の打ちどころのない完璧な女をクールに演じた。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
8	ジョリーは、時に深く物思いにふける性格である。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	ジョリーは、映画でヌードになることにはそれほど抵抗を感じていない。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	ジョリーが <i>Olympic Aid</i> に参加するのは今回が2回目で、聖火ランナーの依頼が先に入っていたため、一石二鳥のスケジュールが組めた。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

用語解説

Taking Lives

『テイキング ライブス』 ★アメリカ・カナダ映画（2004年）。監督D・J・カルーソー。出演アンジェリーナ・ジョリー、イーサン・ホーク。FBIプロファイラーのイリアナ・スコット捜査官（ジョリー）が、殺した相手になりすます連続殺人鬼を追う。

[▶本文に戻る](#)

FBI

連邦捜査局 ★ = Federal Bureau of Investigation。アメリカ司法省の捜査部局。1908年創設。

[▶本文に戻る](#)

The Bone Collector

『ボーン・コレクター』 ★アメリカ映画（1999年）。監督フィリップ・ノイス。出演デンゼル・ワシントン、アンジェリーナ・ジョリー。全身麻痺の元刑事（ワシントン）が、女性刑事アメリア（ジョリー）と組んで連続殺人鬼を追い詰める。

[▶本文に戻る](#)

D. J. (Caruso)

D・J（・カルーソー） ★（1965-）。アメリカの映画監督。テレビドラマを多く手がけるほか、映画『ニック・オブ・タイム』（'95年）では制作総指揮を務めている。

[▶本文に戻る](#)

Ethan (Hawke)

イーサン（・ホーク） ★（1970-）。アメリカの俳優。『いまを生きる』（'89年）で注目を集める。出演作に『ガタカ』（'97年）、『大いなる遺産』（'98年）など。『テイキング ライブス』では犯人を目撃し、次の殺人のターゲットとなるジェームズ・コスタを演じる。

[▶本文に戻る](#)

my kid

★ジョリーが前夫ビリー・ボブ・ソーントンとともにカンボジアから養子に迎えた息子、マドックス君のこと。

[▶本文に戻る](#)

the grave

★ジョリー演じるスコット捜査官が、死体が発見された地中に横たわり、犯人の思考に入り込もうとするシーンに言及していると思われる。graveは「墓穴、死体を埋めた場所」の意。

[▶本文に戻る](#)

Olympic Aid

オリンピック・エイド ★「すべての子どもには遊ぶ権利がある」とする国連の「子どもの権利条約」を順守させるため、ジョリーが親善大使を務めている UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）が NGO（非政府組織）と協力して行っている活動。アフリカやアジア、東欧諸国などの難民キャンプで生活する子どもたち向けのスポーツ・プログラムを支援している。

[▶本文に戻る](#)

語注

daring

大胆な

[▶ 本文に戻る](#)

sensual

官能的な、肉感的な

[▶ 本文に戻る](#)

torch

聖火、たいまつ

[▶ 本文に戻る](#)

profiler

プロファイラー、容疑者性格分析官

[▶ 本文に戻る](#)

forensics

科学捜査室、鑑識課

[▶ 本文に戻る](#)

put ~ together

～をまとめる、～を整える

[▶ 本文に戻る](#)

clue

手がかり、鍵、糸口

[▶ 本文に戻る](#)

go on ~

～を追求する、～を調べ上げる ★ = follow up on ~

[▶ 本文に戻る](#)

sense

感覚

[▶ 本文に戻る](#)

figure out ~

～（答えなど）を見つけ出す、～と解釈する

[▶ 本文に戻る](#)

sixth sense

第六感、直感

[▶ 本文に戻る](#)

a bunch of ~

～の束、～の山

[▶ 本文に戻る](#)

suburban

郊外の

[▶ 本文に戻る](#)

fascinate

（～の）心をとらえる、魅惑する

[▶ 本文に戻る](#)

frontal lobe

前頭葉

[▶ 本文に戻る](#)

commit

(犯罪を)犯す

[▶ 本文に戻る](#)

faint

気絶する、失神する

[▶ 本文に戻る](#)

makeup

構成、体質、性格

[▶ 本文に戻る](#)

brutal

残虐な

[▶ 本文に戻る](#)

track

突き止める、(～の跡を)追う

[▶ 本文に戻る](#)

logically

論理的に

[▶ 本文に戻る](#)

rag doll

ぬいぐるみの人形

[▶ 本文に戻る](#)

'cause

★ = because

[▶ 本文に戻る](#)

pull back

後退する、退く

[▶ 本文に戻る](#)

gotta

★ = have got to。口語。

[▶ 本文に戻る](#)

flawless

非の打ちどころのない、完璧な

[▶ 本文に戻る](#)

cocky

気取った、お高くとまった、うぬぼれの強い

[▶ 本文に戻る](#)

know-it-all

知ったかぶりをする人

[▶ 本文に戻る](#)

flawed

欠陥のある

[▶ 本文に戻る](#)

together

しっかりした、まともな

[▶ 本文に戻る](#)

incorporate

組み込む、組み入れる

[▶ 本文に戻る](#)

snap out of it

気持ちをバツと切り替える、気分転換をする

[▶ 本文に戻る](#)

moody

ふさぎ込んだ、むっつりした、気難しい

[▶ 本文に戻る](#)

phase

段階、時期

[▶ 本文に戻る](#)

be consumed by～

～に心を奪われる

[▶ 本文に戻る](#)

a

★強調して[éi]と発音している。an を強調すると[æɪn]となる。

[▶ 本文に戻る](#)

due to

★ because のほうがよい。

[▶ 本文に戻る](#)

focus on ～

～に集中する

[▶ 本文に戻る](#)

inhibition

抑制、抑圧

[▶ 本文に戻る](#)

romantic scene

ロマンチックな場面 ★ここでは「ラブシーン、ヌードシーン」の婉曲表現として使っている。

[▶ 本文に戻る](#)

funny

気分が少し優れない

[▶ 本文に戻る](#)

nudity

裸

[▶ 本文に戻る](#)

hang out with ~

～と付き合う

[▶ 本文に戻る](#)

exploited

★ exploitive の言い間違い。

[▶ 本文に戻る](#)

exploitive

搾取的な ★ = exploitative

[▶ 本文に戻る](#)

overly

過度に、あまりに

[▶ 本文に戻る](#)

athlete

運動選手、運動競技者

[▶本文に戻る](#)

traumatized

心に傷を負った、精神的打撃を与えられた

[▶本文に戻る](#)

honored

光栄に思って、名誉ある

[▶本文に戻る](#)

we'll see

やってみればわかる、なるようになる、成り行きを見よう、どうなることやら

[▶本文に戻る](#)



Elijah Wood

写真：ロイター / アフロ

『ロード・オブ・ザ・リング』シリーズのヒーローが語る新作の魅力

Elijah Wood

“I think it is those experiences, and the bad experiences that we have in our lives, that ultimately make us who we are and shape us and allow us to grow.”

「人生の中のそういった経験、特に苦い経験が、最終的に今の自分を形作り、成長させてくれるんだと思うよ」

Supervising Editor’s Comment

ウッドは、とても表現力豊かな話し手です。単純な質問に対しても、分析と個人的エピソードと哲学的考察を複雑に組み合わせて答えています。彼の声の抑揚は大変生き生きしており、人生と仕事に関する質問をさばくのを楽しんでいる感じがします。声そのものが、笑ったり、ウインクしたり、戸惑ったり、眉をひそめたりしているかのようです。

Interview Data	
収録日	2004年3月6日
収録地	ビバリーヒルズ（アメリカ）
スピード	速い
語彙	普通
発音	明瞭

イライジャ・ウッド
Elijah Wood
1981年1月28日、アメリカ・アイオワ州生まれ。幼い時から子役として活動し、『バック・トゥー・ザ・フューチャー PART2』（'89年）で映画デビュー。『わが心のボルチモア』（'90年）の演技で注目を集める。『8月のメモワール』（'94年）、『フリッパー』（'96年）などの話題作への出演を経て、『ロード・オブ・ザ・リング』3部作で主役フロドを務めた。新作は『エターナル・サンシャイン』（2004年）。超大作『ロード・オブ・ザ・リング』シリーズのフロド役でスターの地位を確立したイライジャ・ウッド。彼が「脱ヒーロー」の新境地に挑んだ新作『エターナル・サンシャイン』のバトリック役とは？ ファン待望の『ロード』DVDボックスの見どころも教えてくれる。

Elijah Wood will forever be remembered as [Frodo](#) in the [monumental](#) film [trilogy](#) *[The Lord of the Rings](#)*. Here, he talks about the [Oscar fallout](#) from *[The Return of the King](#)*, separating himself from the role of Frodo, and his new project, *[Eternal Sunshine of the Spotless Mind](#)*.

Always Changing Gears

DL Track48

用語解説 語注

Reporter: Is there a specific advantage to [having this movie come out so close to the awards](#) for that film's . . . ?

Elijah Wood: It is [advantageous](#), isn't it? It's kind of amazing how well that worked. Yeah, in terms of having something like this [juxtapose](#) what people have known me to be for three years is kind of wonderful. As an actor my philosophy has always been to continually [change gears](#) and do different types of films and different types of roles, and that was even more strengthened after being a part of *Lord of the Rings*, because I was a part of this one thing for so long.

So doing something like *Eternal Sunshine* [was](#) really important, um . . . For it to come out now is really kind of perfect timing.

Reporter: How hard is it to find your inner [weasel](#) for this?

Wood: Ha-ha-ha. Yeah, well there's also sort of an inner [patheticness](#) to him as well, really. I mean, that's, at the heart of Patrick is this kind of -- sad, [pathetic](#) guy that doesn't really know -- he doesn't have any confidence, really, in himself. He doesn't really know how to [go about](#) getting a girlfriend in any kind of normal sense. He really [looks up to Mark Ruffalo's](#) character, yet Mark Ruffalo's character isn't really that cool either, but he's significantly cooler than Patrick.

So that's kind of the way that I saw Patrick to be. I just sort of saw him as this guy trying to get some [footing](#) and sort of get a sense of himself in reference to everything around him and not really succeed at it, you know, which is sort of sad. So I find him to be more [endearing](#) than kind of [creepy](#).

translation ▶

Erasing Bad Memories

DL Track49

[用語解説](#) [語注](#)

Reporter: Looking at my own relationships, the idea of erasing memories of certain people is somewhat appealing to me.

Wood: Yeah, yeah. I think we all have experiences and certainly [relationships](#) that we'd love to kind of [do away with](#) in memory, you know, because you know those relationships that you have when you think about them later, and you're like, "Why was I ever [in that](#)?" And I think that's happened to everybody.

But, having said that, I wouldn't want to erase anything from my memory, because I think it is those experiences, and the bad experiences that we have in our lives, that ultimately make us who we are and shape us and allow us to grow and, you know, also help us to appreciate the good in our lives.

So if there was an opportunity to do such a thing, I don't think I would erase anything. Even the most [tragic](#) of events, I think is something that you can learn from.

Reporter: Elijah, can you talk about what you love about [Kaufman](#)'s stories just in general?

Wood: Well, he's one of the only writers that I can think of that continually and [consistently comes up with seemingly](#) original ideas. So that's one of the things I love most about Kaufman. Every time you sit down in a theater for a movie that he's written, you kind of [go off to](#) a different place, and it's a completely different place every time.

Um, it's a completely different experience of great imagination, yet not all that far away from our own experience, and not so [fantastical](#) or so [imaginative](#) that we can't [relate to](#) the characters. Because I think all of his characters are rooted in reality, and I think we can kind of relate to his characters, and I think that's what really makes his movies so strong, you know, and his writing so strong. And I think he puts a lot of himself into his characters, a lot of his own experiences into his characters. So there is something [grounded](#) that you can kind of relate to and sort of the madness that [ensues](#) around it, you know.

tanslation ▶

Reporter: Now that whole *Lord of the Rings* is behind you, are you back in the real world yet?

Wood: Yeah. Yeah. No, definitely. I mean, I think . . . for me, my real experience of having to go from *Lord of the Rings* back to reality happened after I left principal [photography](#) three years ago. Because coming out of sixteen months of living in [Middle Earth](#), essentially, in New Zealand -- working on that so [intensely](#) -- that's when I had to come back to reality and realize what my life was again, and it took me about five months to kind of come out of [hibernation](#).

So I've kind of, you know, I've felt pretty back to reality ever since then. You know, things have been a bit crazy, certainly. And there have been travelling around the world, promoting this, that and the other thing, and working on other movies, but that sense of [coming off](#) something that massive and having to [re-assimilate](#), I feel like I re-assimilated quite a while ago.

Reporter: How many *Lord of the Rings* -- the first one is out on DVD, yes?

Wood: The both of are -- the first two.

Reporter: The first two.

Wood: The first two are out on DVD.

Reporter: OK. Have you seen them? From your point of view, what can I tell my listeners and readers about these packages and why you personally like them and how you are proud of them?

Wood: Well, I'd say that my favorite packages are the extended box-set editions of the individual films. [Fellowship](#) and [The Two Towers](#) both have been released in extended versions. Basically they're longer versions of the movies that have included, basically, [Peter's cut](#), scenes that were cut from the theatrical back into the film to make them longer, more full and more rich in some ways. Most of the fans tend to appreciate those versions even more.

Plus, the packages include, I mean, hours and hours of documentaries, which I find [incredibly](#) fascinating, and great for me to watch because it's sort of like watching home movies. I [get to](#) sort of [reminisce of, about](#) my experiences, 'cause I didn't necessarily capture it all on video. So it's nice to be able to watch that and be able to show my family that, my kids and my [grandkids](#) and all of that, later, what it was like to be there, and what it was to be a part of something like that.

Reporter: So what's [on tap for](#) the DVD for the third one?

Wood: It'll be a similar package: [extended version of the film](#) -- I believe it's fifty minutes longer, and there'll be another two or three hours of documentaries as well. I've actually done my audio [commentary](#) for that, and I've done about five hours of interview [footage](#) for -- five hours, sitting down for five hours!

Reporter: That's [arduous](#).

Wood: Yeah, but it has to cover everything.

イライジャ・ウッドは、不朽の3部作映画『ロード・オブ・ザ・リング』のフロドとして永遠に人々の記憶に残ることでしょう。ここで彼は『王の帰還』のオスカー受賞による影響や、自分とフロドという役を切り離すこと、新たな出演作『エターナル・サンシャイン』について語っています。

【原文】[▶](#)

いつも違うタイプの役を

 **DL**  **Track48**

記者：例の作品が（アカデミー賞を）受賞してすぐにこの作品が公開されることに、特別なメリットはありますか・・・？

イライジャ・ウッド：もちろん、メリットはあるんじゃないでしょうか？（公開のタイミングが）ある意味、驚くほどうまくいきましたよね。ええ、今回のような作品を、皆さんが3年間僕だと認識してきた役柄と並べて比較するというのは、なかなか素晴らしいことです。役者としての僕の信条はずっと、絶えずギアを変え続けて、違うタイプの作品、違うタイプの役柄に取り組むというものでしたし、そうした信条は『ロード・オブ・ザ・リング』に出演した後、さらに強いものになりました。すごく長い間、この1つのことにかかわっていましたからね。

ですから、『エターナル・サンシャイン』のような作品をやることは実に重要でしたし・・・この作品が今公開されるのは本当に完璧と言ってもいいタイミングなんです。

記者：この作品のためにあなたの内なるずるさを発見するのはどの程度大変ですか？

ウッド：アハハ。そうですね、この役柄には、いわば内なる哀愁というのもあるんですよ、本当のところ。つまり、それは、本質的にパトリックは——本当にわかっていない、悲しく哀れな男なんです——彼は本当に、自分に全然自信が持てないんです。ごく普通の意味で、どうしたら恋人をつくれるのか、まったくわかっていない。パトリックはマーク・ラファロが演じている人物を本当に尊敬していますが、マーク・ラファロの役だって、実はそれほどイケてるわけじゃない。でも、パトリックよりは数段イケてるわけです。

ですから、そんなところが僕のパトリックに対する見方なんです。彼は、何らかの足場を得ようとしている、自分の周りのすべてを参考に自分というものを感じ取ろうとしているけれども、それがあまりうまくいつていない人間だと思ったんです。それって、ちょっと悲しいですよ。だから、パトリックは気味が悪いというより、かわいげのある人物だと思いますよ。

【原文】[▶](#)

嫌な思い出を消したいという気持ち

 [Track49](#)

記者：自分自身の人間関係を見てみると、特定の人々に関する記憶を消すという発想にはちょっと魅力を感じますが。

ウッド：ええ、ええ。人は皆、記憶の中に葬ってしまいたいような経験とか、もちろん人間関係とかがあると思います。つまり、後になってから考えると「どうしてあんな関係を持ったんだろう？」みたいに思う関係ってありますからね。そして、それは誰しも経験があることでしょう。

とは言ったものの、僕なら自分の記憶の中から何も消したいとは思わないでしょうね。だって、そうした経験とか、人が人生で出くわす苦い経験こそが、結局は自分を今の自分にし、自分を形作り、成長させてくれ、そしてまた、人生の良い面に感謝できるようにもさせてくれるのだと思いますから。

ですから、そういうことをする機会があったとしても、僕は何も消し去ったりしないと思う。たとえどんなに悲劇的な出来事であっても、そこから何か学ぶことができるものだとは僕は思いますね。

記者：イライジャ、一般的に言って、カウフマンの話のどんなところがお好きか、教えていただけますか？

ウッド：そうですね、彼は、僕が思いつく範囲で、継続的に一貫して、ぱっと見て独創的なアイデアを考え出す数少ない脚本家のひとりです。それが僕がカウフマンについて一番好きなことのひとつなんです。映画館で座って彼が脚本を手がけた映画を見るたびに、いわば違う場所に連れていかれて、それが毎回全然違う場所なんです。

その、それは素晴らしい想像力にあふれた全然違う体験なんです、それでいて、自分自身の体験とそうかけ離れてもいないし、登場人物に共感できないほどとっぴでも非現実的でもないんです。なぜかと言えば、彼がつくり出す登場人物がすべて現実と根差していて、言ってみれば登場人物に感情移入できるからだと思います。その点が、彼の映画を非常に力強いものにし、そして彼の脚本を非常に説得力のあるものにしているんでしょうね。そしてまた、彼は自作の登場人物に自分自身を、自分自身の体験の多くを注ぎ込んでいると思います。だから、感情移入できる現実味のある部分と、それを取り巻いて次々起こるある種の狂気とが、存在しているんです。

[【原文】](#) [▶](#)

『ロード・オブ・ザ・リング』ボックスセット

DL **Track50**

記者：さて、『ロード・オブ・ザ・リング』全作が過去のものとなった今、もう現実の世界に戻れましたか？

ウッド：そうですねえ。ええ。いや、間違いなくね。つまり、思うに・・・僕の場合、『ロード・オブ・ザ・リング』から現実に戻らなくてはならないという本当の体験は、3年前、主だった撮影を終えた後に起こりました。**16**カ月間、本質的に「中つ国」、ニュージーランドで暮らす——あの作品に没頭して——という状態から脱した、そのときこそ、僕は現実に戻って、自分の人生がどんなものか再確認しなければならなかったわけですから。いわば冬眠から目覚めるのに5カ月ほどかかりました。

ですから、僕はなんというか、そのときからずっと、かなり現実に戻った感じはしています。つまり、状況がちょっと普通ではなかったですね、確かに。さらに、世界中を旅して、この作品、あの作品、また次の作品とプロモーションをし、ほかの映画にも取り組んでいましたから。でも、あれほどスケールの大きなものをやり終えて適応し直さなければならないという意味では、だいぶ前に再適応したような気がします。

記者：『ロード・オブ・ザ・リング』のうち何作が——第1作はもうDVDが出たんですよね？

ウッド：両方ともです——最初の2つです。

記者：最初の2つですね。

ウッド：最初の2つがDVDで出ています。

記者：わかりました。それらをご覧になりましたか？ あなたの立場から見て、こうしたパッケージについて視聴者や読者の方々に私からどんなことが言えるでしょうか？ 個人的にこうしたDVDがお好きな理由は？そして、これらのDVDには満足なさっていますか？

ウッド：そうですね、僕が気に入っているパッケージは、各作品のエクステンデッド・エディションのボックスセットです。『ロード・オブ・ザ・リング』と『ロード・オブ・ザ・リング／二つの塔』のどちらもエクステンデッド・エディションが出ています。基本的に、これらは映画より長いバージョンで、ディレクターズ・カット、つまり、劇場版ではカットされたシーンが復活されていて、作品が長くなり、いくつかの点で一層充実し、味わい深いものになっています。ファンの大部分はこれらのバージョンのほうをより評価する傾向にありますね。

それと、このパッケージには何時間分もの（メイキング・）ドキュメンタリーが入っています。僕にとってそれを見るのはものすごくワクワクしますし、素晴らしいことです。いってみればホームビデオを見ているようなものですからね。僕は自分の体験について思い出にふけったりするようになっていますが、それは、必ずしもすべての体験をビデオに収めたわけではないからです。ですから、それを自分で見たり、後になって、家族や自分の子どもや孫なんかに、現場にいるのはどんなふうだったかとか、あのような作品に参加するのはどんな感じだったかということを見せたりできるのはすてきですよ。

記者：では、3作目のDVDについてはどんな予定になっていますか？

ウッド：同じようなパッケージ、エクステンデッド・バージョンが出ます——確か（劇場公開された映画より）50分長いはずですし、さらに2、3時間分のドキュメンタリーも付きます。現に僕はそれ用に音声解説をしましたし、約5時間分のインタビュー・フィルムを収録しました——5時間ですよ、5時間もずっと座っていたんです！

記者：それは大変でしたね。

ウッド：ええ、でも、このDVDはすべてをカバーしているはずですよ。

【原文】▶

Vocabulary List

A

- advantageous** 有利な、有益な、都合のよい
- arduous** 困難な、骨の折れる、難儀な

C

- change gears** ギアを変える、手を変える
- come off** ～ ～から手を引く、～をやりに終わる ★ = leave ～、finish ～
- come up with** ～ ～を思いつく
- commentary** 解説、論評、注釈
- consistently** 一貫して、常に
- creepy** ぞつとする、気味の悪い

D

- do away with** ～ ～を殺す、～を始末する、～を葬り去る

E

- endearing** 人の心を引きつける、かわいらしい
- ensue** 順々に続く、続いて起こる

F

- fallout** 付随的な結果、副産物、予期せぬ影響
- fantastical** 空想的な、奇妙な、とつびな
- footage** 映像、撮影画面、場面
- footing** 足場、足がかり

G

- get to do** ～し始める
- go about** ～ ～に取りかかる
- go off to** ～ ～に送られる
- grandkid** 孫 ★ = grandchild
- ground** （～に）根拠を与える

H

- hibernation** 冬眠、冬ごもり

I

- imaginative** 虚偽の
- incredibly** 信じられないほど、途方もなく、ものすごく
- intensely** 熱心に、一心不乱に

J

- juxtapose** （比較のために）並べる、並置する、対置する

L

- look up to** ～ ～を尊敬する、～を仰ぎ見る

M

- monumental** 記念碑的な、不朽の

O

- on tap for** ～ ～のためにすぐ使えるように用意されて、～のために計画されて ★ = in store for ～、in the works for ～、planned for ～

P

- pathetic** 哀れな、哀れを誘う、痛ましい
- patheticness** 哀愁
- photography** 映画撮影 ★ = cinematography

R

- re-assimilate** 再適応する ★ **assimilate** は「同化する、順応する」。
- relate to** ～ ～に共感する、～の気持ちがわかる、～と心が通う
- reminisce about** ～ ～を楽しく思い出す、～を回想する

S

- seemingly** 見たところでは、一見

T

- ▢**tragic** 悲劇的要素
- ▢**trilogy** 3 部作

W

- ▢**weasel** イタチ、ずるがしこい人、スパイ

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ウッドはインタビューの中で、 <i>The Lord of the Rings</i> シリーズと最新作 <i>Eternal Sunshine of the Spotless Mind</i> に加え、次の映画についても語っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2	ウッドは、作品の中身については、 <i>The Lord of the Rings</i> シリーズよりも、むしろ <i>Eternal Sunshine of the Spotless Mind</i> について多くを語っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	<i>Eternal Sunshine of the Spotless Mind</i> の中でウッドが演じているパトリックは、本当は何もわかっていない悲しく哀れな人間である。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ウッドは <i>Eternal Sunshine of the Spotless Mind</i> のように、自分自身も可能なら自分の記憶からいろいろなことを消したいと思っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5	ウッドはチャーリー・カウフマンについて、非現実的なさまざまな狂気を次々と展開していく独創的なアイデアを持った脚本家であると評している。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6	ウッドが <i>The Lord of the Rings</i> の世界から戻って現実世界に再適応できたと感じたのはつい最近のことである。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7	<i>The Lord of the Rings</i> のDVD は、このインタビューの時点で、すでに2作出ている。	A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	<i>The Lord of the Rings</i> の DVD のエクステンデッド・エディションでは、劇場版ではカットされたシーンが復活されている。	B	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	基本的に、大部分のファンはエクステンデッド・エディションより劇場版を好む傾向にある。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
10	3作目のエクステンデッド・エディションには、5時間分ものドキュメンタリーが入っている。	C	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

答え [▶](#)

理解度チェック

インタビューの内容に一致するものは○Yes、一致しないものは○Noを選びましょう。

※質問の難易度の表示は、A=やさしい、B=普通、C=難しい、を表します

Questions		難易度	Yes	No
1	ウッドはインタビューの中で、 <i>The Lord of the Rings</i> シリーズと最新作 <i>Eternal Sunshine of the Spotless Mind</i> に加え、次の映画についても語っている。	A	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
2	ウッドは、作品の中身については、 <i>The Lord of the Rings</i> シリーズよりも、むしろ <i>Eternal Sunshine of the Spotless Mind</i> について多くを語っている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3	<i>Eternal Sunshine of the Spotless Mind</i> の中でウッドが演じているパトリックは、本当は何もわかっていない悲しく哀れな人間である。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4	ウッドは <i>Eternal Sunshine of the Spotless Mind</i> のように、自分自身も可能なら自分の記憶からいろいろなことを消したいと思っている。	B	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
5	ウッドはチャーリー・カウフマンについて、非現実的なさまざまな狂気を次々と展開していく独創的なアイデアを持った脚本家であると評している。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
6	ウッドが <i>The Lord of the Rings</i> の世界から戻って現実世界に再適応できたと感じたのはつい最近のことである。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
7	<i>The Lord of the Rings</i> のDVD は、このインタビューの時点で、すでに2作出ている。	A	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8	<i>The Lord of the Rings</i> のDVD のエクステンデッド・エディションでは、劇場版ではカットされたシーンが復活されている。	B	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
9	基本的に、大部分のファンはエクステンデッド・エディションより劇場版を好む傾向にある。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
10	3作目のエクステンデッド・エディションには、5時間分ものドキュメンタリーが入っている。	C	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

用語解説

Frodo

フロド ★ウッドが演じた『ロード・オブ・ザ・リング』3部作の主人公の名前。

[▶本文に戻る](#)

The Lord of the Rings

『ロード・オブ・ザ・リング』 ★アメリカ／ニュージーランド映画。イギリスの作家 J・R・R・トールキン原作の『指輪物語』の映画化。世界を支配できる呪われた指輪を葬り去るための旅に出たホビット族の青年フロドの冒険を描く。第1部『旅の仲間』（2001年）、第2部『二つの塔』（'02年）、第3部『王の帰還』（'03年）の3部作。3作とも世界的大ヒットとなった。

[▶本文に戻る](#)

Oscar

オスカー ★アカデミー賞の別名。

[▶本文に戻る](#)

The Return of the King

『王の帰還』 ★『ロード・オブ・ザ・リング』第3部の副題。同作品は、2003年度のアカデミー賞を作品賞、監督賞など11部門で受賞。

[▶本文に戻る](#)

Eternal Sunshine of the Spotless Mind

『エターナル・サンシャイン』 ★アメリカ映画（2004年）。しっくりいかなかったカップルが相手についての記憶を消す手術を受けるという話。ウッドは記憶消去を行う技術者の1人、パトリックを演じた。日本では2005年3月公開。

[▶本文に戻る](#)

having this movie come out so close to the awards

★『王の帰還』のアカデミー賞授賞式は2004年2月29日に行われ、『エターナル・サンシャイン』は同3月19日に全米で封切られた。

[▶本文に戻る](#)

Mark Ruffalo

マーク・ラファロ ★（1967-）。アメリカの俳優。出演作に『死ぬまでにしたい10のこと』（2002年）、『イン・ザ・カット』（'03年）など。『エターナル・サンシャイン』では、技術者の1人、スタンを演じた。

[▶本文に戻る](#)

(Charlie) Kaufman

(チャーリー・) カウフマン ★ (1958-)。アメリカの脚本家。『エターナル・サンシャイン』の脚本を担当している。代表作に『マルコヴィッチの穴』('99年)、『アダプテーション』(2002年)など。

[▶ 本文に戻る](#)

Middle Earth

中つ国 ★『ロード・オブ・ザ・リング』の舞台となる国。広大な陸地で、人間、ホビット、エルフ、ドワーフなど、さまざまな種族が暮らしている。
[▶本文に戻る](#)

(The) Fellowship (of the Ring)

『旅の仲間』 ★『ロード・オブ・ザ・リング』第1部の副題。ただし、正式の邦題には含まれていない。
[▶本文に戻る](#)

The Two Towers

『二つの塔』 ★『ロード・オブ・ザ・リング』第2部の副題。
[▶本文に戻る](#)

Peter's cut

★ディレクターズ・カットのこと。Peterは『ロード・オブ・ザ・リング』3部作の監督ピーター・ジャクソン（1961-）を指す。
[▶本文に戻る](#)

extended version of the film

★日本では、この3作目のエクステンデッド・エディションは2005年2月2日発売、シリーズ全3作のエクステンデッド・エディションを集めたトリロジー・ボックスセットは同2月16日発売。
[▶本文に戻る](#)

語注

monumental

記念碑的な、不朽の
[▶本文に戻る](#)

trilogy

3 部作
[▶本文に戻る](#)

fallout

付随的な結果、副産物、予期せぬ影響
[▶本文に戻る](#)

advantageous

有利な、有益な、都合のよい
[▶本文に戻る](#)

juxtapose

(比較のために) 並べる、並置する、対置する
[▶本文に戻る](#)

change gears

ギアを変える、手を変える
[▶本文に戻る](#)

was

★ wasn't あるいは was, uh と発音しているように聞こえるが、いずれにしても、**was** と言おうとしている。
[▶本文に戻る](#)

weasel

イタチ、ずるがしこい人、スパイ
[▶本文に戻る](#)

patheticness

哀愁
[▶本文に戻る](#)

pathetic

哀れな、哀れを誘う、痛ましい
[▶本文に戻る](#)

go about ~

〜に取りかかる
[▶本文に戻る](#)

look up to ~

〜を尊敬する、〜を仰ぎ見る
[▶本文に戻る](#)

footing

足場、足がかり
[▶本文に戻る](#)

endearing

人の心を引きつける、かわいらしい
[▶本文に戻る](#)

creepy

ぞっとする、気味の悪い
[▶本文に戻る](#)

relationships

★ここでは特に「恋愛関係」を示唆している。

[▶本文に戻る](#)

do away with ~

～を殺す、～を始末する、～を葬り去る

[▶本文に戻る](#)

in that

★ = in that relationship

[▶本文に戻る](#)

tragic

悲劇的要素

[▶本文に戻る](#)

consistently

一貫して、常に

[▶本文に戻る](#)

come up with ~

～を思いつく

[▶本文に戻る](#)

seemingly

見たところでは、一見

[▶本文に戻る](#)

go off to ~

～に送られる

[▶本文に戻る](#)

fantastical

空想的な、奇妙な、とつびな

[▶本文に戻る](#)

imaginative

虚偽の

[▶本文に戻る](#)

relate to ~

～に共感する、～の気持ちがわかる、～と心が通う

[▶本文に戻る](#)

ground

(～に) 根拠を与える

[▶本文に戻る](#)

ensue

順々に続く、続いて起こる

[▶本文に戻る](#)

photography

映画撮影 ★ = cinematography

[▶ 本文に戻る](#)

intensely

熱心に、一心不乱に

[▶ 本文に戻る](#)

hibernation

冬眠、冬ごもり

[▶ 本文に戻る](#)

come off ~

～から手を引く、～をやり終える ★ = leave ~、finish ~

[▶ 本文に戻る](#)

re-assimilate

再適応する ★ assimilate は「同化する、順応する」。

[▶ 本文に戻る](#)

incredibly

信じられないほど、途方もなく、ものすごく

[▶ 本文に戻る](#)

get to do

～し始める

[▶ 本文に戻る](#)

reminisce about ~

～を楽しく思い出す、～を回想する

[▶ 本文に戻る](#)

grandkid

孫 ★ = grandchild

[▶ 本文に戻る](#)

on tap for ~

～のためにすぐ使えるように用意されて、～のために計画されて ★ = in store for ~、in the works for ~、planned for ~

[▶ 本文に戻る](#)

commentary

解説、論評、注釈

[▶ 本文に戻る](#)

footage

映像、撮影画面、場面

[▶ 本文に戻る](#)

arduous

困難な、骨の折れる、難儀な

[▶ 本文に戻る](#)

【音声DL付】ハリウッドスターの英語
(電子書籍版)

発行日：2013年10月1日 (ver1.0)
2015年2月1日 (ver1.1)

企画・編集：株式会社アルク

音声解説：William Wetherall

英文校正：Christopher Kossowski

和訳：久永優、春日聡子、増田恵里子

表紙デザイン：直井忠英（ナオイデザイン室）

カバー写真：(c)Photofest/アフロ

電子書籍制作：有限会社ギルド

録音・編集：有限会社ログスタジオ

発行者：平本照磨

発行所：株式会社アルク

〒168-8611 東京都杉並区永福2-54-12

Email：csss@alc.co.jp

Website：http://www.alc.co.jp/

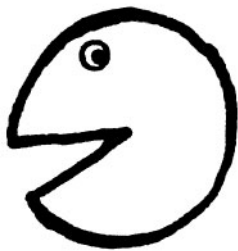
- ・本書は『ハリウッドスターの英語』（2005年発行）の電子書籍版です。
- ・本書の全部または一部の無断転載を禁じます。著作権法上で認められた場合を除いて、本書からのコピーを禁じます。

© 2013 Noboru Matsuoka / Yuki Tominaga / naoi design office / ALC PRESS INC

PC：9580159

ISBN：9784757421394

地球人ネットワークを創る



アルクのシンボル
「地球人マーク」です。